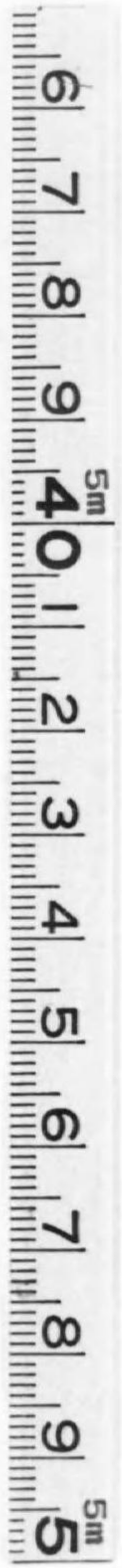


14. 5-679



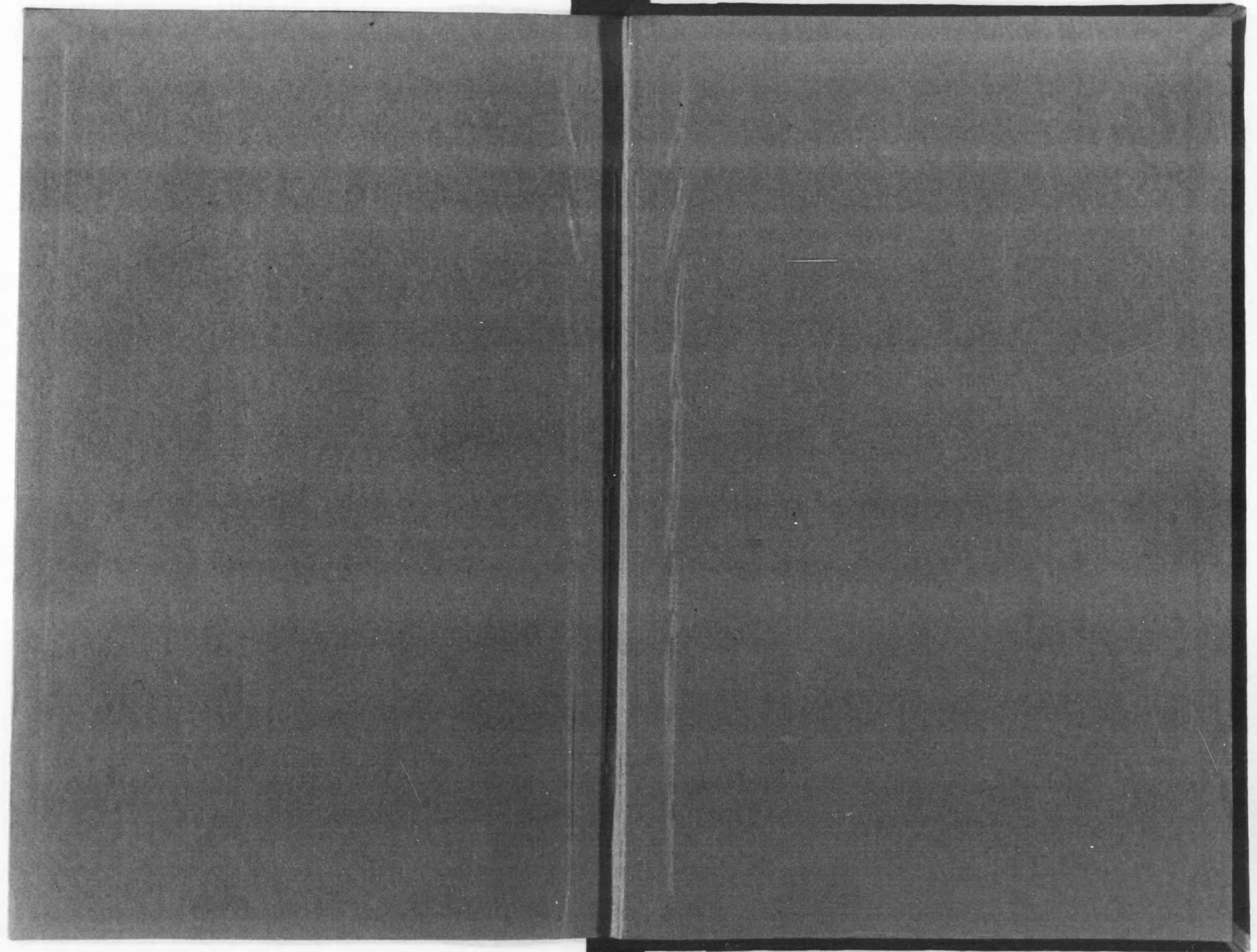
14.5

'9



始





11

679

昭和十三年度

水道事業年報

(上水道編・下水道編・雑編)

京都市水道局

昭和十三年度



事業年報

(上水道編・下水道編・雑編)

京都市水道局



14.5  
679

上水道編

# 上水道編目次

口繪寫眞

第二疏水	取入口開門
蹴上淨水場	沈澱池
蹴上淨水場	濾過槽
松ヶ崎淨水場	濾過池
松ヶ崎淨水場	高區配水池
山科淨水場	濾過池
山科淨水場	配水池
松ヶ崎導水管	水害復舊作業

附圖 上水道配水區域ノ區分並配水本管圖

## 第一章 總說

一、沿革概要	一
二、現況概要	二
(イ) 淨水場	二
(ロ) 配水量	四

配水管	(ハ)	.....	四
給水栓數、戶數及人口	(ニ)	.....	五
量水器取付數	(ホ)	.....	五
上水道使用料	(ヘ)	.....	五
上水道事業費豫算及決算	(ト)	.....	五
三、臨時事業概況		.....	六
第二期擴張事業進捗狀況	(イ)	.....	六
量水器取換概況	(ロ)	.....	六
鴨川改修附帶上水道事業概況	(ハ)	.....	七
第三期擴張事業概要	(ニ)	.....	七
災害上水道處置狀況	(ホ)	.....	七
第二章 水源及淨水設備		.....	八
一、原水取入口		.....	八
二、除砂井		.....	九
三、沈澱設備		.....	九
(イ) 沈澱池	(イ)	.....	九
(ロ) 沈澱池附屬井	(ロ)	.....	九

硫酸礬土溶液槽裝置	(ハ)	.....	一〇
四、濾過設備		.....	一〇
(イ) 急速濾過槽	(イ)	.....	一〇
(ロ) 緩速濾過池	(ロ)	.....	一一
五、鹽素滅菌裝置		.....	一一
六、送水唧筒		.....	一二
七、配水池		.....	一三
八、導水路及送水路		.....	一四
九、計量裝置		.....	一五
十、水位及配水區域標高		.....	一五
第三章 濾過狀況		.....	一六
一、各淨水場累月濾過水量		.....	一六
二、最多、最少、平均濾過日量		.....	一七
三、濾過水量累年比較		.....	一八
第四章 配水管		.....	一九

一、配水幹線系統	一九
二、配水管總延長	二〇
三、配水管工事	二二
(イ) 敷設	二三
(ロ) 撤去	二三
(ハ) 工費	二三
四、第二期擴張工事ニ依ル口徑別内譯	二三
第五章 配水狀況	二四
一、各淨水場累月配水量	二四
二、最多、最少、平均配水日量	二五
三、配水量累年比較	二六
四、一日平均配水量累年比較	二七
第六章 水質試驗	二八
一、蹴上淨水場	二八
二、松ヶ崎淨水場	三三

三、山科淨水場	三五
四、市内給水栓	四〇
第七章 給水工事	四一
一、給水工事件數	四二
(イ) 累月施工件數	四二
(ロ) 直營工事	四三
(ハ) 請負工事	四三
二、各種別給水工事	四四
三、施工件數累年比較	四五
四、上半期下半期別新設施工件數比率累年比較	四五
五、施工費累年比較	四七
(イ) 各種別工費累年比較	四七
(ロ) 道路部分給水管補助費累年比較	四八
(ハ) 新設置水器取付繼手工費累年比較	四八
六、配水代用管工事累年比較	四九
(イ) 布設	四九



### 第八章 量水器

七、給水裝置修繕工事.....	(口)	撤去.....	六
(イ) 行政區別施工件數累月比較.....			五
(ロ) 施工件數及工費累月比較.....			五
八、給水工事及修繕工事總工費.....			五
九、給水工事材料檢查數量.....			五
一、量水器取付及撤去數.....			五
(イ) 取付個數累月比較.....			五
(ロ) 撤去數累月比較.....			五
二、量水器受檢數累月比較.....			五
三、量水器作業數累月比較.....			五
四、量水器異狀取換累月比較.....			五
五、量水器異狀取外別計數.....			五
六、量水器購入及取付數.....			五
(イ) 量水器購入數累計.....			五

### 第九章 給水狀況

(口) 取付數累計.....	五
一、給水栓數.....	六
二、給水戸數.....	六
三、開閉栓及開栓率.....	六
四、給水諸願届受付件數累月比較.....	六
五、各區別推定使用水量.....	六
六、行政區別給水普及率.....	六
七、給水普及狀況累年比較.....	六

### 第十章 收入狀況

一、使用科手数料及委託料.....	六
(イ) 調定及收入額對照.....	六
(ロ) 累月上水道使用料.....	六
1 調定額.....	六
2 收入額.....	七

各區別推定使用料收入額……………(ハ) 七

使用料收入額累年比較……………(ニ) 七

使用料收入率累年比較……………(ホ) 七

一、栓當平均上水道使用料累年比較……………(ヘ) 七

使用料收入豫算及決算額累年比較……………(ト) 七

二、工費收入…………… 七

    (イ) 調定額……………(イ) 七

    (ロ) 收入額……………(ロ) 七

### 第十一章 財務

一、歲計成績…………… 七

二、收益狀況…………… 七

    (イ) 損益計算……………(イ) 七

    (ロ) 負債額及建設費ニ對スル收益割合……………(ロ) 七

    (ハ) 收益狀況累年比較……………(ハ) 七

三、配水實費…………… 七

    (イ) 經費……………(イ) 七

    (ロ) 配水量一立方米當使用料及經費……………(ロ) 七

四、建設費累計…………… 八

### 第十二章 第二期擴張事業

一、概説…………… 八

二、施工狀況…………… 八

    (イ) 松ヶ崎淨水場擴張工事……………(イ) 八

    (ロ) 山科淨水場新設工事……………(ロ) 八

    (ハ) 配水管敷設工事……………(ハ) 八

### 第十三章 第三期擴張事業

一、概説…………… 八

二、事業費豫算…………… 八

三、計畫概要…………… 八

    (イ) 蹴上淨水場擴張……………(イ) 八

    (ロ) 桃山淨水場新設……………(ロ) 八

    (ハ) 配水管増設……………(ハ) 八

### 第十四章 鳴川改修附帶上水道事業

一、事業概要..... 98

二、事業費豫算..... 99

三、工事計畫..... 99

四、豫算執行狀況..... 99

### 第十五章 災害處置

一、概說..... 99

二、被害狀況..... 99

三、應急處置..... 99

四、導火管復舊作業..... 99

五、經費..... 99

### 第十六章 六大都市比較

一、六大都市上水道規模概況..... 99

二、六大都市配水量及給水量比較..... 99

三、六大都市給水栓數戶數及人口比較..... 100

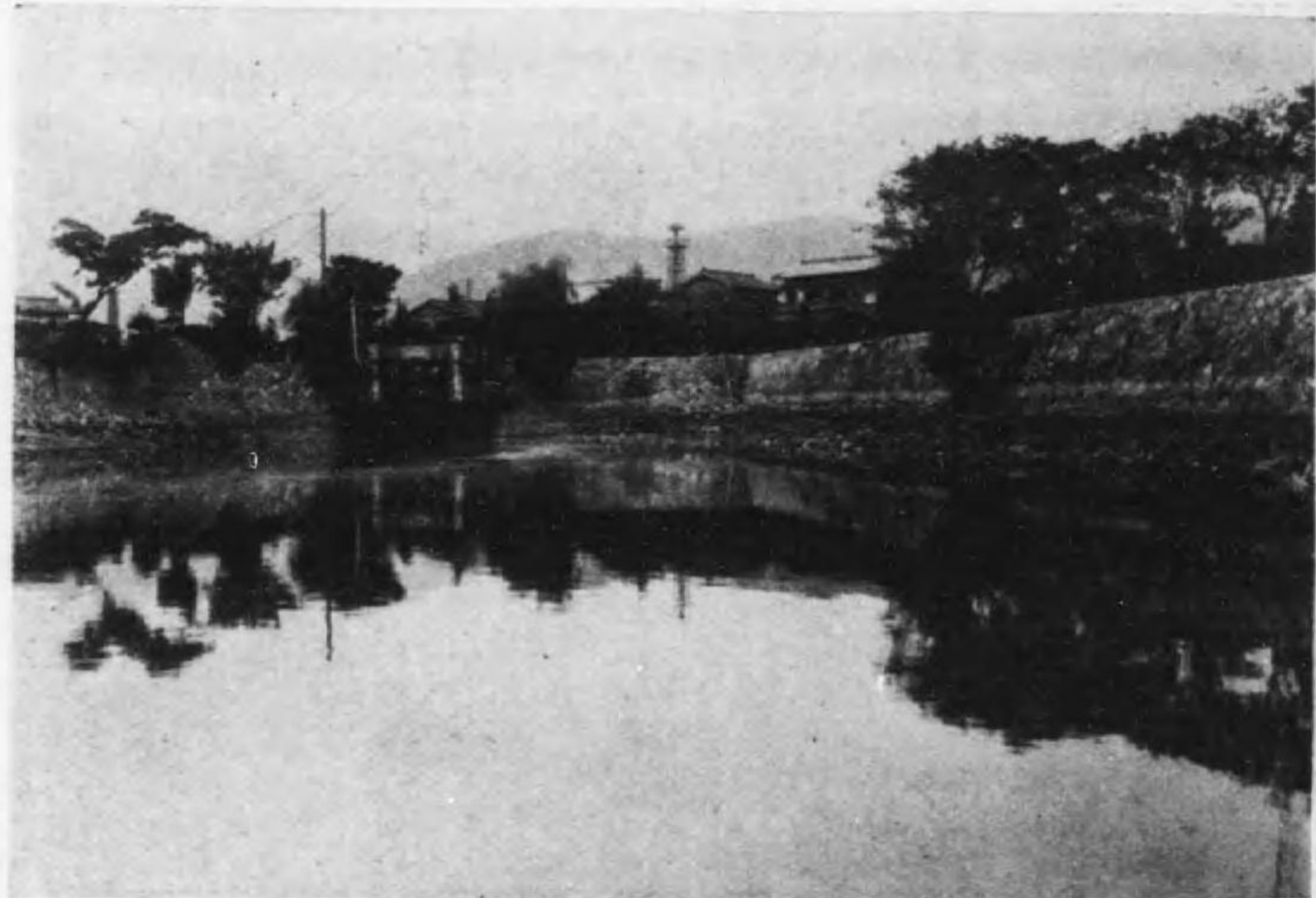
四、六大都市給水使用料調定額收入額及收入率..... 101

五、六大都市一栓當及一人當給水使用料比較..... 101

六、六大都市給水普及率比較..... 101

七、六大都市料率比較..... 102

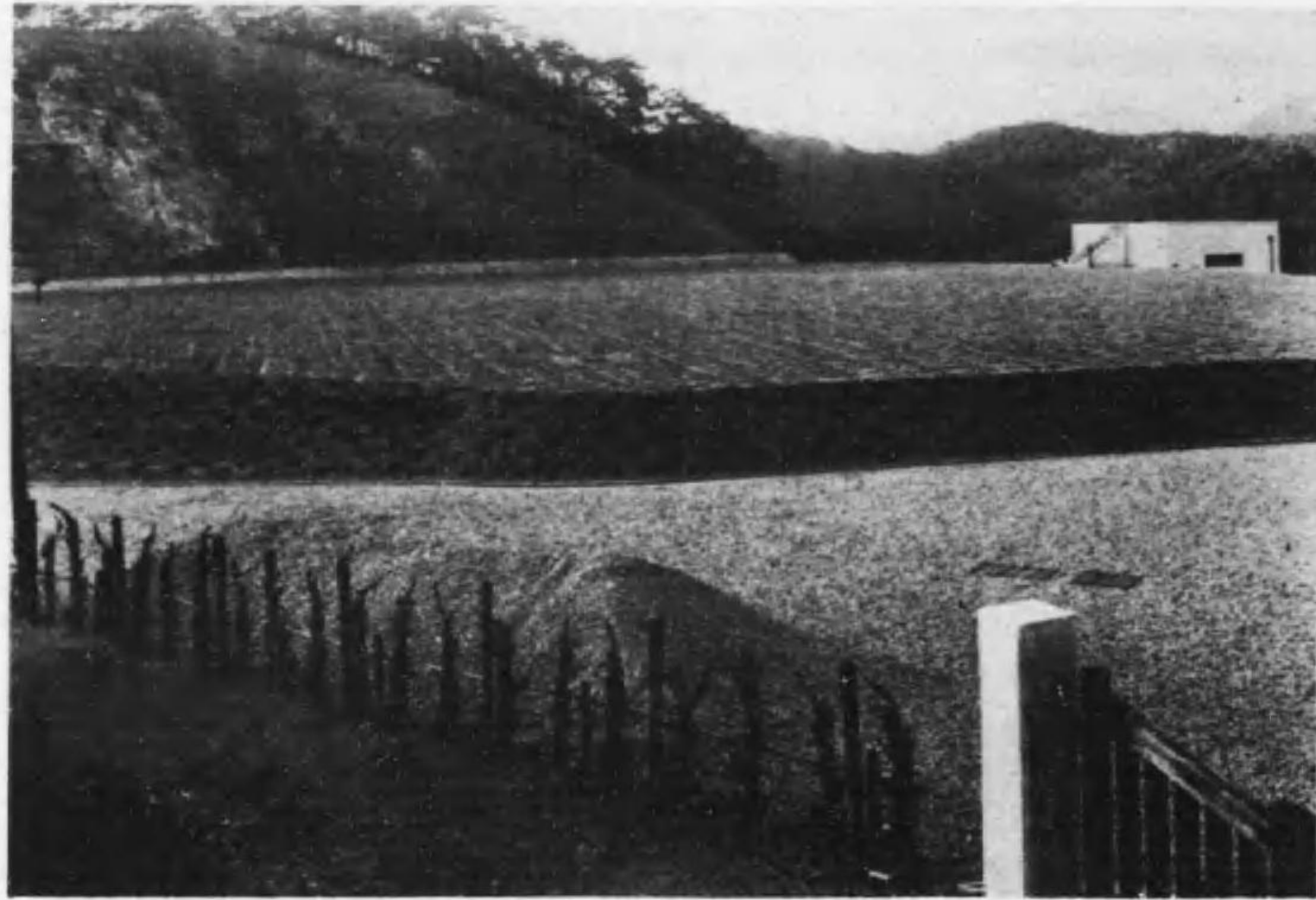
八、六大都市給水使用料徵收制度比較..... 102



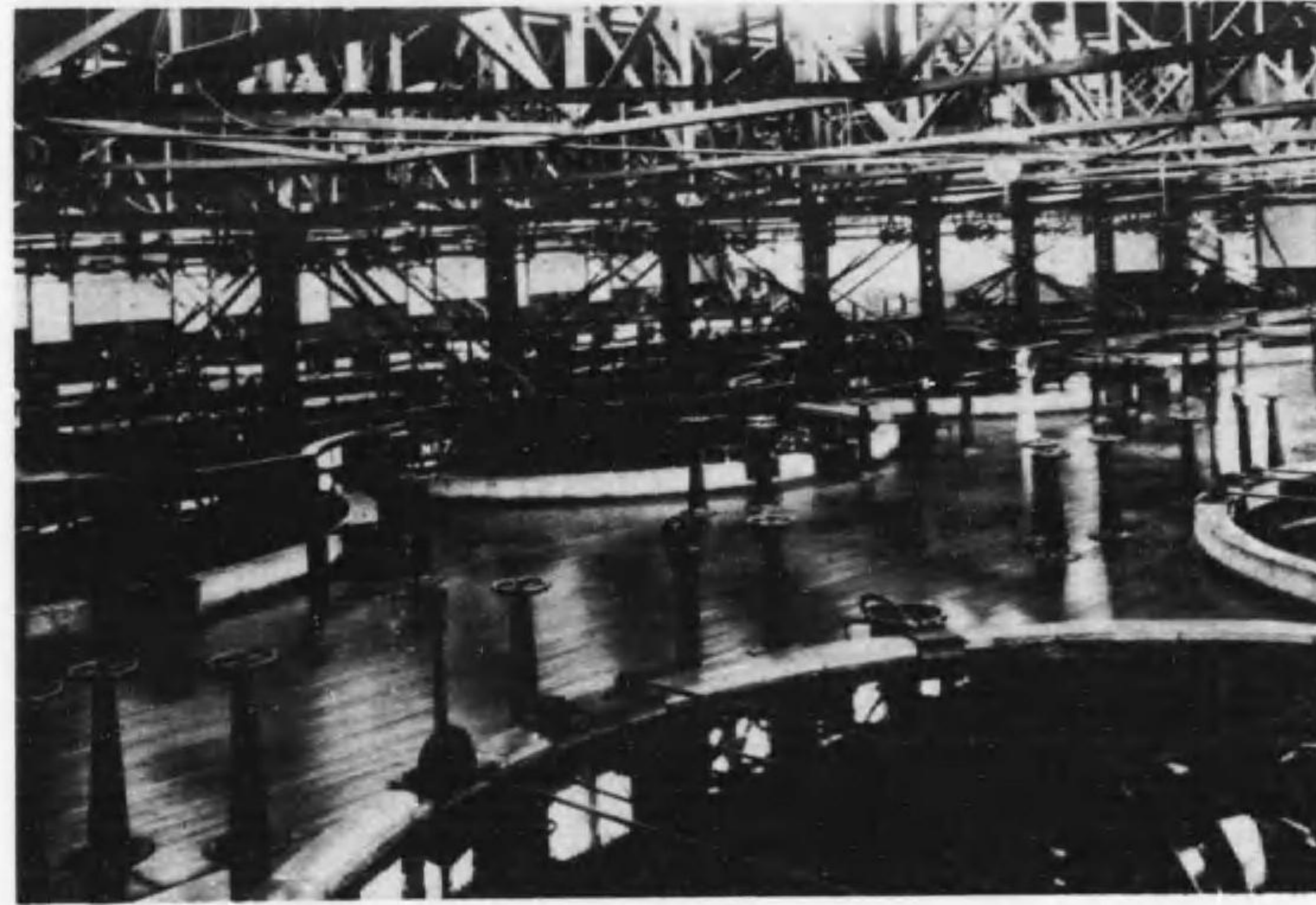
琵琶湖第二疏水開門遠景



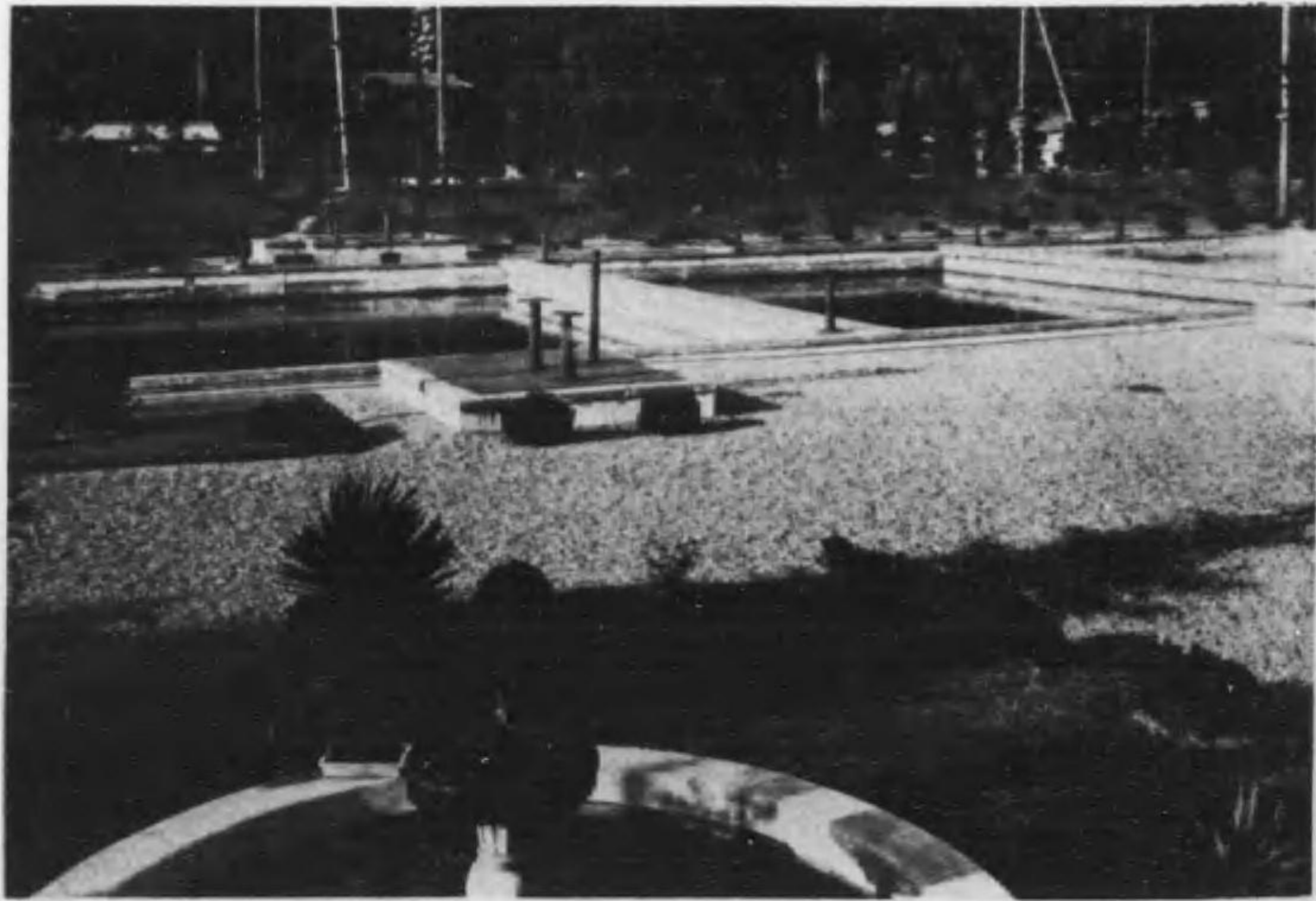
既上淨水場沈澱池



池水配區高場水淨崎ヶ松



槽過濾場水淨上歐

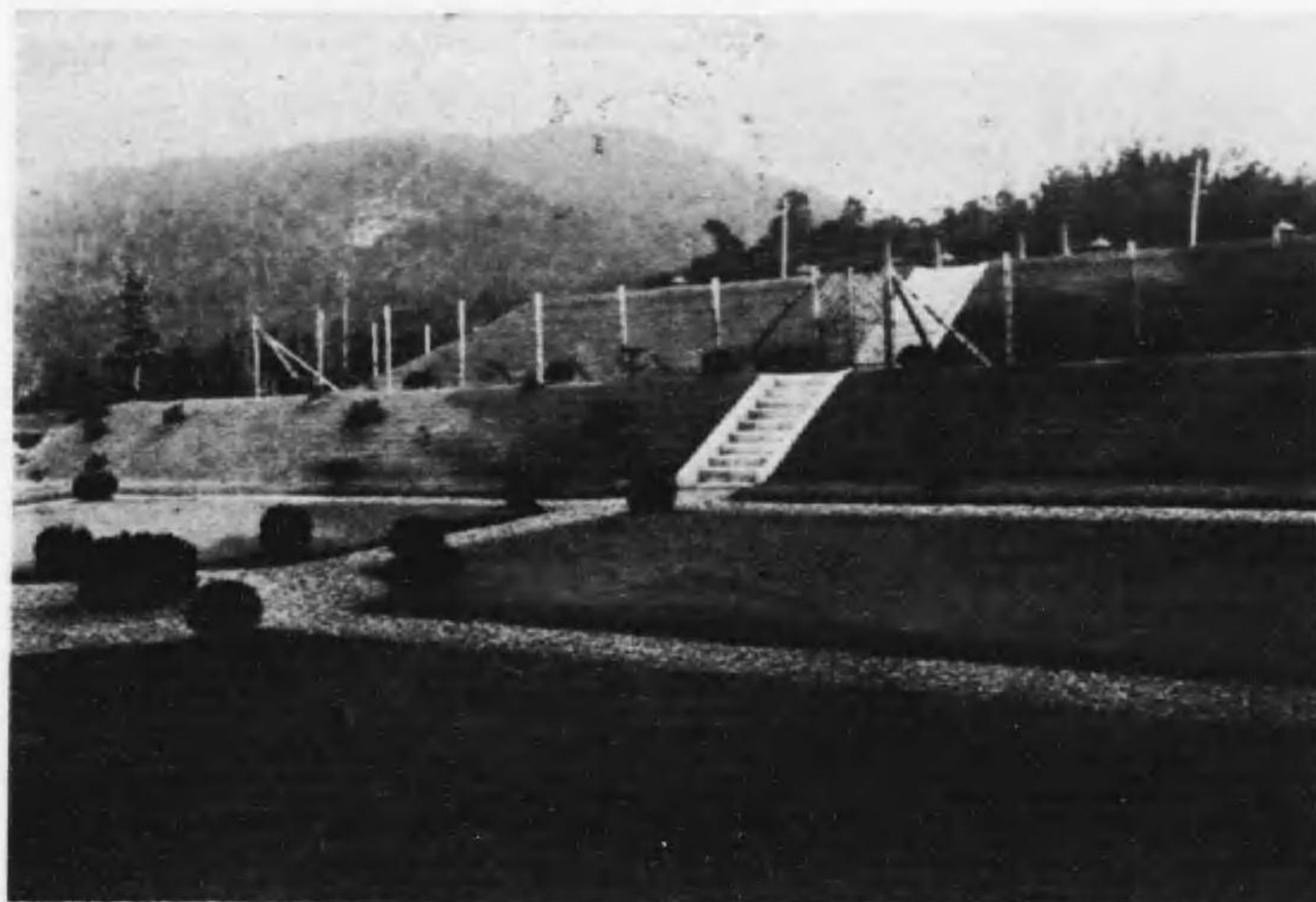


池過濾場水淨科山



池過濾場水淨崎ヶ松

上水道配水区域ノ區分並配水本管圖

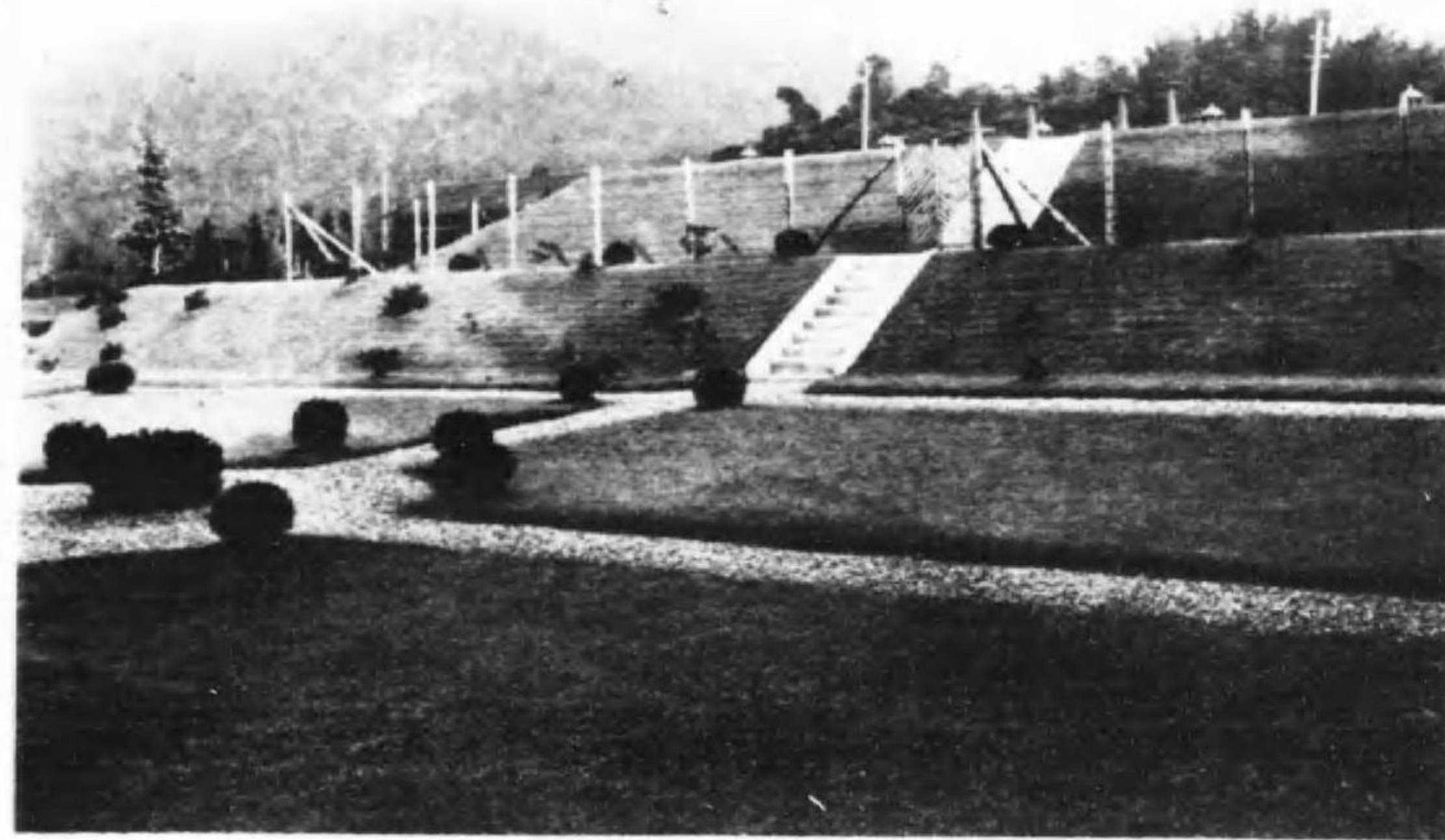


山科淨水池配水池



水害時松崎導水管復舊夜間作業

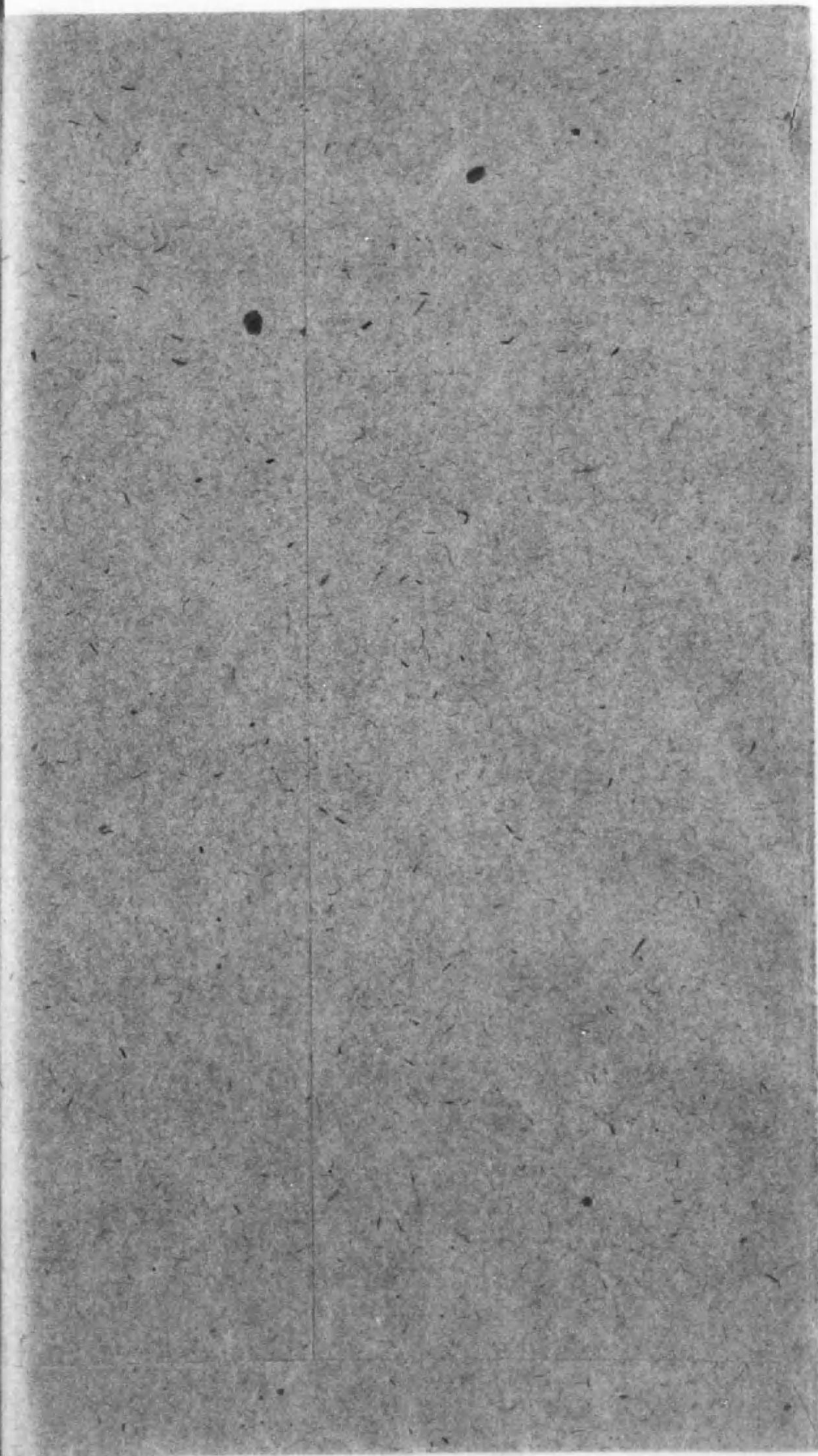
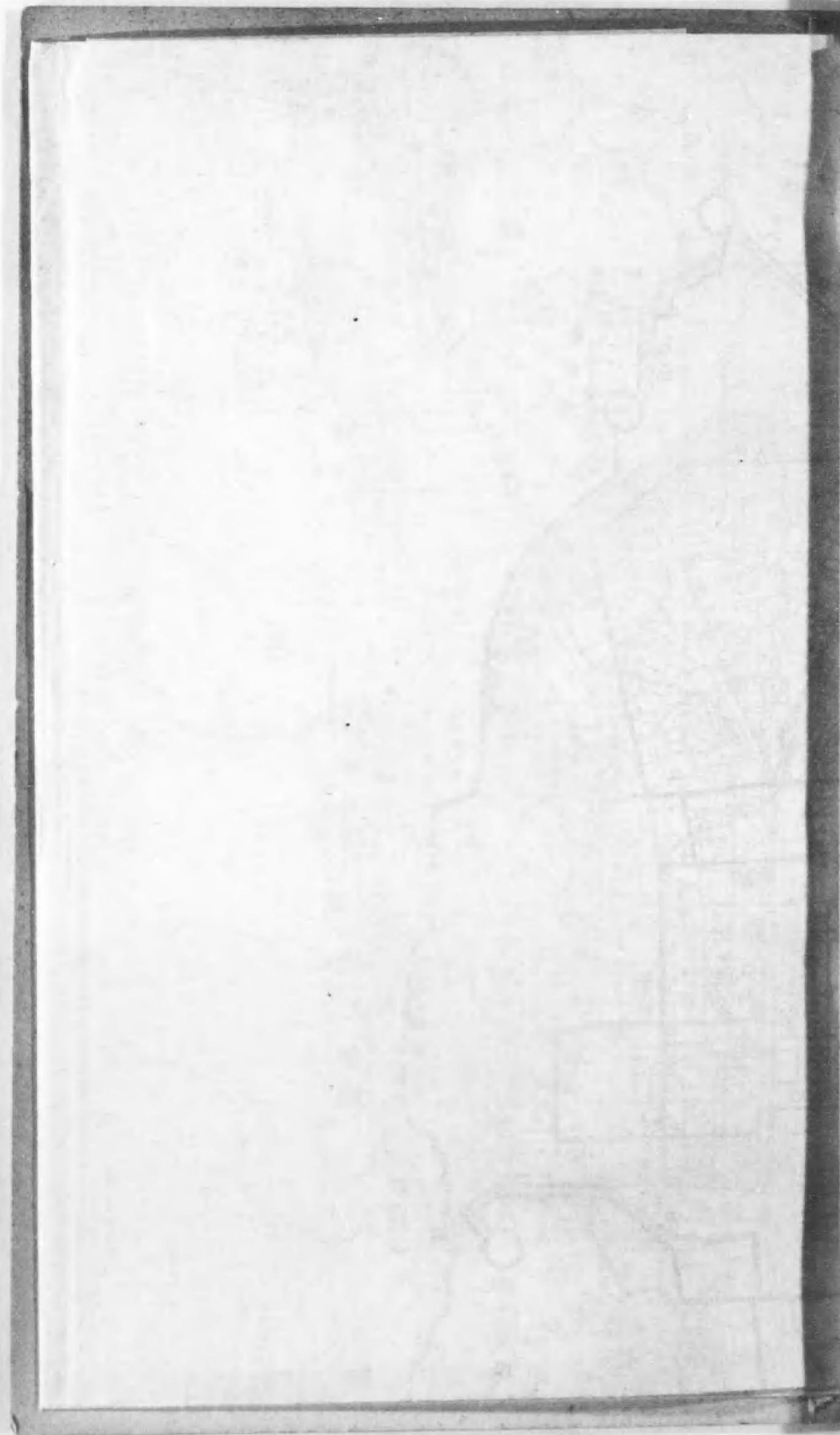
上水道配水区域ノ區分並配水本管圖



山科淨水池配水池



水害時松崎ノ導水管復舊夜間作業





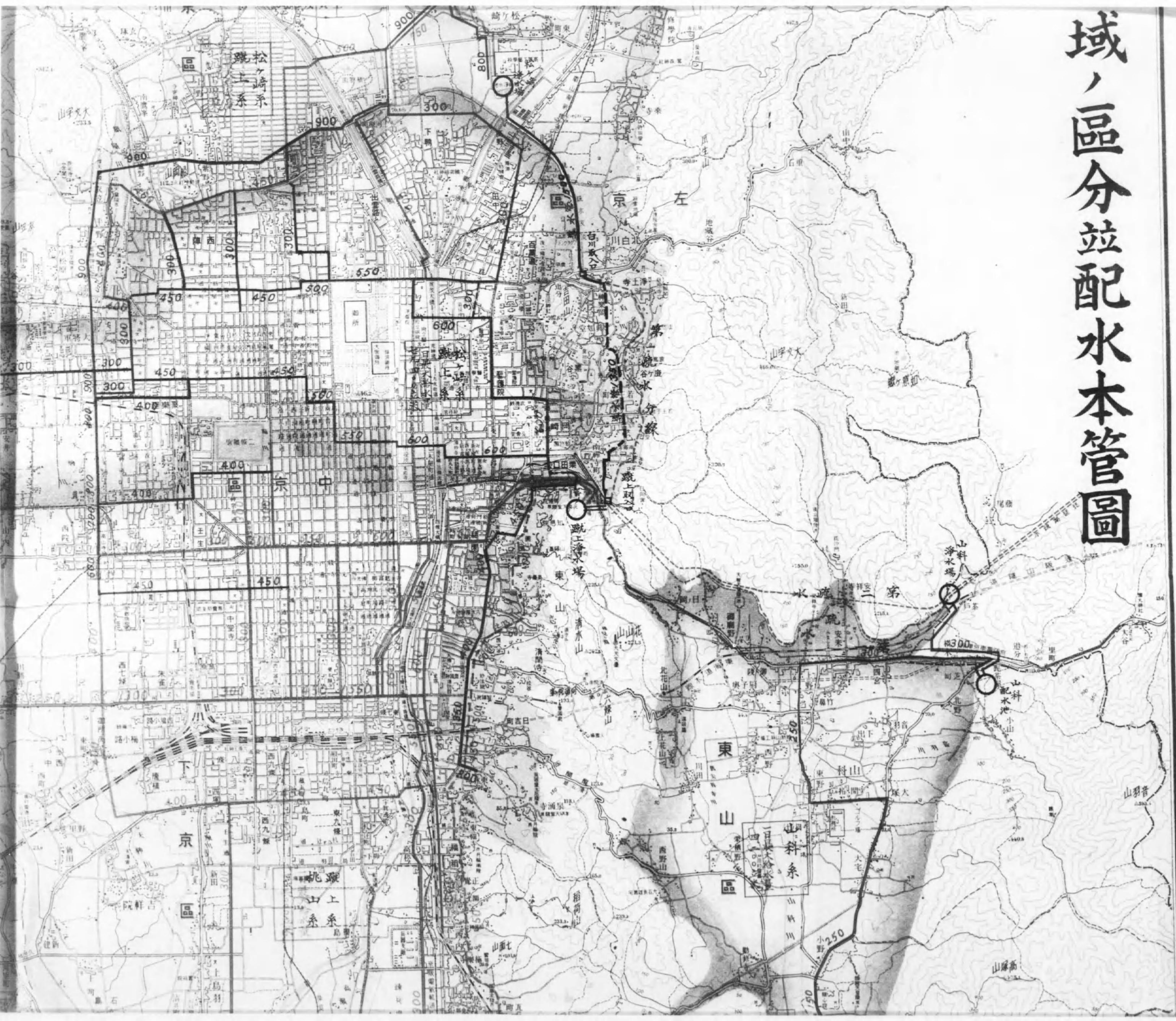
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5  
5m

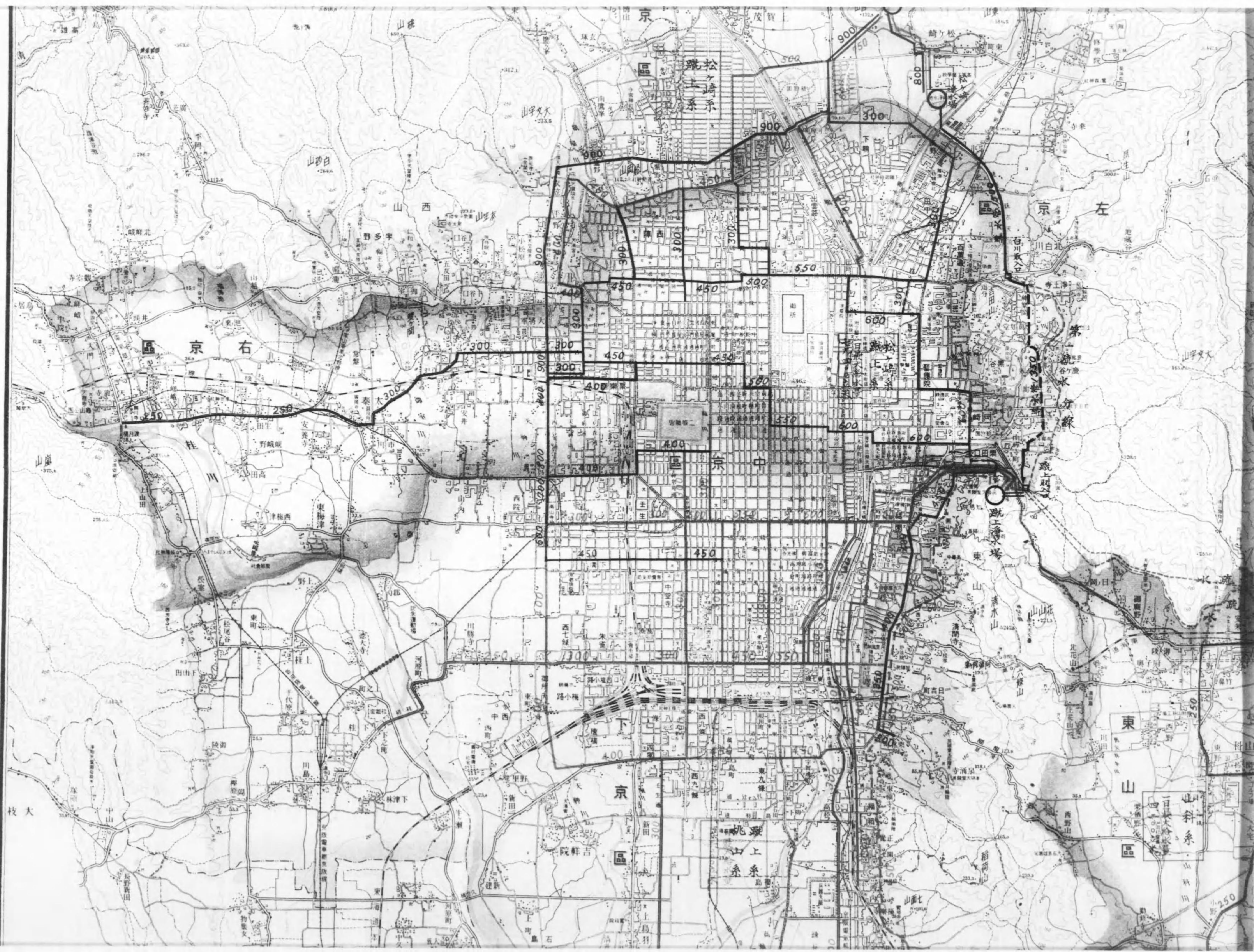
# 京都市上水道配水区域ノ區分





# 域ノ區分並配水本管圖







最高區配水區  
 高區配水區  
 低區配水區

給水能力

一日最大給水量  
 二六〇〇〇立方米

現在設備能力  
 一八一〇〇立方米

第三期擴張設備能力  
 八五〇〇〇立方米

- 松崎浄水場 九八八〇立方米
- 蹴上浄水場 七八〇〇立方米
- 山科浄水場 四二〇〇立方米
- 蹴上浄水場 六〇〇〇立方米
- 桃山浄水場 二五〇〇立方米

巨椋池

宇治町

久我村

伏見區

京區

上野山系

山科系

山科

久世村

久野町

大岩山

醍醐區

羽束師村

向島

宇治村

御牧村

御牧村

橋島村

大塚

田和

田和

宇治町

山科

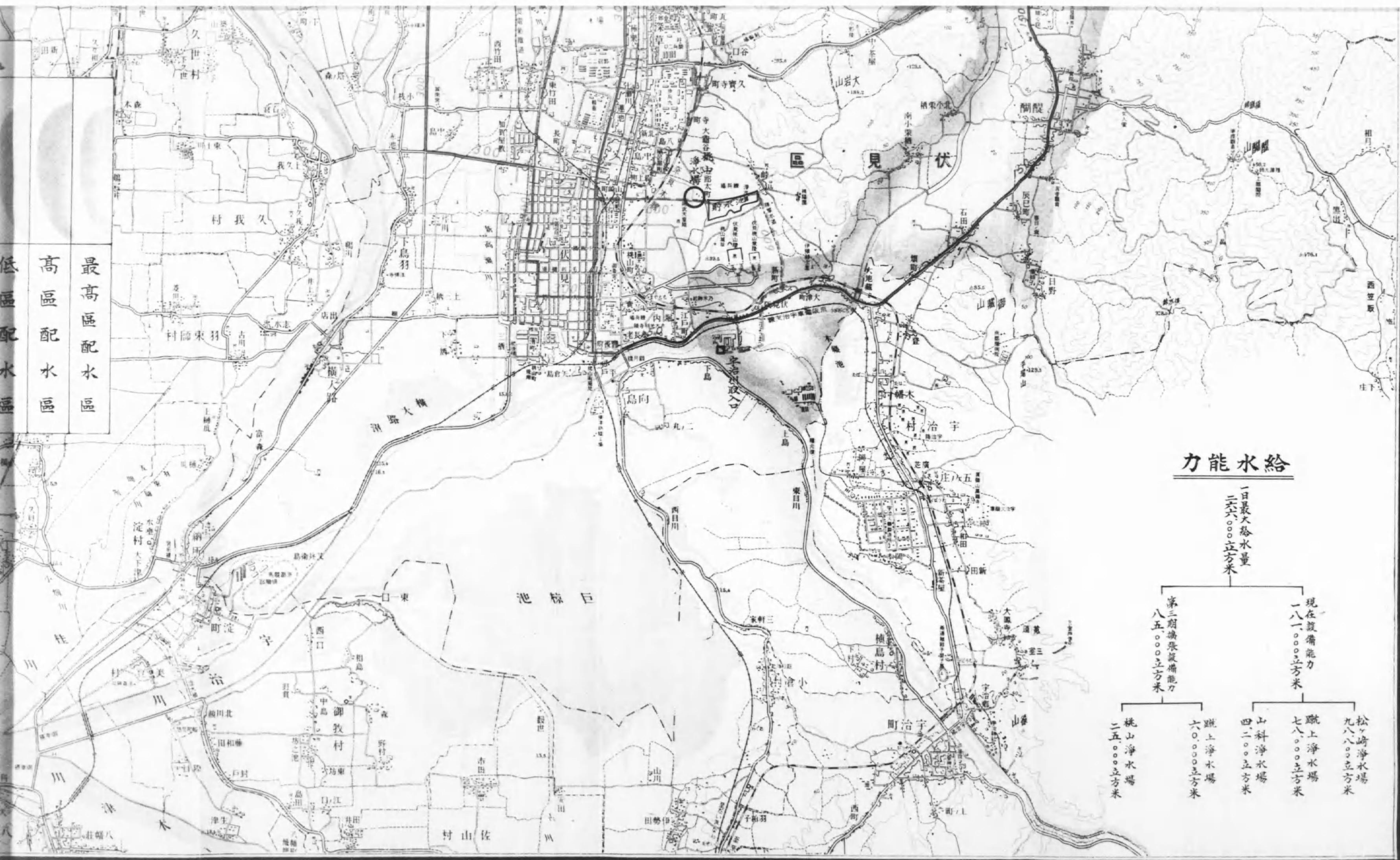
石川

石川

山科

山科





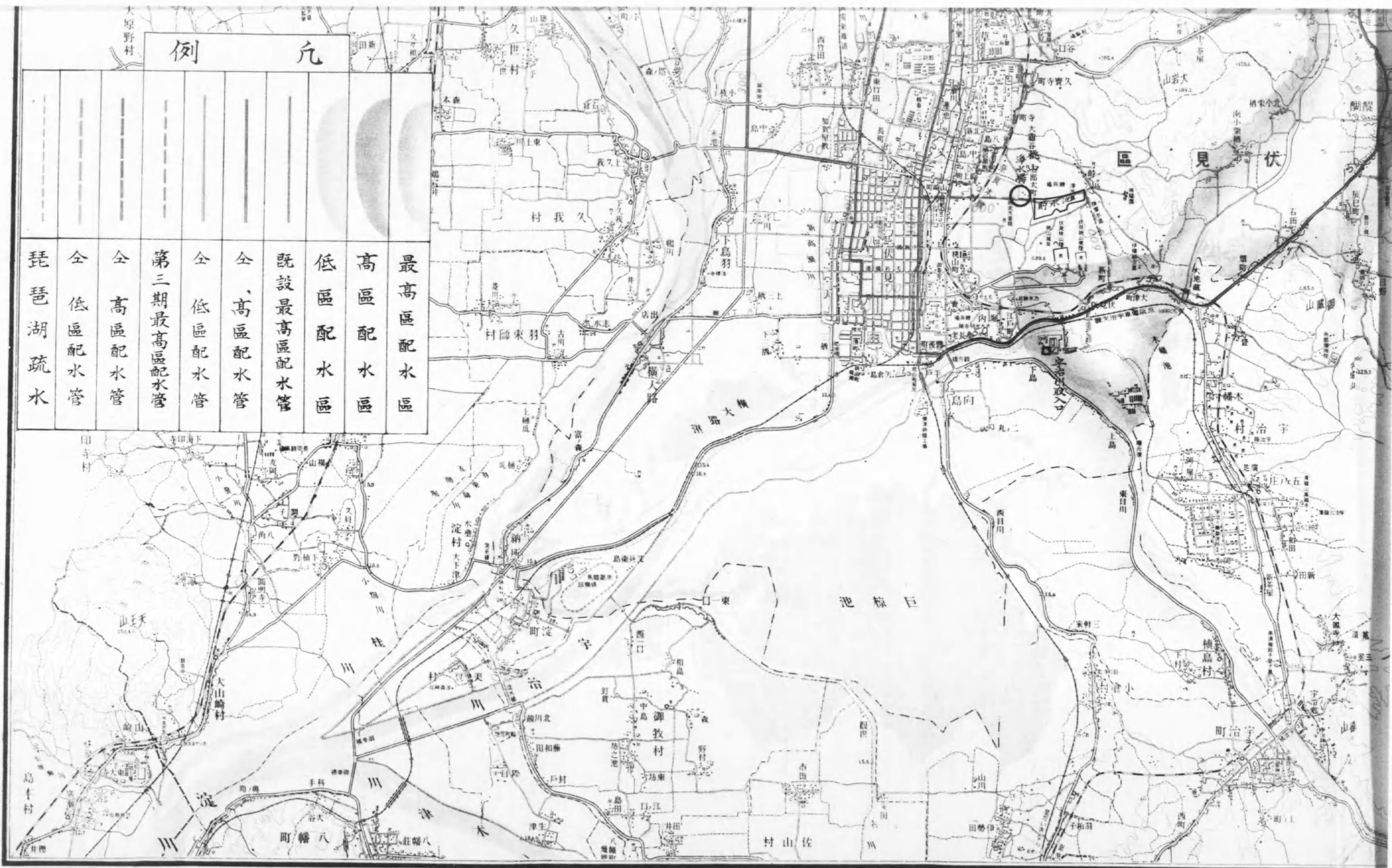
### 給水能力

一日最大給水量  
二六〇〇立方米

- 現在設備能力  
一八一〇〇立方米
- 第三期擴張設備能力  
八五〇〇立方米
- 松ヶ崎浄水場  
九八〇〇立方米
- 蹴上浄水場  
七八〇〇立方米
- 山科浄水場  
四二〇立方米
- 蹴上浄水場  
六〇〇〇立方米
- 桃山浄水場  
二五〇〇立方米

最高區配水區  
高區配水區  
低區配水區

例		凡	
(Dashed line symbol)	(Vertical line symbol)	(Vertical line symbol)	(Shaded area symbol)
琵琶湖疏水	全低區配水管	全高區配水管	第三期最高區配水管
	全低區配水管	全高區配水管	既設最高區配水管
			低區配水區
			高區配水區
			最高區配水區





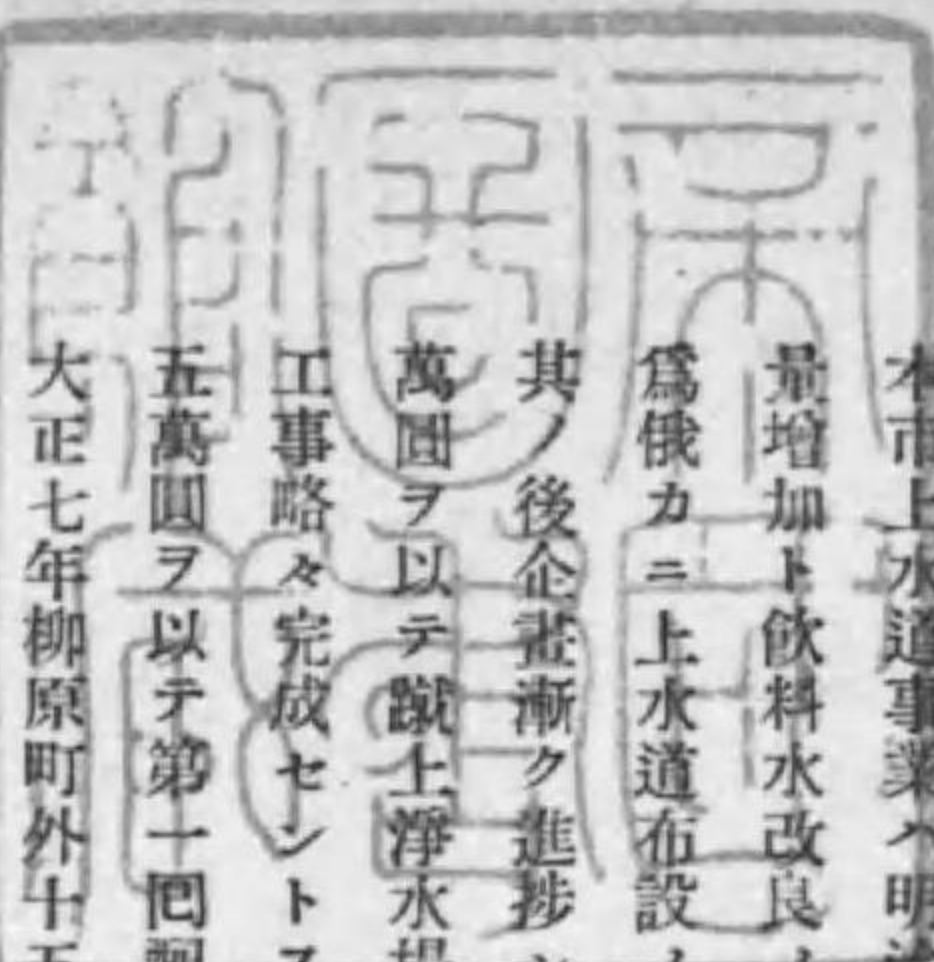
東京市水道事業の歴史と現在

# 上水道編

## 第一章 總說

### 一、沿革概要

本市上水道事業ハ明治十八年京都府ニ於テ市内井水ノ水質検査ニ着手シタルニ胚胎ス、明治二十八年市會ニ於テ第一疏水ノ流量増加ト飲料水改良ノ議起リ、翌二十九年市參事會ハ先ヅ第一着手トシテ全市内ノ井水試験ヲ行ヒタル結果、其ノ成績不良ノ爲俄カニ上水道布設ノ議擡頭セリ。



其ノ後企畫漸ク進捗シ、明治三十九年十一月三大事業ノ一トシテ、四ヶ年繼續事業トシ、工費三百萬圓、内國庫補助金七十五萬圓ヲ以テ鐵土淨水場及配水管布設工事ニ着手、同四十五年三月竣功シ、同年四月一日ヨリ給水ヲ開始セリ。而シテ之ガ創設工事略々完成セントスル明治四十四年、道路ノ擴張並ニ電氣軌道敷設工事ノ進捗ニヨリ、四十四、五兩年度ニ亙リ、工費七十五萬圓ヲ以テ第一回配水管ノ擴張ヲ圖リ、大正二年五月約百七十二軒ノ延長工事ヲ完了セリ。  
大正七年柳原町外十五ヶ村ヲ本市ニ編入スルヤ人口九萬八千餘人ヲ激増シ、而モ此ノ地域ハ飲料水不良ニシテ上水道ノ普及一日モ忽諸ニ附スベカラザル状態ニ在リシ爲、翌八年工費百四十萬圓ノ三ヶ年繼續事業トシテ第二回配水管擴張工事ニ着手、大正十二年延長約百十二軒ノエヲ竣レリ、大正三年以降ニ入ルヤ歐洲大戰ノ影響ヲ蒙リ本市ノ商工業モ異常ノ發展ヲ遂ゲ、人口ノ増加ト給水需要ノ増加ハ既往ノ淨水能力ヲ遙カニ超過スルニ至リシ爲、茲ニ第一期水源擴張計畫ヲ樹立シ、大正十三年ヨリ四ヶ年繼續事業トシテ、工費二百五十萬圓ヲ以テ松ヶ崎淨水場ノ新設工事ニ着手シ、昭和二年六月竣功セリ。斯クシテ創業當時ニ於ケル給水人口五十萬人ノ計畫ハ一躍シテ六十五萬人トナリ、一人一日當リ給水量ハ九十七リットルヨリ百一十一リットル

ニ増加セリ。

市勢ノ駁々タル發展ハ昭和六年伏見市外二十六ヶ町村ノ編入トナリ、市域廣表實ニ二百八十八方軒、人口百萬ニ垂ントスル大京都市ノ實現ヲ見ルニ及ビ、給水需要量ハ遙カニ設計容量ヲ突破スルニ至レリ。茲ニ於テ給水人口九十二萬人、一人一日當リ給水量百二十五リットルヲ目途トシテ、昭和七年ヨリ五ヶ年ニ亘ル工費三百六十七萬有餘圓ノ第二期擴張計畫ヲ樹テ、松ヶ崎浄水場ノ擴張、山科浄水場ノ新設並ニ配水管ノ延長工事ニ着手、昭和十一年八月ニハ山科浄水場竣工ヲ告ゲ、本年度末ニ於テハ松ヶ崎配水池及配水管増設工事ノ整備並ニ導水管工事ノ一部ヲ殘シ殆ンド完成セリ。

然ルニ昭和十一年ニ於ケル一人一日當リ給水量ハ已ニ一七三リットルニ達シ、計畫水量ヲ遙カニ突破セル實情ニ在リ、此ノ趨勢ハ今後益々増加セントシ、第二期擴張ノ設備ヲ以テシテハ到底水量不足ヲ補フ能ハザルニ至リタル爲更ニ擴張ヲ必要トシ、第三期擴張調査ニ着手、略々之ガ成案ヲ得ルニ至リタル昭和十二年十二月第十六師團ト本市トノ間ニ水道協定成立シ、軍用水道ノ經營ヲ市ニ委託セラル、ヤ本市上水道ノ水源ハ琵琶湖疏水ヨリ引水スルモノト宇治川ヨリ取水スルモノト二元化スルニ至リタル爲、茲ニ軍市ノ需要並ニ防空防火ノ萬全ヲ期シ、更ニ桃山御陵用水及御所水道ノ改善擴充ヲ企圖シテ第三期擴張事業計畫ヲ樹立セリ。之ガ工費總額五百八十三萬五千圓ニシテ、昭和十三年度ヨリ同十七年度ニ至ル五ヶ年繼續事業トシテ昭和十四年二月二十三日事業認可並ニ昭和十四年四月八日起債許可ヲ受ケ、昭和十四年度初頭正ニ工事ニ着手セントス。本擴張完成ノ曉ハ配水能力一日二十六萬六千立方、給水人口百六萬人、一人一日當リ給水量一九〇リットルニ達スルモノナリ。

### 二、現況概要

#### (1) 浄水場

蹴上浄水場ハジエエロロータイプグラフィチー型急速濾過法ニシテ、クロレクター式O・H・S型液化鹽素滅菌機ヲ採用シ、本

年度ノ濾過水量ハ三三、六一七、二三七立方、一八六、二三九、四九二石ナリ。松ヶ崎浄水場ハ緩速濾過法液化鹽素滅菌法ニシテ滅菌機ハ舊設濕式MSV型ノ外、第二期擴張ニ依ル濾過池増設ニ伴ヒクロレクター式O・H・S型ヲ採用シ、本年度濾過水量ハ一七、七七五、六二五立方(九八、四七六、九六三石)ナリ。山科浄水場ノ濾過方法ハ緩速濾過法ニシテ、液化鹽素滅菌法ニ依リ手働濕式ヲ採用ス。本年度中ニ於ケル濾過水量ハ五五六、六一四立方(三、〇八三、六四二石)ナリ。又蹴上浄水場低區配水池ハ海面上七五米四五、高區配水池ハ海面上二一〇米六一ノ個所ニアリ。松ヶ崎浄水場最高區配水池ハ西山山嶺一三三米五二ニ、高區配水池(第二擴張事業ニ依リ増設ノモノ、本年度末ニ於テ殆ンド完成ス)ハ海拔一一〇米ノ個所ニ、山科配水池ハ山科宇野茶屋高地海面上二一五米ノ個所ニ設置シ、濾過池ヨリノ送水ハ蹴上低區配水池ノ自然流下法ニ依ル外總テ唧筒揚水ヲナシ、配水ハ何レモ自然流下法ニヨリ市内ニ配水ス。

#### 基本計畫

區分	創設	第一期擴張	第二期擴張	第三期擴張
給水人口	330,000人	330,000人	390,000人	1,000,000人
一人一日平均配水量	177.3立升	111.2立升	111.2立升	177.3立升
同 最大配水量	177.3立升	111.2立升	111.2立升	177.3立升
一日最大配水量	6,110立升	10,110立升	11,110立升	11,110立升
備考	蹴上浄水場	蹴上浄水場 400,000人 松ヶ崎浄水場 250,000人	蹴上浄水場 400,000人 松ヶ崎浄水場 250,000人 山科浄水場 120,000人	蹴上浄水場 400,000人 松ヶ崎浄水場 250,000人 山科浄水場 120,000人 桃山浄水場 100,000人

備考 第二期擴張工事ハ昭和七年度ヨリ工事ニ着手シ、昭和十一年八月十七日山科浄水場(經速濾過法)ノ落成ヲ見タル外、本年度末ニ於テハ諸工竣殆ソド完成シ一部整備ヲ殘スノミ、尙第三期擴張工事ハ昭和十四年度着手ノ豫定ナリ。

(ロ) 配水量

昭和十三年八月二日前夜來ノ大暴風雨ニ伴フ高野川氾濫ノ結果、同日ヨリ八日ニ至ル間松ヶ崎浄水場操作不能ニ陥リ、時宛モ夏季最大需要期ニ直面セシタメ、本年度配水量ノ自然増加ハ例年ニ比シ微少ナリ。  
本年度中ニ於ケル配水量ハ蹴上浄水場三、二二一、二五五立方米(一七二、九一〇、三五三石)、松ヶ崎浄水場一七、六二八、四九四立方米(九七、六六一、八五七石)、山科浄水場五五五、二九九立方米(三、〇七六、〇二四石)、合計四九、三九四、九八八立方米(二七三、六四八、二三四石)ニシテ、之ヲ前年度四九、〇〇〇、八二〇立方米(二七一、四六四、五四二石)ニ比スレバ三九四、一六八立方米(二、一八三、六九二石)ノ増加ニシテ、其ノ増加率ハ約千分ノ八ヲ示セリ。  
而シテ一日平均配水量ハ一三五、三二九立方米即チ七四九、七二三石(前年度一三四、二四八立方米即チ七四三、七三三石)ニシテ、一日配水量ノ最モ多カリシハ本年度七月二十二日一七七、二九九立方米即チ九八一、二九五石(前年度八月二日一八一、六八五立方米即チ一、〇〇六、五三四石)、其ノ最モ少カリシハ本年度一月一日一〇三、〇九一立方米即チ五七一、一二四石(前年度一月一日九五、五七六立方米即チ五二九、四九一石)ナリ。  
尙右ノ外、本年度當初ヨリ本市ニ於テ委託經營ヲ行フ桃水浄水場(軍用水道ヲ改稱ス)ノ年度中配水量ハ二八五、一五六立方米(一、五七九、七六四石)ヲ算セリ。

(ハ) 配水管

支那事變下物資調整ニ依ル工用材料等ノ統制ニ伴ヒ布設工事少ク、本年度中ニ於ケル各種口徑配水管敷設延長二、六二二米二〇(二四町二間一尺)、撤去延長一、三八六米二〇(二町四二間二尺)ニシテ差引一、二三六米(一一町一九間四尺)

ノ増加トナリ、之ヲ前年度二〇、七一三米九九(五里九町五二間四尺)ニ比スレバ著シク減少セルモ、本年度末ニ於ケル總延長ハ七〇八、七〇九米〇三(一八〇里一六町三〇間)ニ達セリ。

尙昭和七年度ヨリ着工セル第二期擴張事業中ノ配水管敷設工事ハ略々完成近ク、唯之ガ整備ヲ殘スノミトナリ、本年度末迄ノ出來高ハ各種口徑總延長一四三、四九三米九二(三六里一九町二二間四尺)ニ及ビ、前記一般配水管トノ延長合計ハ八五二、二〇二米九五(二一六里三五町五一間四尺)ニ伸張セリ。

(ニ) 給水栓數、戶數及人口

昭和十三年度末現在ニ於ケル給水栓數(特別栓、防火栓ヲ省ク)一五〇、八九八栓、給水戶數一五九、三二四戶、給水人口七七〇、五八三人、普及率ハ六六・四%ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレバ栓數ニ於テ二、七六九栓、戶數ニ於テ二、二一六戶人口ニ於テ一〇、六〇六人ノ増加ヲ示セリ。

(ホ) 量水器取付數

昭和十三年度取付個數四、〇一一個、撤去個數一、一九七個、本年度末總取付數ハ一四九、八一〇個ニシテ、前年度末現在一四六、九九六個ニ比シ差引二、八一四個ノ増加ヲ示セリ。

(ヘ) 上水道使用料

昭和十三年度ニ於ケル上水道使用料調定額一、七四九、六三六圓四三錢、收入額一、七四六、九一〇圓二三錢、其收入率ハ九九・八四%トナリ、之ヲ前年度ニ比スレバ時局ノ影響ニ伴フ軍事免除其ノ他ノ事情ニ依リ、調定額ニ於テハ五三、六五三圓五八錢、收入額ニ於テハ四六、八四八圓六八錢ノ減收ヲ見タリ。

(ト) 上水道事業費豫算及決算

昭和十三年度ニ於ケル水道事業經濟中上水道ニ關スルモノ歳入ニ於テハ、豫算額三、八八三、四七三圓、決算額二、四五

四、三五三圓五八錢五厘ニシテ一、四二九、一一九圓四一錢五厘ノ歳入減ヲ來セリ、之ガ主ナル原因ハ時局下ニ於ケル經濟情勢ノ影響及資材ノ配給制限等ニ因リ使用料及工費收入ニ減收ヲ來タシタルト、起債額ノ減少並ニ不用土地ノ賣拂實施ノ運ビニ至ラザリシニ因ル。

歳出ニ於テハ豫算額三、四二三、二六三圓（經常部一、一〇八、八五六圓、臨時部二、三一四、四〇七圓）決算額二、二四一、八八九圓五二錢（經常部九九七、七七五圓〇四錢、臨時部一、二四四、一一四圓四八錢）ニシテ、差引一、一八一、三七三圓四八錢ノ支出減ヲ見タリ、之ガ原因ハ時局下資材ノ消費節約ノ國策ニ順應實行豫算ヲ樹立シ、極力資材節減及事業ノ繰延ニ努メタルト、起債ノ抑制其ノ他ノ事情ニ因リ翌年度へ事業繰延ナシタルニ因ル、之ガ繰越金額九七六、九一七圓七九錢ナリ。

### 三、臨時事業概況

#### (イ) 第二期擴張事業進捗狀況

昭和六年伏見市外二十六ヶ町村ノ編入ニヨリ一躍人口百萬ニ至ラントスル大京都市實現ヲ見ルニ及ビ、給水需用量ハ設計容量ヲ突破スルニ至リ、茲ニ於テ一人一日給水量一二五「リットル」給水人口九十二萬人ヲ目途トシ本事業ヲ樹立、昭和七年度ニ工事ニ着手、本年度ニ事業繰越ヲナシ施行中ナリシモ、本年度末ニ於テハ松ヶ崎配水池及配水管ノ整備、並ニ導水管工事ヲ殘シ他ハ全テ完成セリ。

#### (ロ) 量水器取換概況

度量衡法施行令ニ依リ昭和三年十月一日ヨリ量水器ノ檢定ヲ受クルコト、ナリ、ソレ以前ニ購入シタルモノニ對スル檢定猶豫期限ハ昭和十三年六月三十日迄デアツテ、本市ガ昭和三年迄ニ購入シタル量水器ノ數ハ一二五、八六五個、此ノ内未檢定

ノモノガ四六、三二五個デアツテ、之ヲ昭和十二年度及十三年度ニ於テ檢定ヲ受ケ取換ヲ爲スベク、二ヶ年ノ繼續費トシテ經費二四二、二三〇圓（昭和十二年度 七七、二八七圓）ヲ計上シ、昭和十二年度ヨリ之ガ受檢及取換ニ着手、昭和十三年度ニ於テ未檢定量水器ノ受檢及取換ヲ完了シ、此ノ經費二三七、一一七圓七六錢ヲ要セリ。

#### (ハ) 鴨川改修附帶上水道事業概況

昭和十年度夏期兩度ニ亘ル水害ノ善後策トシテ、府ニ於テ、鴨川及高野川兩川ノ根本改良工事ニ着手セルニ伴ヒ、本市上水道ノ導水管及配水管ノ移設ノ要生ジタル爲、之ガ豫備取水設備及補給設備等ヲモ考慮シ、豫算四二二、〇〇〇圓ノ内府補助金四六、八一三圓ノ他ハ大半公債ヲ財源トシ、昭和十三年度以降三ヶ年繼續事業トシテ昭和十三年三月二十九日市會議決、同十一月三十日起債一部許可、十二月六日工事施行認可内意ヲ得テ着工、同十二日正式認可、翌十四年三月三十一日府補助金四五、七一七圓交付ノ指令ヲ受ケ、目下工事中ナリ。

#### (ニ) 第三期上水道擴張事業概要

昭和十一年度既ニ既設給水能力ハ滿度ニ達シタルヲ以テ之ガ擴張ノ必要ニ迫ラレ、一人一日平均給水量一九〇「リットル」、給水人口一、〇六〇、〇〇〇人ヲ目途トシ、蹴上淨水場ノ擴張及宇治川ニ原水ヲ求ムル桃山淨水場ノ新設、配水管ノ増設等ヲ事業内容トシテ、總豫算額五、八三五、〇〇〇圓、昭和十三年度以降五ヶ年繼續事業トシテ昭和十三年三月二十九日市會議決、翌十四年二月二十三日工事施行認可ヲ受ケ、目下工事施行準備中ナリ。

#### (ホ) 災害上水道處置狀況

昭和十三年八月二日前夜來ノ豪雨ニ高野川氾濫シ、同川右岸ニ位スル松ヶ崎淨水場モ亦其ノ厄ニ遭ヒ、正門及敷地ノ一部ハ流失シ、同川底ヲ横斷セル導水管亦午前九時半過ニ到リ損壞シ送水不能トナリ、同淨水場配水區域ニ對シ斷水スルノ止ムナキニ到リタル爲全局員晝夜兼行全力ヲ盡シテ之ガ復舊、給水其ノ他ニ對處シ、以テ同月八日ニ到リ漸ク復舊スルヲ得タリ。

之ニ要スル費用トシテ四四、五〇〇圓ヲ計上ス。

## 第二章 水源及浄水設備

### 一、原水取入口

浄水場名	取水方法	取入口名稱	取入口構造	取入口前面ノ水深
廠上	自然流下法	第一 琵琶湖疏水 第二 琵琶湖疏水	第二疏水日阿隧北端ニ内徑九一四耗ノ鑄鐵鑿孔管二條ヲ取付ケ、一秒時一・一三立方米ノ水ヲ第一疏水路下ヲ横斷シテ廠上船溜南側ニアル除砂井ニ導ク。 豫備トシテ第一疏水側壁ニ内徑七六二耗ノ鑄鐵鑿孔管二條ヲ取付ケ除砂井ニ連絡ス。	〔平水時〕 三・〇〇三 〔濁水時〕 三・〇〇三
松ヶ崎	自然流下法	琵琶湖疏水分線	東山ノ麓ヲ巡ル疏水分線ノ流水ヲ、白川道横斷箇所ノ東部ニ堰堤ヲ設ケ平水位ヲ海面上七五・七五米ニ高メ西岸ニ設ケタル取水ノ導管ニ導キ、之ヨリ内徑一、五二四耗ノ「鉄筋コンクリート」管ニテ引水ス。尙本導水管ハ毎秒二立方米ノ水ヲ引用スルコトヲ得ルモノトス。	〔平水時〕 一・七三三 〔濁水時〕 一・七三三
山科	自然流下法	第一 琵琶湖疏水 第二 琵琶湖疏水	山科四ノ宮柳山町ニ於テ第一第二疏水ノ中間ニ設ケ、常時第一疏水ヨリ取水井ニ引水ス、引水サレタ水ハ井内ニ布設スル九百耗導水管二條ニヨリ濾過池着水井ヲ經テ導水溝ニ流入ス。	

#### 備考

一、第一琵琶湖疏水ハ大津市三保ヶ崎ニ起リ、京都市廠上ニ達スル延長八・七一耗ノ運河ニシテ毎秒ノ水量三百立方尺トス。遠ク明治十八年一月ノ起工、同二十三年三月ノ竣工ニ係リ、工費貳百拾六萬壹千餘圓ヲ要セリ。夙ニ本邦土木事業界ニ於ケル著名ノ工事トシテ周知ラル、所ナリ。

二、第二琵琶湖疏水ハ明治四十一年十月起工、同四十五年三月ノ竣工ニ係リ工費約四百參拾萬圓ヲ要セリ。水路ハ第一疏水ト並

行シ延長七、四二耗、毎秒ノ水量五百五十立方尺ナリ。  
三、第一及第二琵琶湖疏水ハ廠上ニ於テ合流八百五十立方尺トナリ、七百五十立方尺ヲ發電用ニ、百立方尺及發電使用後用水五〇立方尺ヲ上下水道及防火用ニ供セリ。

### 二、除砂井

#### 蹴上浄水場

井數	内徑	深サ	構造	造	大要
一	長徑 五・〇六 短徑 四・五五	五・〇六	形状ハ長圓形ニシテ全部鉄筋「コンクリート」ヨリ成リ、縱横ニ隔壁ヲ設ケ一半ノ掃除其ノ他ノ便ニ供シ、又金屬製ノ芥除ヲ設ク 上家煉瓦造平家建面積二二・一八平方米	造	大

### 三、沈澱設備

#### (イ) 沈澱池

池數	上部		底部		平均總深	有効水深	有効容積	構造	造	大要
	長サ	幅	長サ	幅						
二	六・八	一八・五九	六・八	一八・五九	三・六六	二・四	二・九四	全部鉄筋「コンクリート」ニテ築造シ、中間ニ五個ノ導流壁ヲ設ケ、水位ヲ不變ニ保ツタメ入口鉄管ニ調節弁ヲ設置ス。	造	大

#### (ロ) 沈澱池附屬井

井數	長サ	幅	深サ	構造	造	大要
一	八・八	四・五五	三・九四	鉄筋「コンクリート」造ニシテ、横ニ隔壁ヲ設ケ、注入セル硫酸「礬土」ノ混和ヲ充分ニス 上家木造平家建面積七二・七三平方米	造	大



五、鹽素滅菌裝置

淨水場名	名 稱	基 數	一基ノ注入量	備 考
エレルイホルト 商會クローレ1式 O・H・S型	米國ワールスエ ンドテイアナン 會社M・S・V型 エルレイホルト 商會クローレ1式 O・H・S型	ニ	四・〇〇	濾過場北側中央部ニ設置シ、濾過場ヨリ來ル水ハ集合井ニ於テ液體鹽素ノ注入ヲ受ケ、其ノ混和シ、一部唧筒井ニ入り、他ハ低區配水池ニ入ル、二基ノ内一基ヲ豫備トス
ニ	ニ	ニ	一九・二〇	送水唧筒場内ノ一部ニテ設置シ、濾過池ヨリ來ル水ハ地下井ニ於テ液體鹽素ヲ注入ヲ受ケ、其ノ混和シ、充分ナラシムル爲特ニ設ケタル隔壁ノ間ヲ環流シテ唧筒井ニ入ル、二基ノ内一基ヲ豫備トス
四・〇	三・三〇	ニ	四・〇	第二期擴張事業ニ於テ増設シタルモノニシテ、新設唧筒室ノ南側ニ設置シ、濾過池ヨリ流入スル淨水ニ自動的ニ鹽素ヲ注入シ、井中ニ設ケタル上下障壁ニヨリ攪拌混和セラレ、唧筒井ニ流入ス、二基ノ内一基ヲ豫備トス
送水唧筒場ノ北寄ニ設置シ、濾過池ヨリ來ル水ハ地下井ニ於テ自動的ニ鹽素ヲ注入シ、井中ニ設ケタル導流壁ニヨリ攪拌混和セラレ、唧筒井ニ流入ス、二基ノ内一基ヲ豫備トス				

六、送水唧筒

場淨水名	臺 數	名稱及型式	製造所名	能 力	備 考
職 上	四	「エッシャウス」社 「スルザー」社	「スルザー」社	四・五 二・五	四台ノ内一台ヲ豫備トシ、三五・五米ノ高地ニアル高區配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ煉瓦造平家建ニシテ、其ノ面積ハ一五九・五平方メートルナリ
三	三	「エッシャウス」社	「スルザー」社	二・五 二・五	二台ノ内一台ヲ豫備トシテ六〇・六米ノ高地ニアル最高區配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ煉瓦造平家建ニシテ、其ノ面積ハ二九一・六七平方メートルナリ

七、配水池

淨水場名	池 數	上 部		底 部		水 深	有 効 容 積	備 考
		長サ	幅	長サ	幅			
山 科	二	一三・五	一〇・五	一三・五	一〇・五	四・五	五〇・〇	全部鉄筋コンクリートヨリ成リ、中ニ導流壁二條ヲ交互ニ設ケ、覆蓋ハ中央隔壁ヨリ百分一ノ勾配ヲ附シ、上部ニ「アスファルト」防水工ヲ施シ、眞砂土ヲ以テ之ヲ覆ヒ張芝ヲナス
松ヶ崎	二	四四・〇〇	三二・八	四四・〇〇	三二・八	四・〇九	五、二七・五	全部鉄筋コンクリートヨリ成リ、中ニ二九個ノ導流壁ヲ設ケ、上ニ鉄筋コンクリートノ覆蓋ヲ廻リ、厚サ〇・六一米ノ土ヲ覆フ
職 上	四	三六・五八	二五・六〇	三六・五八	二五・六〇	四・五五	三、九七・五	全部鉄筋コンクリートヨリ成リ、中ニ二九個ノ導流壁ヲ設ケ、上ニ鉄筋コンクリートノ覆蓋ヲ廻リ、厚サ〇・六一米ノ土ヲ覆フ
山 科	二	一三・五	一〇・五	一三・五	一〇・五	四・五	五〇・〇	全部鉄筋コンクリートヨリ成リ、中ニ導流壁二條ヲ交互ニ設ケ、覆蓋ハ中央隔壁ヨリ百分一ノ勾配ヲ附シ、上部ニ「アスファルト」防水工ヲ施シ、眞砂土ヲ以テ之ヲ覆ヒ張芝ヲナス
松ヶ崎	一	一	一	一	一	一	一	第二期擴張事業ニ於テ施設セシモノニシテ、六〇・八米ノ高地ニアル最高區配水池及三七・三米ノ高地ニアル高區配水池（目下新設工事中）ノ何レニモ揚水シ得ルモノトシ、常時豫備設備トス
山 科	二	二	二	二	二	二	二	前記唧筒ト共ニ新設セシモノニシテ、落差三七・三米ノ高區配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ鉄筋コンクリート造平家建、其ノ面積三・四八・二九平方メートル、前記四〇〇馬力ト共ニ同一屋内ニ設置ス
松ヶ崎	一	一	一	一	一	一	一	二台ノ内一台ヲ豫備トシ、三四米ノ高地ニアル配水池ニ揚水ス、唧筒室ハ木造平家建ニシテ、ソノ面積ハ五八・五平方メートルナリ

備考 松ヶ崎高區配水池ハ昭和十三年度末現在未完成ニ付省畧ス

八、導水路及送水路

淨水場名	導水路		送水路		延長	
	種別	内徑	種別	内徑		
上	鑄鉄管	九〇〇	導水溝	長一四・二寸、中一三・七寸、高九・七寸	九・五	
	同	七三	鑄鉄管	共		二・九
	同	七三	鑄鉄管	共		
計	同	七三	同	共	二・九	
	同	七三	同	共		
松ヶ崎	鉄筋コンクリート管	一、五〇〇	同鑄鉄管	同	二、八五〇	
	同	九〇〇	同	同		
山科	鑄鉄管	九〇〇	同	同	八七・〇〇	
	同	九〇〇	同	同		
備考		松ヶ崎八〇〇耗送水管ハ第二期擴張事業ニ於テ施設ス				

九、計量装置

淨水場名	個數	名	稱	種別	用途
上	五	英國「シヨイザ、ケント」會社製「ベンチユリメーター」	六〇〇耗 六〇〇耗 四七〇耗	一 一 一	六〇〇耗(高區用) 六〇〇耗(低區用) 四七〇耗(高區用)
松ヶ崎	一	同右 獨逸「ホツプロイテル」會社製「ベンチユリメーター」	七三耗 九〇〇耗	一 一	最高區用 高區用(第二期擴張事業ニ依リ設備セルモノ)
山科	一	獨逸「ホツプロイテル」會社製「ベンチユリメーター」	四〇〇耗	一	

十、水位及配水區域標高

淨水場名	原水取入口湧水面	沈澱池湧水面	濾過槽(池)湧水面	配水池湧水面	配水區域
上	第一疏水取入口 八二・六 <sup>米</sup> 第二疏水取入口 八二・四 <sup>米</sup>	八〇・六 <sup>米</sup>	七九・七 <sup>米</sup>	高區 一〇〇・六 <sup>米</sup> 低區 七五・四 <sup>米</sup>	最高 } 一〇〇 <sup>米</sup> 最低 } 一〇・一 <sup>米</sup>
松ヶ崎	北白川取入口 七五・七 <sup>米</sup>			最高區 一三・三 <sup>米</sup>	
山科	第一疏水取入口 八三・〇 <sup>米</sup>			一三・〇 <sup>米</sup>	



### 第三章 濾過狀況

#### 一、各浄水場累月濾過水量 (單位立方米)

月別	藏上浄水場		松ヶ崎浄水場		山科浄水場		計
	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	
四月	二,七四八,五九六	二,八五三,一七〇	一,七三三,三五五	一,〇七五,三五〇	二六,七〇二	二四,一七三	三,九四八,七五三
五月	三,〇六六,六六三	二,九〇〇,九四七	一,九五〇,七五五	一,五八〇,九三三	三三,八二六	二九,九四四	四,五五四,五八三
六月	二,八五二,〇五五	二,八四四,九五一	一,五三三,〇〇〇	一,五四九,一〇〇	三六,四七七	二八,六六六	四,四五五,六八二
七月	三,一四一,六三三	三,三六六,七五五	一,九六九,七八〇	一,九六一,八〇〇	四三,四四七	三三,八六九	五,一七一,〇八九
八月	三,二五五,六八八	三,二七二,七八八	一,四四六,六六〇	二,三三七,九〇〇	五四,〇七七	四六,四四五	四,七五二,九〇五
九月	二,七七二,八五三	二,八〇〇,三三六	一,八三三,六〇〇	一,六八一,二五四	六三,七七九	三三,九九五	四,六三三,七三三
十月	二,九四四,七八八	二,八四三,二一九	一,五五八,四四〇	一,五五〇,三五五	五八,二五〇	二七,五八七	四,五三〇,三七八
十一月	二,五三六,七五〇	二,六六七,三三四	一,六九一,〇〇〇	一,六〇〇,八〇〇	四九,九六六	二五,七七二	四,〇五二,八〇六
十二月	二,五三三,五七四	二,七九一,九二二	一,六六八,七五五	一,三五二,七五五	四四,九七七	二五,九八八	四,二四七,二六六
計	三,六七一,三七七	三,九四四,一九三	一,七五五,六二五	一,七六一,一九七	五五六,六四四	三五六,一九八	五,一九九,四七六

#### 二、最多、最少、平均濾過日量

△ハ最多  
◎ハ最少  
ナ示ス

(單位立方米)

月別	總量		最多日量		最少日量		平均日量	
	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度
四月	三,九四八,七五三	三,九五四,六九三	一四〇,七七七	一四一,六六一	二二,〇二二	二八,六七三	三二,六三五	三三,八二六
五月	四,五五四,五八三	四,四九八,九八四	一五一,〇六二	一五七,六〇〇	二七,七七〇	三九,八四三	四〇,四七〇	四,五五四,五八三
六月	四,四五五,六八二	四,四七三,七七七	一六一,三九八	一六一,五五一	二四,一〇〇	二九,四四五	一四七,八五五	一四九,〇九一
七月	◎ 五,一七一,〇八九	◎ 五,二八二,四四四	◎ 一七三,三四五	◎ 一八一,八四〇	二七,八六八	一五七,五〇三	◎ 一六六,八〇九	◎ 一六六,八〇九
八月	四,七五二,九〇五	◎ 五,〇三二,一三一	一七八,六三三	◎ 一九一,五三三	二八,八八六	一五八,八七八	◎ 一五八,八七八	◎ 一五八,八七八
九月	四,六三三,七三三	四,〇五二,四一五	一六八,六三三	一八,五三〇	◎ 二四,八四九	三九,八三七	一五四,五〇九	一五四,五〇九
十月	四,五三〇,三七八	四,四六〇,三三二	一五三,四三三	一九七,二七七	一三,八二六	三三,三三七	一四一,八九九	一四一,八九九
十一月	四,〇五二,八〇六	四,〇三三,九四五	一四九,三九四	一四六,二一九	二九,〇〇八	二八,五三三	一四〇,一九四	一四〇,一九四
十二月	四,二四七,二六六	四,〇二七,七六四	一六八,四七四	一五四,七七〇	二九,六八八	三三,七三二	一四〇,〇〇九	一四〇,〇〇九
計	三,七五二,〇〇三	△ 三,三三八,〇〇三	△ 一三三,七三三	△ 一三三,三九九	△ 二二,二九五	△ 二七,二九五	△ 二六,三三九	△ 二六,三三九

三、濾過水量累年比較

(單位立方米)

年度別	蹴上淨水場	松ヶ崎淨水場	山科淨水場	計	最 多 日 量	最 少 日 量	平 均 日 量
昭和十三年度	三、六二七、二二七	一七、七五五、六五	五、五九六、六四	五、九四九、四七	一八三、二四九	一〇、三三	一四三、三三
昭和十二年度	三、九五四、二九二	一七、六九一、一九七	三、五六一、九八	五、〇〇一、六八七	一九一、五五三	一〇、〇一五	一四三、四七〇
昭和十一年度	三、五五八、六九五	一六、三四〇、〇五	二、四四一、一六	五、〇一七、九一六	一七六、八五三	九、五三三	一三七、四七一
昭和十年度	三、二九一、三三三	一三、八三三、六四	四、〇四四、九五九	四、六七〇、九五	一六〇、〇九七	八、七二	一三五、九六九
昭和九年度	二、八六八、六九七	一三、六九九、〇六	四、五七三、七三三	四、〇一八、九三	一四八、〇〇〇	八、三三六	一三五、八八四
昭和八年度	三、〇一六、一〇六	一〇、二五五、七七	四、〇四八、九九三	四、〇一八、九三	一四三、七一九	八、六七三	一四〇、八四六
昭和七年度	二、九四七、九五七	七、四九〇、八四〇	三、六九七、七九七	三、六九七、七九七	一三九、六六	七、〇六六	一四〇、〇六四
昭和六年度	二、七三三、〇三三	六、四六一、一〇〇	三、九三三、一三	三、九三三、一三	一三七、二六六	六、一三三	一三九、八七五
昭和五年度	二、六六〇、二四六	六、四九三、〇〇〇	三、八五五、四四	三、八五五、四四	一三〇、八〇六	五、四三六	一三九、〇一四
昭和四年度	二、四四〇、八八八	五、〇七七、〇〇〇	三、四六六、八八八	三、四六六、八八八	一二五、三六〇	四、八三九	一三六、二二
昭和三年度	二、六九五、四四五	三、二七、八五	三、〇〇三、三〇	三、〇〇三、三〇	一〇七、七九〇	五、〇九二	一三六、一六七
昭和二年度	二、五〇九、四二七	二、一三三、〇〇六	二、七三三、九七	二、七三三、九七	一〇一、四七一	五、〇六五	一三三、三六八
昭和元年度	二、五〇九、四二七	二、一三三、〇〇六	二、七三三、九七	二、七三三、九七	九七、二六六	五、一五三	一三三、八八九

第四章 配水管

一、配水幹線系統

淨水場名	配水幹線名	配水管線敷設場所
蹴上	高區北部幹線	計量室ヨリ出テ、廣道、丸太町、東大路、東一條、河原町、今出川及元誓願寺ヲ經テ御前通ニ至ル
	高區南部幹線	計量室ヨリ出テ、廣道、南禪寺、仁王門、二條、烏丸、丸太町、新町及下立賣ヲ經テ御前通ニ至リ、北部幹線ト連絡ス
	高區東山幹線	計量室ヨリ出テ、應天門、圓山公園、四條及東大路ヲ經テ泉涌寺前ニ至ル
	低區北部幹線	計量室ヨリ出テ、三條、東白川、古門前及大和大路ヲ經テ四條通ニ出テ、四條木屋町ニテ二幹線ニ分テ七條内濱ニ至リ南部幹線ト連絡ス
松ヶ崎	低區南部幹線	計量室ヨリ出テ、三條、東白川、四條、大和路、五條、本町通及七條ヲ經テ大宮ニ至リ北部幹線ト連絡ス
	最高區配水幹線	計量室ヨリ出テ、松ヶ崎、鞍馬兩街道交叉點ニ於テ二幹線ニ分岐ス
	第一幹線	分岐點ヨリ鞍馬街道ヲ南下、農林學校前ヲ西進シテ川端ニ出テ、鴨川左岸ニ沿ヒ、元藁橋附近ニテ鴨川ヲ横斷シ、今出川ニ出テ蹴上高區北部幹線ニ連絡ス
	第二幹線	分岐點ヨリ植物園北側ヲ西進シ、鴨川ヲ横斷、新町通ヲ南下シ、疏水分線右岸及鞍馬口ヲ西進シ、金關寺前、今小路ヲ經テ、北野神社鳥居前ニテ蹴上高區幹線ニ連絡ス
松ヶ崎	高區配水幹線	計量室ヨリ出テ、鞍馬街道、北大路ヲ經テ西大路ヲ南下シ、上ノ下立賣ニ於テ嵯峨幹線ヲ、丸太町ニ於テ丸太町幹線ヲ、三條ニ於テ三條御池幹線ヲ分岐シ、高辻ヲ經テ油小路ニ至リ、蹴上低區幹線ニ連絡ス
	嵯峨幹線	分岐點ヨリ太秦、嵯峨ヲ經テ、渡月橋東詰ニ至ル
	丸太町幹線	分岐點ヨリ丸太町、千本、樺木町、土屋町ヲ經テ下立賣ニ至リ、蹴上高區幹線ニ連絡ス
	三條幹線	分岐點ヨリ三條、千本、御池ヲ經テ堀川ニ至リ、蹴上低區幹線ト連絡ス

山科	配水幹線	計量室ヨリ出テ、舊三條街道ヲ西へ安祥寺川交叉點ニテ二幹線ニ分岐ス
	日ノ岡幹線	分岐點ヨリ舊三條通ヲ西ニ進ミ、御陵進道町ヲ經テ、京津國道ヲ西へ日ノ岡ニ至ル
	醍醐幹線	分岐點ヨリ南進シ、東野、大塚、小野ヲ經テ醍醐一言寺ニ至ル
	音羽幹線	四ノ宮大將軍町ニ於テ配水幹線ヨリ分岐シ、南進シ、音羽ヲ經テ大塚ニ於テ醍醐線ト合ス
	厨子奥幹線	御陵御廟野町ニ於テ日ノ岡線ヨリ分岐シ、南進シ、厨子奥ヲ經テ西野ニ至リ東進シ、竹鼻大手洗ニ於テ醍醐線ト合ス

一、配水管總延長

(單位米)

口徑別	鐵管		鋼管		其他		計	
	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十二年度
九〇〇耗 (三六吋)	六、二六六・六一						六、二六六・六一	
八〇〇耗 (三二吋)	一、一九〇・〇一						一、一九〇・〇一	
七五〇耗 (三〇吋)	九〇〇・四八						九〇〇・四八	
七〇〇耗 (二八吋)	五五・九三						五五・九三	
六五〇耗 (二六吋)	二、五九一・二六						二、五九一・二六	
六〇〇耗 (二四吋)	一、五七三・三三						一、五七三・三三	
五五〇耗 (二二吋)	六、九三三・六六						六、九三三・六六	
五〇〇耗 (二〇吋)	三、四〇一・八七						三、四〇一・八七	
四五〇耗 (一八吋)	九、三九五・七四						九、三九五・七四	
四〇〇耗 (一六吋)	九、六五〇・三三						九、六五〇・三三	
三五〇耗 (一四吋)	一、三九五・五三						一、三九五・五三	
三〇〇耗 (一二吋)	四、四七三・四九						四、四七三・四九	
計	六、二六六・六一	一、一九〇・〇一	九〇〇・四八	五五・九三	二、五九一・二六	一、五七三・三三	六、九三三・六六	三、四〇一・八七

二五〇耗 (一〇吋)	二、一七三・〇三	七、四六六・五三	九三三・九四	九三三・九四		二、一七三・〇三	七、四六六・五三
二二五耗 (九吋)	六、四八一・八四	六、四八一・八四	四、〇〇〇・五三	三、六八二・六三		六、四八一・八四	七、三九三・七八
二〇〇耗 (八吋)	四、三三九・五七	三、〇四九・四三	二、二七四・一五	二、二五九・九二		四、三三九・五七	六、〇〇三・〇〇
一五〇耗 (六吋)	一、五〇九・三三	二、三、五九〇・〇六	二、一〇一・五八	二、〇四一・五八		一、五〇九・三三	二、一〇一・五八
一二五耗 (五吋)	五、一五二・〇六	五、六、四九三・三六	五、四〇〇・四四	五、〇〇六・五七		五、一五二・〇六	五、八、五五三・四四
一〇〇耗 (四吋)	二、六五二・七三	二、七、四二一・六一	八〇二・七三	八〇二・七三		二、六五二・七三	二、七、四二一・六一
八八耗 (三吋半)	一、六九一・四九	一、六九一・四九	二〇七・六三	二〇七・六三		一、六九一・四九	一、六九一・四九
七五耗 (三吋)	二、二五五・五三	一、一、二五五・五三	二〇七・六三	二〇七・六三		二、二五五・五三	一、一、二五五・五三
計	六、四八一・八四	六、四八一・八四	二、一〇一・五八	二、〇四一・五八		六、四八一・八四	七、三九三・七八

備考

- 一、第二期擴張事業ニ依ル十三年度末現在ノ出來高ヲ含ム
- 二、前年度ニ於テ八八耗鋼鐵管一六一、三八五米三二チ揚上セルモ之ハ鑄鐵管ニ付キ本年度ニ於テ訂正ス

三、配水管工事

(イ) 敷設

(昭和十三年度)

敷設場所	管徑	敷設延長	敷設工費	着手年月日	竣工年月日
伏見區伏見五ヶ莊線	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	五、〇〇四・五三	三・七・三	一四・三・六
桃山町大津町 六地藏橋西詰	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	三、〇七三・七三	三・七・三	一四・三・六
伏見區伏見五ヶ莊線	一五〇耗	九、一〇〇・〇〇	六、九四三・五五	三・七・三	一四・三・六
桃山根來 桃山江戶町及乃木神社前通	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	三、〇七三・七三	三・七・三	一四・三・六
堀内 伏見五ヶ莊線	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	三、〇七三・七三	三・七・三	一四・三・六
伏見區伏見五ヶ莊線	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	三、〇七三・七三	三・七・三	一四・三・六
桃山町大津町 桃山町根來	一五〇耗	六、一五〇・〇〇	三、〇七三・七三	三・七・三	一四・三・六
上京區蓮華谷火葬場道	一〇〇	一、四七三・〇〇	二、一〇三・〇〇	三・七・三	一四・三・六

伏見區深草開土町七八	一五〇	一六二〇	一八・六〇	三・八	三・八	三・八
左京區鹿ヶ谷寺ノ前町三八	八八	七・五〇	三〇・四〇	三・八	三・八	三・八
左京區高野竹屋町	一〇〇	一八五・五〇	八六・八六	三・九	三・九	三・九
上京區紫野下門前町	八八	五七・〇〇	二八・五〇	一四・二	一四・二	一四・二
計		二六三・二〇	三〇・九七・六			

(口) 撤去 (昭和十三年度)

撤去場所	管徑	撤去延長	撤去工費	着手年月日	竣工年月日
伏見區伏見五ヶ荘線 桃山町大津町—六地藏橋西詰	一〇〇	六五・〇〇	八五・七〇	三・七	三・六
伏見區伏見五ヶ荘線 桃山根來—伏見五ヶ荘線	一〇〇	七六・二〇	一・二四・三三	三・七	三・六
桃山根來—伏見五ヶ荘線 内—伏見五ヶ荘線	八八	九〇・〇〇	八七・二	三・八	三・八
東山區石泉院町		一・三六・二〇	二・〇三・二〇		
計					

(ハ) 工費 (昭和十三年度)

種別	鐵管別	八	八	耗	一〇〇	耗	一五〇	耗	計
敷設	延長	六四・五〇	三九・五〇	三・〇三・六六	三九・五〇	二・七六・三〇	一七・五三・四	二〇・三三・七	
工費	延長	三二・九八							

撤去	延長	九・〇〇	一・三三・二〇	一・三六・三〇
工費	延長	八・七二	二・〇一四・四九	二・〇三三・〇〇
差引	延長	五五・米	九九七・七〇	二・二九・三〇

(△) 撤去大 四、第二期擴張工事ニ依ル口徑別内譯 (單位米)

口徑別	鐵管別	鑄鐵管	鋼鐵管	合	計
九〇	耗	六・三六・六一			六・三六・六一
八〇	耗	一・一九・〇一			一・一九・〇一
七五	耗	四四・一一			四四・一一
七〇	耗	五三・九三			五三・九三
六五	耗	六三・八九			六三・八九
六〇	耗	五〇・〇三			五〇・〇三
五五	耗	二・八一・二二			二・八一・二二
五〇	耗	四・〇二・三三			四・〇二・三三
四五	耗	六・五五・四五			六・五五・四五
四〇	耗	一八・五八・九八			一八・五八・九八
三五	耗	三・八〇・五〇			三・八〇・五〇
三〇	耗	二・九〇・二四			二・九〇・二四
二五	耗	三・七五・〇六			三・七五・〇六
二〇	耗	二・七〇・〇六			二・七〇・〇六
一五	耗	四・六六・二九			四・六六・二九
一〇	耗	二・七〇・〇六			二・七〇・〇六
〇	耗	四八・六九・四三			四八・六九・四三
計		二四三・五四・三三	九五九・六〇	一・二〇三・一四	一・四〇六・八〇

備考 本表ハ本章二、配水管總延長中ニ含ム

### 第五章 配水状況

#### 一、各浄水場累月配水量

(單位立方米)

月別	高區		低區		小場		計	松ヶ崎浄水場	山科浄水場	合	計	桃山浄水場
	昭三年度和	昭二年度和	昭三年度和	昭二年度和	昭三年度和	昭二年度和						
四月	一、八三、六六六	一、六九、六六六	一、三九、一六三	一、三九、一六三	二、五五、〇九	二、六四、八八九	一、一七、三三九	一、〇五、四六六	二、六、八八八	三、七七、一五七	三、七九、五七	三、七四
五月	一、三〇、九九九	一、九、四七	一、五八、三三	一、五九、〇四六	二、八三、七二	二、七、五三	一、二九、六四	一、五七、七五	三、五、四	四、五一、九二	四、七五、〇三四	三、五八
六月	一、一四、四〇五	一、一〇、七〇〇	一、五、八二五	一、五、三九八	二、六、三〇	二、六、九、〇三	一、五八、三三	一、五七、四七	三、七、七	二、八、八〇	四、三、〇〇九	三、三
七月	一、一五、四〇四	一、一三、五〇〇	一、七、七、五〇五	一、七、六、六八	三、九、三、〇六	三、〇、八、二九	一、九、五、〇六	一、九、八、三六	三、三、三	四、九、三、三	四、三、〇、四	三、三
八月	一、三、六、〇一	一、〇、六、八〇	一、七、〇、五三七	一、七、七、五三七	三、〇、一、三、八八	二、九、五、四三	一、三、三、〇三	一、三、七、三三	三、六、一五	四、四、〇、〇	四、四、六、六〇	三、三
九月	九、七、七二	八、八、一、三	一、六、〇、三、八八	一、五、七、〇、七五三	二、五、五、五九三	二、四、八、八九五	一、八、八、〇二	一、九、四、八、九	三、八、二六	三、八、四	四、四、六、六〇	三、三
十月	一、二、五、九七	一、一、三、二七	一、五、四、二、五八	一、四、六、五七七	二、七、〇、七五	二、六、九、八八	一、四、九、六三	一、五、八、八三	五、八、三三	三、七、六七	四、三、六、六〇	三、三
十一月	九、五、二〇	一、〇、三、三三	一、八、四、〇、三八	一、五、三、一〇五	二、三、九、三三〇	二、四、五、四〇	一、六、〇、五九	一、三、〇、〇九	五、〇、二八	三、五、八〇	四、〇、〇、五七	三、三
十二月	九、〇、九三	一、三、四、三九〇	一、三、九、三、八八	一、三、六、四、九三	二、九、九、三三〇	二、四、八、三三	一、六、三、三五	一、三、九、〇三	四、〇、〇、〇	三、六、〇、四	四、〇、〇、五七	三、三
一月	八、二、六四	一、〇、九、三三〇	一、二、九、二、〇二	一、二、八、八、六〇	二、七、四、六四五	二、三、三、九、〇	一、五、五、九五	一、〇、八、八	四、六、八八	三、五、八〇	三、七、七、七	三、三
二月	八、九、二七	一、〇、〇、五二	一、一、〇、四、一〇	一、一、四、三、四〇	二、一、〇、一、五四七	二、一、七、七、二	一、三、五、九五	九、七、〇、九	四、五、五二	三、五、七、九	三、五、〇、七六	三、三
三月	一、五、六、〇〇	一、七、〇、〇、七	一、三、三、〇、五七	一、五、〇、一、七	二、九、三、三、七	二、五、〇、一、八	七、七、七三	一、一、四、五、〇〇	四、五、二〇	三、七、七、七	三、七、七、七	三、三
計	三、五、二〇、二九	三、三、三、三、七	七、七、九、一、二六	七、六、四、〇、一、八七三	二、一、二、五、五、三〇、九	二、一、二、五、五、三〇、九	二、七、六、八、四	二、七、六、八、四	二、三、五、五、三、九	二、三、五、五、三、九	二、三、五、五、三、九	二、三、五、五、三、九

備考 桃山浄水場ハ本年度初メ第十六師團ヨリ經營委託ヲ受ケタルモノニシテ他ノ浄水場ト性質ヲ異ニセルニヨリ別掲ス

### 二、最多、最少、平均配水日量

◎ハ最多 △ハ最少

(單位立方米)

月別	總量		最多日量	最少日量	平均日量	
	昭三年度和	昭二年度和			昭三年度和	昭二年度和
四月	三、七七、一五七	三、七九、五七	一、四、八、八七	一、一、六、三	一、四、九、七	二、五、六、五
五月	四、一、五、九一	四、二、七、〇三	一、四、八、八七	一、一、六、三	一、五、〇、九四	三、三、三
六月	四、三、三、〇九	四、一、〇、一六	一、五、二、三三	一、五、四、九	三、三、〇、八	一、〇、一、〇
七月	◎ 四、九、三、三三	五、〇、三、四一	◎ 一、七、六、一七	一、七、一、六	一、四、〇、〇	◎ 三、九、一〇七
八月	四、五、四、〇三	◎ 五、〇、九、三三	一、七、〇、四五	一、五、二、九八	◎ 一、五、〇、六	一、六、八、〇
九月	四、四、四、〇〇	四、四、一、六三	一、六、二、九四	◎ 一、五、〇、九四	二、六、九、四	一、八、八、〇
十月	四、三、六、六九	四、三、七、三三	一、四、七、八九五	一、五、〇、八九	二、四、四、九	一、五、九、二五
十一月	三、九、七、四二	三、八、〇、三二	一、四、二、二四	一、三、六、六九	二、一、八、三〇	三、三、四、九
十二月	四、〇、〇、五七	三、七、四、七	一、五、八、〇〇	一、四、〇、〇	二、一、一、四	三、二、二、五
一月	三、七、三、四九	三、四、九、七	一、三、〇、一一	一、九、八、六	△ 一、〇、六、一〇	三、三、七、三
二月	△ 三、五、七、〇六	三、四、七、六六	一、三、一、三	△ 一、五、六、四七	一、一、八、三	三、三、二、三
三月	三、七、二、六〇	三、六、八、四三	△ 一、四、六、三	二、五、三、七	二、四、六、四	△ 三、〇、〇、七
計	四、九、三、九四	四、〇、〇、八二〇	一、	一、	一、	三、五、三、九

備考 右ノ表ニ於テハ桃山浄水場ノ配水量ハ含まズ

三、配水量累年比較

(單位立方米)

年度別	賦上淨水場			松ヶ崎淨水場	山科淨水場	合計	最 多 日 量	最 少 日 量	平 均 日 量
	高 區	低 區	小 計						
昭和十三年度	三、五〇、三三九	一七、六九一、二六六	三、二二一、三五五	一七、六八、四九四	五五五、三三九	四九、三九四、九八八	一七六、五七	一〇三、六〇三	一三五、三三九
昭和十二年度	三、三四、三三〇	一七、六四〇、一八七	三〇、九八三、五二一	一七、六六一、二〇三	三五六、〇七	四九、〇〇〇、八二〇	一八一、六八五	九五、五七六	一三四、二四八
昭和十一年度	三、四九、一一五	一七、一〇四、一三三	三〇、六〇二、三三七	一六、二四一、九五八	二九一、一八七	四七、一三六、〇六六	一七〇、五二九	八五、三〇六	一三九、三三九
昭和十年度	一、八八、〇〇三	一五、四九八、六九二	三〇、三九四、六九五	一五、五三三、六〇五	四三、九七三、三〇〇	四三、九七三、三〇〇	一五一、五〇六	七五、七八八	一〇七、一四八
昭和九年度	二、八四、四五四	一四、七九、八八九	二六、五七五、二五三	二、五三三、七六六	—	三九、〇九、〇三九	一四〇、六四四	七四、三三三	一〇七、一四八
昭和八年度	二、二八、四四五	一四、九七、〇三三	二七、二〇六、四八八	一〇、〇七五、五三一	—	三七、二八二、〇三九	一三四、二四八	六七、九三三	一〇三、一四一
昭和七年度	二、六四、一一〇	一三、五四六、一九一	二六、一九〇、四〇一	七、五四四、〇三〇	—	三三、四四四、四三二	一三一、六六〇	七四、九一〇	一〇三、一四一
昭和六年度	三、〇四、七三七	一一、七三三、七二五	二四、八〇〇、八五二	六、三五六、六四四	—	三二、七七二、一六	一八〇、二四	五〇、四〇三	八五、一八三
昭和五年度	三、六六、五六四	一一、七七八、七五〇	二四、四六五、三四	六、二九一、六七七	—	三〇、七五六、九九二	一六、七〇二	四六、九六〇	八四、二六六
昭和四年度	二、八五、八七二	一一、五五一、〇五一	二四、二〇六、九三三	四、八六六、四四五	—	二九、〇三三、〇六八	一五、二八三	四四、八〇〇	七九、五四三
昭和三年度	二、七六、五九〇	一一、八四、九九	二四、九〇、四八九	三、四七三、三二	—	二八、〇四八、七二〇	一〇三、八六	五〇、一六三	七九、六三三
昭和二年度	一一、三七三、四一六	一一、〇七、六〇一	三三、八八、一〇七	二、〇二二、〇四七	—	二四、九三、〇六四	九六、〇〇五	四六、〇一一	六八、三三五
昭和元年度	三、九三、八三三	一〇、八三二、一九〇	三三、八〇〇、四三二	—	—	二五、八〇〇、五三	八八、九九八	四九、八九三	六五、二〇七

四、一日平均配水量累年比較

年度別	一日配水量			一人當一日平均配水量			一檢當一日平均配水量			設計容量 =對スル 配水量割 ノ割合	設計容量 =對スル 設計容量 給水量割 ノ割合	全市人口 =對スル 給水量割 ノ割合
	平 均	最 多	最 少	平 均	最 多	最 少	平 均	最 多	最 少			
昭和十三年度	一三五、三三九	一六、一五七	一〇、一〇一	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一八・〇	一一・四	六・五九
昭和十二年度	一三四、二四八	一八、六六五	九、五五	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和十一年度	二九、三三九	一七〇、五九九	八、五三六	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和十年度	一七、二六〇	一五、五七六	七、五七六	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和九年度	一〇七、一四八	一四〇、六四四	七、四三三	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和八年度	一〇三、一四三	一三四、四八	六、七九三	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和七年度	九二、三三〇	一三三、六六〇	七、四九〇	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和六年度	八五、一八三	一一八、〇〇四	五、〇四三	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和五年度	八四、二六六	一一六、七〇二	四、六九〇	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和四年度	七九、五三三	一一五、二八三	四、五八〇	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和三年度	六八、〇三六	一〇三、八五五	五、〇一六	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和二年度	六八、〇三六	九六、〇〇五	四、六三六	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七
昭和元年度	六五、二〇七	八八、九九九	四、八九三	〇・一七	〇・三三	〇・一四	一・〇六	一・三三	〇・七五	一七・九	一一・三	六・七

備考 本年度設計容量ハ第二期擴張事業未完成ニ付舊計畫容量ニテ計算セリ



細菌落數					マカニオン酸消費量					蒸發殘渣					總硬度				
低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水
一	二	一	一	四	二	二	二	三	三	五	五	四	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	二	二	二	三	四	四	五	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	九	九	一	三	二	二	四	四	四	四	四	五	五	一	一	一	一	一
二	〇	二	四	四	三	三	三	四	五	五	五	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	八	六	三	三	三	四	五	五	四	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	二	六	七	三	三	三	四	五	五	五	五	五	五	一	一	一	一	〇
〇	一	一	七	八	二	二	二	三	四	四	五	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	二	二	二	四	四	五	四	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	三	二	三	三	四	五	五	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	四	四	四	五	五	五	五	五	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	三	三	三	五	五	四	四	四	五	五	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	三	三	三	四	四	四	四	四	五	五	一	一	一	一	一

亞硝酸性素					亞硝酸性素					硝酸性素					硫酸イオン				
低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水	低區	高區	濾過	沈澱	源水
微痕跡	微痕跡	微痕跡	痕跡	痕跡	不檢出	不檢出	不檢出	不檢出	不檢出	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡
痕跡	痕跡	痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	〃	〃	〃	〃	〃
微痕跡	微痕跡	微痕跡	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	微痕跡	微痕跡	微痕跡	〃	〃	微痕跡	微痕跡	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃



ソオイ素鹽	度リカルア	應 反	味 臭
北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口	北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口	北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口	北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口
五・六〇 五・六〇 五・五〇 五・五〇 五・六〇	二五・〇〇 二五・〇〇 二五・〇〇 二五・〇〇 二六・〇〇	微弱 弱 弱 弱 弱 弱 カ カ カ カ カ カ リ リ リ リ リ リ 性 性 性 性 性 性	異常 常 常 常 常 常 ナ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ
五・五〇 五・四〇 五・四〇 五・三〇 五・三〇	二六・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二五・〇〇	〃	〃
五・六〇 五・七〇 五・八〇 五・四〇 五・四〇	二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・九〇 五・〇〇 五・〇〇 五・〇〇	三三・〇〇 三三・〇〇 三三・〇〇 三三・〇〇 三三・〇〇	〃	〃
五・二〇 五・二〇 五・四〇 五・八〇 五・八〇	二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二五・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・八〇 五・八〇 五・九〇 五・七〇	二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二五・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・一〇 五・四〇 五・六〇 五・六〇	二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二四・〇〇 二五・〇〇	〃	〃
五・二〇 五・〇〇 五・八〇 五・九〇 五・九〇	二五・〇〇 二五・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇 二五・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・一〇 五・〇〇 五・〇〇 五・一〇	二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇	〃	〃
五・六〇 五・五〇 五・一〇 五・一〇 五・一〇	二七・〇〇 二七・〇〇 二七・〇〇 二七・〇〇 二七・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・一〇 五・〇〇 五・〇〇 五・一〇	二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇 二六・〇〇	〃	〃
五・一〇 五・四〇 五・五〇 五・五〇 五・〇〇	二五・〇〇 二五・〇〇 二五・〇〇 二五・〇〇 二五・〇〇	〃	〃

度 色	度 濁	探 試 試	試 驗 項 目
北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口	北南柳濾着取 配配筒過水入 水池室池井口	探 試 試 酌 驗 驗 回 回 日 數 數 數	試 驗 項 目 月 別
無色 無色 無色 無色 九・〇 八・七	透明 透明 透明 透明 二・六 二・五	四 四 四 一 一 一 五 五 五 二 二 二 四 四 四	四 月
〃 〃 〃 〃 六・七 五・二	〃 〃 〃 〃 一・八 一・六	五 五 五	五 月
〃 〃 〃 〃 四・六 三・七	〃 〃 〃 〃 二・八 二・四	四 四 四	六 月
〃 〃 〃 〃 五・三 二・六	〃 〃 〃 〃 三・八 二・四	四 四 四	七 月
〃 〃 〃 〃 四・八 四・二	〃 〃 〃 〃 四・一 一・六	五 五 五	八 月
〃 〃 〃 〃 一〇・六 一〇・七	〃 〃 〃 〃 七・一 七・三	四 四 四	九 月
〃 〃 〃 〃 八・二 六・八	〃 〃 〃 〃 三・七 四・三	五 五 五	十 月
〃 〃 〃 〃 七・二 六・八	〃 〃 〃 〃 二・七 二・四	四 四 四	十 一 月
〃 〃 〃 〃 三・一 三・四	〃 〃 〃 〃 一・八 二・三	三 三 三	十 二 月
〃 〃 〃 〃 五・五 四・八	〃 〃 〃 〃 三・三 三・四	四 四 四	一 月
〃 〃 〃 〃 九・五 一〇・四	〃 〃 〃 〃 二・二 二・五	四 四 四	二 月
〃 〃 〃 〃 一五・三 一三・六	〃 〃 〃 〃 四・〇 三・三	四 四 四	三 月

二、松ヶ崎浄水場

(昭和十三年度)



三、山科浄水場

(昭和十三年度)

度 色				度 濁				探 試 試 酌 驗 驗 同 同 日 數 數 數	試驗項目 月 別
配	唧	濾	着	配	唧	濾	着		
池	室	池	井	池	室	池	井	三 三 三	四月
無色	無色	無色	九・六	透明	透明	透明	三・一		
〃	〃	〃	六・九	〃	〃	〃	二・六	四 四 四	五月
〃	〃	〃	四・七	〃	〃	〃	三・三	四 四 四	六月
〃	〃	〃	五・一	〃	〃	〃	三・五	四 四 四	七月
〃	〃	〃	九・四	〃	〃	〃	七・五	五 五 五	八月
〃	〃	〃	一九・六	〃	〃	〃	一九・八	四 四 四	九月
〃	〃	〃	六・七	〃	〃	〃	四・一	四 四 四	十月
〃	〃	〃	四・三	〃	〃	〃	二・一	四 四 四	十一月
〃	〃	〃	七・二	〃	〃	〃	三・五	三 三 三	十二月
〃	〃	〃	八・〇	〃	〃	〃	三・九	三 三 三	一月
〃	〃	〃	三・九	〃	〃	〃	二・〇	四 四 四	二月
〃	〃	〃	一〇・一	〃	〃	〃	二・七	四 四 四	三月

ン オ イ 素 鹽				度 リ カ ル ア				應 反				味 臭			
配	唧	濾	着	配	唧	濾	着	配	唧	濾	着	配	唧	濾	着
池	室	池	井	池	室	池	井	池	室	池	井	池	室	池	井
五・六〇	五・六〇	五・三〇	五・三〇	二六・〇〇	二六・〇〇	二七・〇〇	二五・〇〇	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ
五・五〇	五・四〇	五・三〇	五・五〇	二七・〇〇	二六・〇〇	二七・〇〇	二五・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・三〇	五・四〇	五・二〇	五・三〇	二六・〇〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二五・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
四・九〇	五・〇〇	五・〇〇	四・九〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二四・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・〇〇	五・〇〇	四・八〇	五・〇〇	二九・〇〇	二七・〇〇	二五・〇〇	二四・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
四・九〇	五・〇〇	四・七〇	四・八〇	二九・〇〇	二八・〇〇	二九・〇〇	二六・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・三〇	四・九〇	五・一〇	五・一〇	二七・〇〇	二六・〇〇	三〇・〇〇	二四・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・〇〇	五・〇〇	四・八〇	四・八〇	二七・〇〇	二六・〇〇	二七・〇〇	二五・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・四〇	五・三〇	五・二〇	五・五〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二六・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・三〇	五・三〇	五・一〇	五・七〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二六・〇〇	二六・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・五〇	五・五〇	五・三〇	五・七〇	二七・〇〇	二六・〇〇	二六・〇〇	二七・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
五・一〇	五・一〇	五・〇〇	五・一〇	二七・〇〇	二七・〇〇	二六・〇〇	二五・〇〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃



四、市内給水栓

(昭和十三年度)

試験項目	月別											
	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
試験回数	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
探検回数	二	三	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
濁度	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明	透明
色度	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色	無色
臭気	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ	異常ナシ
反応	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性	微弱カリ性
アルカリ	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇
硫酸イオン	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇	五・六〇
硝酸性窒素	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡	痕跡
亜硝酸性窒素	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
アンモニア性窒素	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡	微痕跡
総硬度	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
蒸留残渣	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇	四九・〇〇
過マンガン酸カリ	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五
細菌落数	一	一	二	三	一	三	三	一	三	二	四	一

第七章 給水工事

一、給水工事件数

(イ) 累月施工件数

(昭和十三年度)

月別	新設						増設	變更	撤去	計
	専用栓	共用栓	臨時栓	防火栓	撒水栓	計				
四月	三九四	二四	一	三	一	四七	五	一五〇	四九	六八〇
五月	四〇〇	三二	一	三	一	四七	六	二〇〇	五九	六七九
六月	三三七	三八	一	三	一	四七	六	一六七	五三	六七〇
七月	三六六	三六	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
八月	三六六	三六	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
九月	三〇〇	三三	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
十月	一九六	二四	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
十一月	一〇二	一六	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
十二月	二四	三	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六八二
計	三,二五七	三九	一	三	一	四七	六	一四一	五二	六,三三〇

計	三二一十二月				十一月				十月				九月				八月				七月				六月				五月				四月				月別	種別
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
二,四四六	一八〇	九	九	七	一七	一五	一五	三三	二四	二七〇	二六五	三三	二六	二六	二六	二六	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七		
103	三	二	一	二	六	五	九	五	三	七	八	四																										
一八	三		二	一	三	二	一	四																														
壹	二	一		五	四	五	九	一	〇	四	一	一																										
二,五三〇	一九	二	九	一八	一六	二五	二五	二四	三三	二七	三三	三九																										
二七	六	三	九	七	一	二	三	三	一六	六	七	三																										
五三	三	三	五	九	三	三	六	三	〇	九	六	〇																										
八	五	二	一	〇	一	六	一	三	六	七	八	八																										
三,四四〇	二六	六	二	二	二	二	三	一	一	八	五	二																										

(ハ) 請負工事

(昭和十三年度)

計	三二一十二月				十一月				十月				九月				八月				七月				六月				五月				四月				月別	種別
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
九二	七	三	三	三	〇	一	六	六	九	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七	一〇	七		
二六	三	二	一	〇	一	六	六	九	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二	三	二		
四	八			〇	五			四	三			一	一			五	五																					
九	一			二	三	三	元	四	元	六	五	二																										
八	一								二	一	三	一																										
一,一八一	九	三	六	六	二	六	七	一	一〇	一〇	一〇	九																										
三三	六	二	三	一	八	一	六	三	三	三	四	三																										
九九	三	一	五	九	六	六	四	〇	九	九	二	一〇																										
四八〇	七	一	六	八	六	三	一	五	八	六	八	四																										
二,八六一	一六	八	二	八	二	九	一	一	一	八	二	〇																										

(ロ) 直營工事

(昭和十三年度)

二、各種別給水工費

(昭和十三年度)

工種別	工費		摘要	
	直營工事	請買工事		
	計			
工種別	直營工事	請買工事	一ヶ所平均工費	
有料工事	新設 五九,三三四・六五 増設 二五,三二九・二三 變更改 二九,〇五二・〇〇 撤去 一,一五三・六六五 計 一二四,七四九・五四五	二七,四七二・二九三 一,九〇二・五五一 三,五〇四・九四四 六六,八九九 三三,九三二・五八七	八六,六一・八五八 二七,三二七・六六四 三三,五六一・九四六 一,三〇〇・五六四 一四七,六一・一三三	直營工事 五〇・七五 請買工事 二二・七三 計 七三・四八
無料工事	新設 二八,〇〇六 増設 八三,八五四 變更改 六,四九三・三二四 撤去 七四四・八三三 計 一三三,一三四	一九一,七六三 四,六九八・八六七 一,〇九二・〇八五 一五二,五〇〇	二八,〇〇六 八三,八五四 六,四九三・三二四 九六,九九五 七,〇四二・六五 二,八二二・五四四 一三三,一三四	二六・四〇 八三・八五 一四・六六 四・二八 二二・九七 四・六六 〇・八八 〇・二五
總計	一六七,四九九・九九七	三九,六四四・〇〇三	二〇七,一四四・七九九	請買工事費ハ道路部分及 接續工事費ナリ

四四

三、施工件數累年比較

工種別	年次				
	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和九年度
新設	三七二	五九一	八〇三	七三三	六八二
増設	五二	六二六	六八〇	七五七	七二八
變更改	一,五四九	一,七六五	二,二二四	二,五九五	二,三七三
撤去	五六二	六五四	六〇八	五八四	四九四
修繕	一八,四二六	一八,一九八	一七,〇六七	二二,八八六	一八,〇一九
計	七〇,九二三	六八,九六三	六八,九七一	一六八,八三三	一四九,四四四

四、上半期下半年期別新設施施工件數比率累年比較

年度別	種別	比率	
		上半年	下半年
昭和十三年度	專用	三,二五七	二,〇九八
	共用	二二九	二二七
昭和十二年度	專用	三,六四三	二,三五六
	共用	一五七	一三三
昭和十一年度	專用	六,四〇三	六,四〇三
	共用	六八〇	六八〇
昭和十年度	專用	七,三三三	七,三三三
	共用	七五七	七五七
昭和九年度	專用	六八二	六八二
	共用	七二八	七二八

四五

五ヶ年間平均	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十二年度	防共専		
					計	火	用
六、三六〇	六、八二〇	七、三三三	八、〇四二	五、九九一	三、六一八	一、九七七	四、〇八七
三、七三三	四、一七九	四、〇三三	四、四二二	三、八五三	一、七九	六、〇九	三、〇四
五、八八八	五、九	五、四三	五、四九	五、九一	五、〇二	六、〇九	五、四七
三、四九	三、〇八	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
三、七三	三、三	三、二	三、二	三、二	三、二	三、二	三、二
五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八
三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三
五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八
三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三	三、七三

五、施工費累年比較  
(イ) 各種別工費累年比較

種別	昭和十三年度				昭和十一年度				昭和十一年度			
	撤去	變更	増設	新設	撤去	變更	増設	新設	撤去	變更	増設	新設
工費	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八
	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇
工費	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八	一、一八〇	一、〇〇八	一、〇〇八	一、〇〇八
	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇	二、五三〇





七、給水装置修繕工事

(イ) 行政區別施工件數累月比較

(昭和十三年度)

月別	種別	上京區	中京區	下京區	伏見區	右京區	左京區	東山區	計	合計
八月	無料工事 有料工事	一、八〇四 五六四	八六三 四二四	五六六 二七〇	二六四 六九	一五三 五三	八一九 二六三	四六九 二五一	四、九三七 一、八八四	六、八二二
七月	無料工事 有料工事	一、五九六 六四四	八五〇 四七一	五二九 二八四	二五三 七二	一一三 六〇	八一五 二九九	五一四 一三九	四、六六九 二、〇六八	六、七三七
六月	無料工事 有料工事	一、五三三 五六二	六六一 三六一	四九九 二五三	三三八 六〇	九二 六七	六九一 二五五	四九九 二〇八	四、〇二一 一、七六五	五、九六六
五月	無料工事 有料工事	一、二四八 五〇四	七三三 三五〇	四二二 二四九	二二三 六二	六六 四八	六八〇 二六一	四四五 一五八	三、八八七 一、六三二	五、四八八
四月	無料工事 有料工事	一、〇一六 三五八	六五五 二七五	三四六 一八九	二〇三 四七	九七 四六	五九五 二〇二	三七五 一五三	三、八八四 一、六六六	四、五五〇
計										

内譯計	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月
無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事	無料工事 有料工事
一、五七五 五、七四二	八八五 二、九四〇	一、〇〇七 三、八三二	九四〇 四、七六六	一、一八八 四、九三三	一、四三三 四、四四三	一、五〇二 四、七五五	一、五七七 五、四八八
八、二二五 三、七六七	四七七 一、九〇〇	五〇三 二、三三三	四七七 二、六五五	六八七 二、六三三	六六一 二、四七七	七四四 三、三三三	八五五 三、六七七
五、三〇〇 二、六〇〇	三三九 一、四七七	三三六 一、六〇〇	三九九 一、九八八	四四一 一、九四四	四一〇 一、八六六	四四〇 二、三三五	五三二 二、四六六
二、八九九 七、四〇	二二九 三、五五	三三三 六、一六二	三三五 六、七〇	二八九 七、〇〇	二五三 三、八	二六一 六、八	二五一 五、八
一、三三三 六、三三	六六 四、一	二二二 四、九	二一八 七、〇	二四四 六、七	九九 四、八	一三三 五、一	二二二 六、三
七、九八二 二、七九五	四九〇 一、三三二	五二二 二、〇三三	四九九 二、四二一	六〇二 二、五三三	六七〇 一、九〇〇	八六六 三、三六六	七九五 二、六〇〇
四、八三〇 二、二三八	三三〇 一、二七七	三三九 一、三三二	三三三 二、〇二六	三六〇 一、七五五	四〇四 一、三三八	三九四 一、五三三	四四九 一、七三三
四、一七五 一、八、四二六	二、七九五 九、五五五	三、〇三二 一、一九九	二、九二〇 一、五三三	三、八二一 一、五二四	三、九一〇 一、二八九	四、三三九 一、五五〇	四、四六一 一、七三三
六、四、五九二	三、七、七〇	四、三、三〇	四、四、五二	五、三、三五	五、一、九九	五、八、六九	六、一、三四

(口) 施工件数及工費累月比較

(昭和十三年度)

月別	施工件数		工費	
	有料工事	無料工事	有料工事	無料工事
四月	一、三六六	三、二八四	一、六六七、四三	九二、二七
五月	一、六三三	三、八七	一、九七〇、八〇	六八、二七
六月	一、七五	四、一〇一	二、三八、五八	九六、九二
七月	二、〇六八	四、六六九	二、六三、〇〇	一一、二九
八月	一、八四	四、九三七	二、六三、五九	一、〇九五、〇八
九月	一、七三	四、四六一	二、六八、三九	一、〇九七、四九
十月	一、五四〇	四、三三九	二、三三、五四	一一、二五、七七
十一月	一、二八九	三、九一〇	一、八六、九九	一一、五〇、三二
十二月	一、五三四	三、八二一	二、五三、八四	一一、二五、二一
計	一八、四四六	四六、一七五	二六、三五一、八九	二、〇〇四、四六

八、給水工事及修繕工事總工費

(昭和十三年度)

種別	有料工事	無料工事	計
給水工事	一四七、六八、二三	五九、四三、六七	二〇七、一四、九〇
修繕工事	二六、三五、八九〇	一一、〇四、四六〇	三八、三七、〇五〇
計	一七四、〇三、一三三	七〇、四八、一三〇	二四四、五一、二六三

九、給水工事材料検査數量

(昭和十三年度)

種別	市購入材料検査數	私工事材料検査數	摘要
鉛管	一五、九〇冠	八三、六七米	合金鉛管及純鉛管、改造鉛管等を含む 器具ハ鑄鐵曲管、サドルキャップ、ギボルト、ジョイント等 フケット、ニツプル、エルボ、チーヅ、ユニオン、クランプ等 接合管、止水栓、専用栓、ストツプバルブ、逆制弁、カツブリング、水栓弦、止水栓上部、チニーアナット、撒水栓、防火栓、同附屬専用栓上部等 撒水栓、防火栓、止水栓、量水器鐵蓋、コンクリート製止水栓籠、コンクリート製量水器籠等 ホールト、シャワー、鋼管用座金、埋金等
亞鉛鍍鋼管	二六、五一、三三米	三八、六五、三米	
エタニツトパイプ	五〇、七七米	—	
及其屬具	三八、三二個	—	
鋼管繼手類	五〇、二六個	四、二六個	
栓類及其屬具	二六、五四個	三、〇二個	
鐵蓋類	三、三五個	三、二個	
其他	二〇、三四個	—	

第八章 量水器

一、量水器取付及撤去數

(1) 取付個數累月比較

月別	口徑											
	七	一三	一六	二〇	二五	四〇	五〇	七五	一〇〇	一五〇	計	
四月												
五月												
六月												
七月												
八月												
九月												
十月												
十一月												
十二月												
計	二六	一〇三	四	九	五八	七	五	三	二		二、八四	
撤去數												
差引數												
計												

(昭和十三年度)

(口) 撤去數累月比較

(昭和十三年度)

月別	口徑											
	七	一三	一六	二〇	二五	四〇	五〇	七五	一〇〇	一五〇	計	
四月												
五月												
六月												
七月												
八月												
九月												
十月												
十一月												
十二月												
計	一〇	六	一	三	二〇	三	二				一、一九七	

一、量水器受檢數累月比較

(昭和十三年度)

受檢月	口徑												
	七	一三	二〇	二五	四〇	五〇	七五	一〇〇	一五〇	計	七	一三	二〇
四月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
五月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
六月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
七月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
八月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
九月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
十月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
十一月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
十二月	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
計	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格	合格
備考													

備考

合格率平均九九・五五%ニシテ關西各都市合格率ハ平均九九・二八%ナリ  
此ノ外委託修履檢定二四件一七、〇五〇個アリ

一月、三月ハ受檢數ナキ爲掲記セズ

二、量水器作業數累月比較

(昭和十三年度)

作業別	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計	備考
分解數	一、二二五	一、七六六	一、四三三	一、六四四	一、五八一	二、〇六九	一、五五九	一、八五〇	一、七七七	三、六九九	一、六〇三	一、六五九	一八、五四三	
組立數	一、六三七	一、八六六	二、一〇〇	一、九四二	一、四九二	二、四九七	二、〇八一	二、二六八	一、九九二	三、〇五九	一、三六七	二、〇四五	二、六八五	
試驗數	四、六四四	九、三三四	六、七七一	六、二八八	六、五九九	六、四八九	五、〇六八	五、八三三	四、二五八	四、六一一	二、八二三	二、九五三	六、五二六	
整調數	一、二五九	一、一七七	一、一三三	一、六二二	一、五四四	一、七〇九	一、三四一	一、八六七	一、〇九七	二、二五	六九九	五〇七	一四、〇六八	
取換數	三、五三三	三、七三三	三、八四六	三、二四四	二、二九五	三、二〇八	二、八一九	二、八五〇	一、九三三	一、六三三	一、四四六	二、〇六五	三、二五三	
備考														

備考

取換數ハ檢定及異狀取換ノ合計トス

四、量水器異狀取換累月比較

(昭和十三年度)

口徑	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計	備考
七	一	一	一〇	三	九	二二	一八	一四	一〇	八	一九	二二	一七	
一三	七	一	一〇	三	九	二二	一八	一四	一〇	八	一九	二二	一七	
計	七	一	一〇	三	九	二二	一八	一四	一〇	八	一九	二二	一七	
備考														

一五〇耗	計	七	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

備考 總計中ニハ引揚後故障原因調ベノ結果異狀認メ難キモノ二、三八〇個ヲ含ム

### 五、量水器異狀取外別計數

(昭和十三年度)

裝置總數	總異狀取外數	亂行	不進行	指針異狀	破文字板	其他	裝置數ニ對スル異狀率	備考
一四九、八〇〇	八、四八四	一、二九三	二、四三八	二、四三三	四	二、三三〇	五・七%	異狀量水器使用期間平均五一ヶ月

### 六、量水器購入及取付數

#### (イ) 量水器購入數累計

(昭和十三年度)

年度別	口径	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十一年度	至昭和十一年度計	自明治四十四年度	計
七	七	二、四〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一三	一三	一、二五〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
一六	一六	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
二〇	二〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
二五	二五	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
四〇	四〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
五〇	五〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
六五	六五	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
七五	七五	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一〇〇	一〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一二五	一二五	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
一五〇	一五〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
二〇〇	二〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
計	計	一八、四〇〇	一八、四〇〇	一八、四〇〇	一八、四〇〇	一八、四〇〇	一八、四〇〇

備考 本表括弧内數字ハ隣接町村編入ニヨル引續數(一般量水器二七三個及携帶用三個)ニシテ各々當該欄内數字中ニ包含ス

尙本表中ニハ既ニ賣渡又ハ廢棄處分サレタルモノ二、〇〇八個ヲモ含ム

#### (ロ) 取付數累計

年度別	口径	昭和十三年度	昭和十二年度	昭和十一年度	累計
七	七	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇
一三	一三	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
一六	一六	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇
二〇	二〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
二五	二五	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
四〇	四〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇
五〇	五〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
六五	六五	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
七五	七五	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
一〇〇	一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
一二五	一二五	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇
一五〇	一五〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇	二、三〇〇
二〇〇	二〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
計	計	一四九、八〇〇	一四九、八〇〇	一四九、八〇〇	一四九、八〇〇

備考 △印ハ取付減ヲ示ス

累年ニ亘ル誤算ヲ發見シタル爲昭和十二年年度末累計ニ於テ前記數字ニ訂正ス其ノ差一、一七個ノ減少ヲ示ス

第九章 給水状況  
一、給水栓數

特別 用途別	專用				計	共用 一栓當り 戸數	共用 一栓當り 戸數	特別 用途別	計
	家事營業用	官公署用	學校及病院用	湯屋營業用					
上京區	七、〇五五	二、七	二、七	二、七	(八)	四、〇三三	二、六	五	七、七六六
左京區	一八、六七三	八、九	五、九	五、九	(二)	一、〇三八	二、七	四	一八、八七七
中京區	二七、九四九	六、九	四、四	四、四	(三)	一、〇七七	二、六	六	二八、四四五
東山區	三、三七一	五、三	五、三	五、三	(二)	一、九三七	三、六	七	三、五五七
下京區	二五、六〇九	三、九	三、九	三、九	(一)	二、五六六	二、七	七	二五、九三三
右京區	六、〇九七	一、八	三、三	三、三	(一)	七、五	二、五	一〇	六、一五九
伏見區	七、一〇七	二、六	二、九	二、九	(三)	一、〇〇三	二、四	二	七、一七四
計	一六、三四〇	五、〇	三、八	三、八	(八)	一三、一四七	二、八	三六	一七、七六一

一、給水戸數

合 計	防火栓 私設
四、〇三三	五七
二〇、二六六	五八
二二、〇〇五	八六
一五、九三四	三九〇
二九、三五三	六七
六、九四五	五八
八、八九九	九
一五九、七七	五、三九七

備考 一、公設防火栓ハ各區境界ニ於ケルモノアルヲ以テ其ノ總計ノミヲ掲グ  
二、別栓ハ括弧ヲ附シタリ(合計欄ニ含まズ)

合 計	共用 家事營業用	專用				計	用途別	區 別
		其他 噴水 娛樂 池	噴水 泉池	原動 力用	湯屋 營業用			
四、〇三三	二、一五三	(六)	(二)	二〇	七六	三、四一七	上京區	
一九、三九九	二、八九九	(八)	(二)	四	五〇	一六、三三九	左京區	
三〇、八三五	五、一九三	(七)	(三)	七	五〇	二五、四七五	中京區	
一八、三四〇	六、一〇一	(七)	(一)	五	三七	三、〇九七	東山區	
二八、三六七	六、六〇四	(八)	(一)	一〇	五〇	三、四八〇	下京區	
七、四四五	一、九二〇	(二)	(二)	一六	一九	五、四〇〇	右京區	
八、八九九	二、六二六	(二)	(二)	八	一〇	六、二三四	伏見區	
一五九、三三四	三三、四七七	(六)	(八)	四九	二六	三三、三三三	計	

備考 別栓ハ括弧ヲ附シタリ(合計欄ニ含まズ)

三、開閉栓及開栓率

用途別	開栓率		開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	計
	閉栓	開栓								
上京區	三、四、二四七	三、一、八八	九二%	三、四、三〇〇	三、一、三三六	九二%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	三、四、三〇〇
左京區	一、六、三三九	二、四、四三	八七%	一、六、五〇〇	二、一、三三七	八七%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	一、六、五〇〇
中京區	二、五、四七五	二、四、四七五	九一%	二、五、六〇〇	二、五、〇三三	九一%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、五、六〇〇
東山區	三、〇、九七	一、七、四七	九〇%	三、一、三三九	一、二、八八	九〇%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	三、一、三三九
下京區	二、一、四八〇	四、一、二九	八三%	二、一、七六三	四、一、五〇	八三%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、一、七六三
右京區	五、四、八〇	六、七、	八九%	五、五、三三	六、六、	八九%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	五、五、三三
伏見區	六、三、二四	九、五、	八六%	六、三、七〇	一、〇、	八六%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	六、三、七〇
計	三、三、三三	一、五、〇二八	八八%	三、三、三三	一、五、一七四	八八%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	三、三、三三

用途別	開栓率		開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	開栓率	計
	閉栓	開栓								
上京區	三、八、六一九	三、三、三五	九二%	三、八、九七四	三、三、三五	九二%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	三、八、九七四
左京區	一、七、五四三	二、四、二五	八八%	一、七、五四三	二、四、二五	八八%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	一、七、五四三
中京區	二、七、五九八	二、五、六一	九一%	二、七、五九八	二、五、六一	九一%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、七、五九八
東山區	一、四、一〇五	一、三、三九	九一%	一、四、一〇五	一、三、三九	九一%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	一、四、一〇五
下京區	二、四、二九三	四、三、八七	八四%	二、四、二九三	四、三、八七	八四%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、四、二九三
右京區	六、二、八六	六、四、九	九〇%	六、二、八六	六、四、九	九〇%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	六、二、八六
伏見區	七、三、三三	一、〇、七	八七%	七、三、三三	一、〇、七	八七%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	七、三、三三
計	二、五、七七一	一、五、六六三	八九%	二、五、七七一	一、五、六六三	八九%	二、一〇	二、一〇	二、一〇	二、五、七七一

備考 一、公設防火栓ハ各區境界ニ於ケルモノアルヲ以テ其ノ總計ノミヲ掲グ  
 二、防火栓ハ總計欄ヨリ控除セリ  
 三、別栓ハ括弧ヲ附シタリ(總計欄ニ含マズ)



四、給水諸願届受付件數累月比較

(昭和十三年度)

月別	開栓		閉栓		賣買		條例管理	其ノ他	計
	開	閉	賣	買					
四月	1,766	1,652	2,900	2,900	3	1,528	3	5,236	
五月	1,733	1,684	3,833	3,833	4	1,766	4	5,539	
六月	1,668	1,753	3,533	3,533	4	1,936	4	4,939	
七月	1,654	1,697	2,949	2,949	2	1,361	2	4,935	
八月	1,748	1,697	2,660	2,660	5	1,755	5	5,220	
九月	1,745	1,942	2,966	2,966	2	1,565	2	5,560	
十月	1,740	1,842	3,366	3,366	1	1,555	1	5,179	
十一月	1,792	1,958	2,633	2,633	3	1,276	3	5,276	
十二月	1,499	1,432	2,553	2,553	1	1,530	1	4,566	
計	21,717	21,717	33,000	33,000	32	16,668	32	63,059	

備考 一、開閉栓數ハ別栓ヲ含ム

二、其ノ他ノ欄ハ所有者及使用者名義變更、用途變更、停水處分、解除、重複ヲ含ム

五、各區別推定使用水量

(單位立方米) 昭和十三年度

總計	專用		特別		共用		總計
	計	別	計	別	計	別	
9,621,332	4,456,699	3,003,341	4,456,699	3,003,341	8,499,559	4,855,855	上京區
							左京區
4,456,699	3,003,341	4,456,699	3,003,341	4,456,699	3,003,341	4,456,699	中京區
							東山區
6,499,774	5,079,000	3,771,211	6,499,774	5,079,000	3,771,211	6,499,774	下京區
							右京區
3,771,211	2,942,817	1,883,333	3,771,211	2,942,817	1,883,333	3,771,211	伏見區
							計

六、行政區給水普及率

(昭和十三年度)

區別	市内總戶口		給水戶口		普及率	
	戶數	人口	戶數	人口	戶數	人口
上京區	五八,三〇〇	二七六,〇〇〇	四五,九二一	三七,一七六	七七.七%	七六.七%
左京區	二九,〇〇〇	一三四,一〇〇	一九,三七七	八九,三八〇	六八.六%	六六.六%
中京區	六,一〇〇	一九二,〇〇〇	三〇,五五五	一四一,〇〇〇	八四.七%	八四.八%
東山區	二七,〇〇〇	一三三,〇〇〇	一八,一八一	八二,七三二	六七.七%	六七.六%
下京區	五〇,五〇〇	二四九,〇〇〇	二八,〇三二	一六,四一六	五五.五%	五五.五%
右京區	一九,五〇〇	八九五,〇〇〇	七,一七一	三三,三六〇	三七.三%	三七.三%
伏見區	二〇,七〇〇	九五,五〇〇	八,六七九	三九,六七七	四一.九%	四一.九%
計	二四一,一〇〇	一,一五九,八〇〇	一五八,三三三	七四四,三三三	六五.五%	六五.九%

七、給水普及狀況累年比較

年度別	市内總戶口		給水戶口		普及率	
	戶數	人口	專用	共用	戶數	人口
昭和十三年度	二四一,一〇〇	一,一五九,八〇〇	一三三,〇七四	二一六,六六一	一五八,〇三五	六五.五%
昭和十二年度	二三四,〇〇〇	一,一三三,九〇〇	一一〇,一〇〇	二一七,〇〇八	一五七,一〇八	六六.六%
昭和十一年度	二三〇,三三六	一,一〇七,〇〇〇	一一七,三三三	二一六,八四〇	一五五,〇六七	六六.九%
昭和十年度	二三四,六三三	一,〇八〇,五三三	一一二,〇七六	二一六,〇六六	一四七,二二四	六五.四%
昭和九年度	二四〇,三二九	一,〇五二,五〇〇	一一五,六六四	二一五,三三五	一五〇,九九九	六七.七%
昭和八年度	二二八,七三五	一,〇三六,九〇〇	一〇九,〇〇七	二一四,九三九	一四四,四六二	六八.一%
昭和七年度	二〇七,〇三三	一,〇〇〇,一七〇	一〇三,九〇五	二一四,九九九	一三八,八八四	六七.〇%
昭和六年度	一九六,五九三	九七九,九〇〇	九八,九三七	二一四,四八二	一三九,四一九	六八.三%
昭和五年度	一五二,〇〇四	七六五,一四二	九二,九四四	二一三,七三九	一三九,四一四	六八.四%
昭和四年度	一四八,八八一	七五五,二〇〇	八八,〇五四	二一三,七四五	一二八,七九五	六八.四%
昭和三年度	一四二,一八七	七三六,〇〇〇	八二,七六〇	二一八,五九五	一二三,二六六	六八.三%
昭和二年度	一三九,四八三	七二二,〇〇〇	七九,五六八	二一六,〇七八	一二二,六六六	六八.七%
昭和元年度	一三五,九九九	六九八,四〇〇	七〇,〇六六	二一六,三五二	一二六,三五八	六八.二%

備考 一、給水戸數ハ昭和九年度迄ハ開閉檢合計ヲ掲ゲタルモ昭和十年度ヨリ之ヲ開閉ノミニ改正セリ、給水人口亦同シ  
二、普及率ニ於テ前年度ヨリ減少ヲ示セルハ事變ノ影響ニヨリ給水栓新設及増設ノ著シク減少セシニヨル

第十章 收入狀況

一、使用料、手數料及委託料

(1) 調定及收入額對照

(昭和十三年度)

種別	摘要	調定		收入		收入率	
		件數	金額	件數	金額	件數	金額
專用檢	七六、〇三九	一、六〇〇、七〇〇・〇	七五、二八四	一、五九八、七〇四・二	九九・八六%	九九・八七%	
共用檢	六九、二八四	一四〇、四〇・三	六八、九六六	一三九、八八・〇三	九九・五〇%	九九・五八%	
防火檢	一、三三九	八、三五・五〇	一、三三三	八、三八・〇〇	九九・四八%	九九・二〇%	
手數料	四、四四四	四、六三・九九	四、四四四	四、六三・九九	一〇〇・〇〇%	一〇〇・〇〇%	
委託料	一	四、〇〇〇・〇〇	一	四、〇〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇%	一〇〇・〇〇%	
過去年度及手數料	三、二七九	五四、八七九・六	二、九五九	六、七五・〇〇	一三・九七%	二二・三六%	
合計		二、〇〇〇、〇〇〇	一、九一七、二五	一、九一七、二五	九五・八五%	九五・八五%	

(ロ) 異月上水道使用料

I 調定額

(昭和十三年度)

月別	專用檢	共用檢	防火檢	合計
四月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
五月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
六月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
七月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
八月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
九月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
十月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
十一月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
十二月	三三、〇六六・四	九、一〇七・五	四、五〇〇・〇	四六、〇七三・九
合計	三九六、七九二・〇	一〇九、〇九二・五	五四、〇〇〇・〇	五五九、八八四・五

種別	摘要	調定	收入	收入率
專用檢	七六、〇三九	一、六〇〇、七〇〇・〇	一、五九八、七〇四・二	九九・八六%
共用檢	六九、二八四	一四〇、四〇・三	六八、九六六	九九・五〇%
防火檢	一、三三九	八、三五・五〇	一、三三三	九九・四八%
手數料	四、四四四	四、六三・九九	四、四四四	一〇〇・〇〇%
委託料	一	四、〇〇〇・〇〇	一	一〇〇・〇〇%
過去年度及手數料	三、二七九	五四、八七九・六	二、九五九	一三・九七%
合計		二、〇〇〇、〇〇〇	一、九一七、二五	九五・八五%

Ⅰ 收入額

(昭和十三年度)

七〇

月種別	專用栓		共用栓		防火栓	計
	專用	共用	專用	共用		
四月	六,〇九七・九六	六,四〇〇・〇〇	一〇,一七〇・一〇	一〇,九六八・六九	一六,〇〇〇	一〇三,五五三・六六
五月	一〇,一七三・四一	一〇,一七〇・一〇	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
六月	二六,六六八・三〇	二八,一〇三・〇四	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
七月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
八月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
九月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
十月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
十一月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
十二月	一四,一四七・九三	一四,一四七・九三	一〇,九六八・六九	一〇,一七〇・一〇	一九,五五〇	一三〇,五八〇・二一
計	一,五九六,七〇四・三三	一,五九六,七〇四・三三	一,五九六,七〇四・三三	一,五九六,七〇四・三三	一,五九六,七〇四・三三	一,五九六,七〇四・三三

(ハ) 各區別推定使用料收入額 (單位圓)

昭和十三年度

栓別	專用栓		共用栓		防火栓	計
	專用	共用	專用	共用		
上京區	三六六,六六三	一七五,四四六	二七五,七七七	二九,九五五	三三三,〇六六	一,三〇三,四九九
左京區	一九,三三三	一五,七六四	一〇,六四三	一〇,四四三	二七,〇九六	五,七七七
中京區	三三,二九七	三三,九二四	一四,三〇四	一九,六〇三	二七,〇四六	八,七〇三
東山區	二,五九九	四,七四〇	八,二八八	五,八〇〇	二,二九三	一,七四四
下京區	四,二六一	二,一六三	二,四六六	三,四〇三	六,一五八	八七四
右京區	二,五九九	一,五六一	三,三三三	一,八七四	一,八七四	一,八七四
伏見區	一,五九九	一,五六一	一,五九九	一,五六一	一,五九九	一,五九九
計	四三九,二八八	三三三,一八三	三〇九,五七九	一六六,四八三	三〇三,二五七	七九,四六六
特別用途別	家事業業用 官公署用 學校病院用 湯屋用 原動力用 噴水其他娛樂用	計	計	計	計	計
特別	撒水用 街路用水用 廁所用水用	計	計	計	計	計
專用合計	四三九,二八八	三三三,一八三	三〇九,五七九	一六六,四八三	三〇三,二五七	七九,四六六
專用合計	四三九,二八八	三三三,一八三	三〇九,五七九	一六六,四八三	三〇三,二五七	七九,四六六
共用合計	四三九,二八八	三三三,一八三	三〇九,五七九	一六六,四八三	三〇三,二五七	七九,四六六
共用合計	四三九,二八八	三三三,一八三	三〇九,五七九	一六六,四八三	三〇三,二五七	七九,四六六
私設防火栓演習料	一,六三三	八四三	二,三九四	一,一〇四	一,九〇一	二,九
計	四四〇,九二一	三三四,〇二六	三一一,九七三	一六七,五八七	三〇五,〇八二	八〇,九六六
總計	四四〇,九二一	三三四,〇二六	三一一,九七三	一六七,五八七	三〇五,〇八二	八〇,九六六

七一

(二) 使用料收入額累年比較

年度種別	專用使用料	共用使用料	私設 演習 使用 防火 料栓	計
昭和十三年度	一、五九八、七〇四・三	二、三九八、八八〇・三	八、三二八・〇〇	一、七四六、九二〇・三
昭和十二年度	一、六三七、六四三・七六	一、四八八、五七二・三三	七、七九八・〇〇	一、七九三、七六六・九二
昭和十一年度	一、五七二、七三六・八三	一、四七七、七四五・六三	六、八〇〇・〇〇	一、七二六、二五二・四五
昭和十年度	一、四八四、八四七・三七	一、四七九、九三四・三四	六、四二七・五〇	一、六九一、〇九二・三
昭和九年度	一、五三三、八二六・九六	一、六三三、五五一・二六	六、三八二・〇〇	一、七〇二、六一・七
昭和八年度	一、三〇〇、九五五・四	一、四六二、二三八・一	六、四五四・五〇	一、四四五、〇三三・四五
昭和七年度	一、五一一、六八二・〇三	一、四四一、六〇五・四五	五、九九九・五〇	一、四〇二、二四六・九八
昭和六年度	一、三三三、三六二・六六	一、四五〇、七四一・一七	六、〇〇〇・〇〇	一、三三三、一〇〇・四五
昭和五年度	一、二五三、五七三・九三	一、五〇七、六四一・四六	五、九三三・八〇	一、四〇〇、七七一・一九
昭和四年度	一、一九八、〇四一・九三	一、四八八、〇四三・〇〇	五、二八九・六〇	一、三五一、三七四・五三

(ホ) 使用料收入率累年比較

年度種別	調定額	収入額	収入率
昭和十三年度	一、七四九、六三六・四	一、七四六、九二〇・三	九九・八%
昭和十二年度	一、八〇三、二九〇・〇	一、七九三、七六六・九	九九・五%
昭和十一年度	一、七四四、二二〇・〇	一、七二六、二五二・四五	九七・五%
昭和十年度	一、六八八、五七九・〇	一、六三三、五五一・二六	九六・八%
昭和九年度	一、九四三、二四五・〇	一、七〇二、六一・七	九七・六%
昭和八年度	一、四七七、五三三・三	一、四四五、〇三三・四五	九九・〇%
昭和七年度	一、四三三、六二〇・〇	一、四〇二、二四六・九八	九七・八%
昭和六年度	一、四〇〇、九九・〇	一、三三三、一〇〇・四五	九八・〇%
昭和五年度	一、四三三、七九二・〇	一、四〇〇、七七一・一九	九六・三%
昭和四年度	一、三六六、六八〇・〇	一、三五一、三七四・五三	九七・四%

(一) 一栓當平均上水道使用料累年比較

年度種別	種別	栓數	調定額	一栓當調定額	收入額	一栓當收入額
昭和十三年度	防共專 火栓用	一三七,五二二	一,六〇〇,七〇〇	一〇・六四	一,五八七,〇〇〇	一〇・五五九
昭和十二年度	防共專 火栓用	一三三,四七〇	一,四〇〇,〇〇〇	一〇・六四	一,三九八,八八八	一〇・五五九
昭和十一年度	防共專 火栓用	一三〇,〇〇〇	一,三〇〇,〇〇〇	一〇・六四	一,二八二,〇〇〇	一〇・五五九
昭和十年度	防共專 火栓用	一三〇,〇〇〇	一,三〇〇,〇〇〇	一〇・六四	一,二八二,〇〇〇	一〇・五五九
昭和九年度	防共專 火栓用	一三〇,〇〇〇	一,三〇〇,〇〇〇	一〇・六四	一,二八二,〇〇〇	一〇・五五九

備考 専用装置箇所數ハ特別栓防火栓ヲ含マズ

(ト) 使用料收入豫算及決算額累年比較

年度種別	豫算額	決算額	差引増△減	
				昭和十三年度
昭和十三年度	一,六三〇,〇三三	一,四四六,九〇三	△ 一八三,一三〇	
昭和十二年度	一,八八八,二五五	一,八〇〇,二〇〇	△ 八八,〇五五	
昭和十一年度	一,七六八,九七七	一,七六二,二五五	△ 六,七二二	
昭和十年度	一,六四四,二三八	一,六三九,一〇三	△ 五,一八五	
昭和九年度	一,五〇〇,八三五	一,四七〇,六〇〇	△ 三〇,二三五	

二、工費收入

(イ) 調定額

(昭和十三年度)

月種別	即納金	年賦納金	修繕料	委託工費
四月	一六,六一九・九一		一,六六六・六六	
五月	一九,三三三・二四		一,九三七・八〇	

月	種別	即納金	年賦納金	修繕料	委託工費
六	小	一九,八八・九六		五,三九・三六	一,六六三・二三
七	小	一九,四七・九七		二,六三三・三〇	四,九七六・五八
八	小	一五,一五四・一八		二,六三三・五九	
九	小	一三,六〇一・二九		二,六八一・三九	
計	小	一〇四,〇〇〇・五八	二五・五六	一六,九三二・二二	六,六三九・七一
十	一	一〇,八〇一・二二		二,二五三・六八	二,一八・七六
十一	一	三,五七二・〇〇		一,八六六・九九	二,〇〇〇・六五
十二	一	二,五五五・一一		二,五七三・八一	八五六・七六
一	二	六,六四八・七二		二,四八二・六六	三六九・八三
二	二	一〇,〇三五・一〇		二,〇一〇・三三	二,九五・〇八
三	二	一四,五九六・七六		一,四九九・〇五	九,三四八・八七
計	二	六八,二〇八・八九		二,七〇五・四二	一七,六四四・九五
調定	小	△ 二〇,〇三三・八九	△ 二五・五六	△ 二,二七〇・二七	△ 一三三・二五
差引	合減	一五,一九六・五八	九・八〇	二七,五五七・二六	二四,一七三・四二

(口) 収入額

(昭和十三年度)

月	種別	即納金	年賦納金	修繕料	委託工費
四	小	七,〇五七・六〇		三五八・一九	
五	小	二,四八九・七八		一,四一五・九七	
六	小	一六,五五三・六七		一,七四三・〇九	一,五〇〇・〇〇
七	小	一五,四八八・八六		二,〇〇五・七六	一,一〇四・〇四
八	小	九,九三六・二八		二,一一〇・〇九	二,七七一・三三
九	小	九,七六〇・三六		二,八九九・二四	
計	小	七二,二六六・四五	九・八〇	一〇,五三三・三六	四,二三七・三九
十	一	一四,〇二二・七九		二,七四九・一八	二,二五二・九六
十一	一	八,七八七・九二		二,七二五・〇〇	一,五二四・三七
十二	一	一一,三九二・三四		二,三二五・四八	二,〇三四・一一
一	二	八,二三七・四三		二,四三二・四七	一,〇八四・五九
二	二	七,〇〇九・七三		二,六六二・四七	五五四・九二
三	二	三,四三九・七一		三,九五二・四六	二,四九五・〇八
計	二	八四,〇〇〇・四一	九・八〇	一六,八四六・〇六	一九,九三三・〇三
還引	小	△ 三,〇九〇・二八		△ 一,一三六	
差引	合	一五,一九六・五八	九・八〇	二七,五五七・二六	二四,一七三・四二

第十一章 財務

一、歲計成績

(昭和十三年度)

收入之部		支出之部	
科目	金額	科目	金額
使用料	一、七〇六、九二〇・三	事業費	二、五〇〇、五三三・八
手数料	八、三三三・九	維持費	三三、八九九・九
給水工事費	一七九、五三三・六	水工事費	一五二、四七六・八〇
委託工事費	二四、一七三・四	水工事費	三二、一〇〇・〇
雑収入	一〇八、六五五・七	器具費	二六五、九九八・九
公債又ハ借入金	三八三、六四〇・〇	出張費	一九、四九六・九
前年度繰越金	六九、一四五	改修費	一五四、五二五・〇
補助金	二、一六五・〇〇	擴張費	六〇、四一九・五
合計	二、四四四、三三三・九五	積立金	二、五五、一八八・七
		公債借入金	五、二七六・三
		公債借入金	一、五、三九一・五
		公債借入金	三、四〇、九六・〇
		積立金	五八四、〇〇
		合計	二、四四二、八八九・五

備考 本様式ハ總テ水道協會統計様式ニ分類セルモノナリ

二、收益狀況

(イ) 損益計算

(昭和十三年度)

收入之部		支出之部		差引
科目	金額	科目	金額	
使用料手数料	一、七〇六、九二〇・三	經營費	九六、八五三・八	七六、三〇二・八
給水工事費	一七九、五三三・六	給水工事費	三二、一〇〇・〇	
其ノ他	九、一三三・八	合計	一、二五八、〇五三・八	
合計	二、〇九五、五八七・七	合計	一、二五八、〇五三・八	

備考 本表ハ水道協會統計様式ニ依ル

(ロ) 負債額及建設費ニ對スル收益割合

昭和三十三年度	昭和三十三年度	昭和三十三年度	昭和三十三年度
收益額	負債總額	收益割合	建設費累計
七六、三〇二・八	四、三二一、一〇〇・〇	一・七七一%	三、八六〇、四二一・六
			收益割合
			六・〇一%



(ハ) 収益状況累年比較

年 度	收 入	支 出	差引利益金	年度初建設費	收 益 步 合
昭和十三年度	二、〇四、一六二	一、二五八、〇五五	七八六、一〇七	三、八〇、七四二	六・〇%
昭和十二年度	二、二七、七五九	一、三三、九三三	八四三、八二六	三、三三、二九〇	七・〇%
昭和十一年度	二、〇八、四九四	一、三三、六〇五	八四四、八八九	三、一〇、六三七	六・九%
昭和十年度	二、〇〇、一四四	一、二四八、三六七	七五二、七七九	三、〇六、九七〇	六・三%
昭和九年度	一、九六、七一九	九六九、三六六	一、〇〇七、四三三	二、八六、九〇〇	八・五%

三、配水實費

(イ) 經 費

事務費	二五〇、五三・八
作業費	三二、八九・九七
維持費	一五、四六・八〇
給水工事費	三三、六六・六
水量器費	一〇六、五二・五
公債利子及取扱費	一五、三九・七
雜支計	六〇、四九・五
合計	一、〇七八、四九・三

(ロ) 配水量一立方當使用材料及經費

料用使	配 水	
	一立方當	總 量
總 額	一、〇七八、四九・三	四九、三九四、九六八
一立方當	一、七四六、九二〇	二・一八

備考 本表ハ水道協會統計様式ニ依ル

四、建設費累計

一金壹千三百拾七萬壹千六百三拾四圓七錢六厘

内 容	備 考	總 計
創設費	(明治四十二年六月着手 明治四十五年三月竣工)	二、七九六、九一一・一〇六
第一回配水管擴張費	(明治四十五年七月着手 大正二年五月竣工)	六五九、二一六・七六〇
第二回配水管擴張費	(大正九年七月着手 大正十二年三月竣工)	一、〇九三、五九二・〇七〇
量水器増設費	(同 右)	一、一〇四、〇八三・三九〇
第一期事業擴張費	(大正十三年十二月着手 昭和二年六月竣工)	二、五七〇、八四〇・二〇〇
各年度配水管増設費		一、四〇一、七七三・七七〇
各年度量水器購入費		一、四六一、六二五・六〇〇
各年度水量器費		一、九二三、九四一・八三〇
各年度水管費		六三、二七六・九二〇
建築費		七九、七六五・七五〇
用地費		四、六一四・四〇〇
公用費		六、五二一・一八〇
減菌裝置費		五、四七一・一〇〇
私設電話費		一三、一七一、六三四・〇七六

第十二章 第二期擴張事業

一、概 説

上水道第二期擴張工事ハ昭和六年四月實施セル隣接市町村編入ニ基ク給水區域ノ擴大並ニ給水人口及使用水量ノ激増等ニ對處シ、昭和七年度ヨリ豫算總額三、六七九、八二五圓ヲ以テ五ヶ年間ノ繼續事業トシ、一人一日平均給水量一二五リットル給水人口九十二萬人ヲ目途トシテ、松ヶ崎淨水場ノ設備ヲ擴大スルト共ニ山科淨水場ヲ新設シ、之ニ應ズル配水管ヲ布設シテ全市内給水ノ萬全ヲ期セントスルモノナリ。本事業豫算ハ昭和七年三月三十日市會ノ議決ヲ經、昭和七年十一月十九日工事施行認可ヲ受ケ、昭和八年三月三日ヨリ工事ニ着手、昭和十一年八月山科淨水場ノ竣工ヲ見タル外、着々工ヲ進メタルモ豫定年度中ニ全工程ヲ完了スル能ハザリシタメ、昭和十三年度ニ事業繰越ヲナシ、目下尙施工中ナレドモ一部ヲ除キ殆ンド完成セリ。

二、施工狀況

(イ) 松ヶ崎淨水場擴張工事

工 種	計畫數量	昭和十三年度末		備 考
		竣功數量	工費支出額	
導水管敷設工事	二、八八〇	三、七三三	二四、七三三	目下施工中
濾過池増設工事	三台	二台	二〇八、五二八	竣 功
鹽素滅菌裝置増設工事	二台	二台	二八、九六一	竣 功
卸筒設備工事	三台	三台	一〇一、五七〇	竣 功

(ロ) 山科淨水場新設工事

送水管敷設工事	一、四四〇	一、四〇一	八五、三三九	竣 功
配水池増設工事	二池	二池	三五、三三三	目下施工中
淨水場内鉄管敷設工事	計	計	一、〇三一、三九二	竣 功

(ハ) 配水管敷設工事

工 種	計畫數量	昭和十三年度末		備 考
		竣功數量	工費支出額	
取水設備工事	一ヶ所	一ヶ所	三、八四八	竣 功
濾過池新設工事	三池	三池	七、八三三	竣 功
鹽素滅菌卸筒設備工事	二台	二台	一六、八〇七	竣 功
送水管敷設工事	一、四四〇	一、四〇一	二六、六四四	竣 功
配水池新設工事	二池	二池	三、六〇九	竣 功
計	計	計	一五六、九六一	竣 功

工 種	計畫數量	昭和十三年度末		備 考
		竣功數量	工費支出額	
配水管敷設工事	一五、七六六	一四、四九四	一、七三〇、一六四	市内一圓各種配水管ヲ敷設ス

### 第十三章 第二期擴張事業

#### 一、概 説

本市從來ノ上水道設備ハ給水人口九十二萬人、一人一日平均給水量一二五リットル、一日最大配水能力一七三、〇〇〇立方米ヲ  
 目途トシテ計畫セルモノナルガ、既ニ昭和十一年度ニ於テ殆ンド計畫能力ノ満度ニ達スル状態ニシテ、從ツテ夏季給水ノ最大  
 需要期ニ於テハ各所ニ水壓ノ不足ヲ來タシ、所ニヨリテハ斷水スルノ止ムナキ實情ニ在ルノミナラス、今後給水需要量ハ逐年著  
 シク増加セントスル情勢ニ在ルヲ以テ、非常時局下都市ノ防空防火並ニ市民ノ保健衛生上速カニ之ガ對策ヲ講ズルノ喫緊事ナ  
 ルヲ認メ、銳意之ガ調査研究ヲ遂ゲ上水道第三期擴張事業計畫ヲ樹立セリ、之ガ計畫概要ヲ説明スレバ、昭和十二年十二月二十  
 八日第十六師團ト本市トノ間ニ水道協定成立京都軍用水道ノ經營ヲ本市ニ委託セラレ、所謂水源ノ二元化ヲ見ルニ至リタルヲ  
 以テ、茲ニ軍ノ需要、市ノ防空防火並ニ將來ノ給水人口及給水量増加ノ趨勢等ニ就キ檢討ヲ加ヘ、琵琶湖疏水ヨリ引水スル蹴上  
 淨水場ノ擴張及宇治川ヨリ取水スル桃山淨水場ノ新設、並ニ之ニ伴フ配水管ノ延長及蹴上桃山兩配水系ヲ繋グ直結幹線ヲ布設  
 シ、先ヅ昭和十八年度迄ハ軍市双方ノ需要ヲ充シ得ル設備トシテ給水人口一、〇六〇、〇〇〇人、一人一日平均給水量一九〇リツ  
 トル、一日最大配水能力二六六、〇〇〇立方米ヲ目途トシテ設計ヲナセルモノナリ。之ニ依リ、本市上水道ハ平時ハ勿論特殊如何  
 ナル場合ニ於テモ軍ノ給水ニ遺憾ナカラシムルト共ニ、市中心部ノ水壓ヲ高メ以テ高地及時局ニ對應シテ發展セル市周邊部工  
 業地帯ヘノ給水ヲ容易ナラシメ、且萬一兩水系ノ一ニ事故アル場合ハ他ノ水系ヨリ送水シ本市防空防火ノ安全ニ備ヘントス、又  
 本市ハ一千年ノ舊都ニシテ皇室ノ恩澤ニ浴スル事最深ク、京都皇宮及桃山御陵ハ市民ハ固ヨリ國民全般ノ尊崇ノ中心ナリ、依  
 テ蹴上桃山兩淨水場ヲ直結セル幹線ノ實現ニ伴ヒ、之ヲ御所水道ニ連絡シ以テ御所ノ防火ニ萬全ヲ期スルト共ニ、伏見桃山兩御

陵ノ御洗水トシテ濾過滅菌セル清淨水ヲ獻水シ以テ百萬市民ノ赤誠ヲ披瀝シ奉ラントスルノ外、更ニ桃山城趾ノ濠ヲ利用シ  
 一五〇、〇〇〇立方米ノ水ヲ蓄ヘ得ル貯水池ヲ設ケ、水源ニ事故アル場合ノ應急措置ニ遺憾ナカラシメ、且ツ桃山御陵一帯ノ  
 山林防火ノ用ニ供セントスルモノナリ、如上ノ外ニ全市ニ防火ノ萬全ヲ期スルタメ消火栓ノ増設ヲ計畫シタリ。而シテ本事業  
 ニ要スル經費ハ總額五百八十三萬五千圓ニシテ昭和十三年度ヨリ昭和十七年度ニ至ル五ヶ年繼續事業トシ、之ガ事業費財源ト  
 シテハ昭和十三年度ニ於テ長クモ桃山兩御陵用水水道工事費御補助トシテ御下賜ノ三千圓ヲ充ツルノ外、他ニ適當ナル財源ナ  
 キガタメ不足額ハ全部起債ニ需ムルコトトシ、以上關係議案ハ昭和十三年三月二十九日市會ノ議決ヲ經テ、昭和十三年七月二  
 十一日主務省ニ工事施行申請及起債認可ノ申請ヲナシタリ。  
 而シテ昭和十四年二月二十三日工事施行認可、昭和十四年四月八日其ノ一部分ノ起債ヲ認可セラレタリ。

#### 二、事業費豫算

科 目	支 出 年 度 別					總 計	摘 要
	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度		
第三期上水擴張事業費	七〇,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,三三五,〇〇〇	一,〇九〇,〇〇〇	五,八三五,〇〇〇	
一 事務費	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	三〇,〇〇〇	
(一) 給料	一,四四〇	二九,〇一〇	二九,〇一〇	二九,〇一〇	二九,〇一〇	一四〇,五二〇	
(二) 雜給	一〇,〇一五	二八,九六七	二八,九四八	二八,九四八	二八,九四八	一六一,四三六	
(三) 需用費	六,三三五	四,〇三三	三,九四〇	三,八六三	三,八〇〇	三三,一四一	

取水設備費	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
送水唧筒設備費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
送水管費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
濾過池費	7,000	10,000	5,000	15,000	10,000	10,000
鹽素減菌裝置費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
配水池費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
補償費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
設備費	4,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
試驗檢查費	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
器具機械費	3,000	5,000	8,000	3,000	3,000	3,000
建築物費	5,000	5,000	15,500	6,000	6,000	1,000
貯水池築造費	13,500	50,000	6,500	6,000	6,000	10,000
(三)配水管工事費	25,000	47,000	33,500	6,000	6,000	2,500,000
東部配水管費	10,000	15,000	10,000	10,000	10,000	9,000,000
西部配水管費	3,500	6,000	4,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
南部配水管費	3,500	6,000	4,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
北部配水管費	6,000	13,000	9,500	1,676,000	1,676,000	1,676,000
配水幹線費	6,000	25,000	13,000	100,000	100,000	575,000
地上式消火栓設備費	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	2,000,000

(四)雜費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
二工事費	7,000	11,190,500	1,335,500	1,126,000	1,000,100	5,000,000
(一)蹴上淨水場築造費	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	1,750,000
用地費	100,000	90,000	50,000	50,000	50,000	1,200,000
唧筒並接合井設備費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	1,300,000
沈澱池費	50,000	60,000	20,000	20,000	20,000	1,200,000
濾過場設備費	80,000	80,000	15,000	13,100	13,100	400,000
鹽素減菌裝置費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1,000,000
高揚唧筒設備費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1,000,000
最高區配水池費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1,000,000
低區配水池費	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	1,000,000
補償費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	200,000
設備費	3,500	9,000	4,000	3,500	3,500	10,000
試驗檢查費	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
器具機械費	4,000	10,000	7,000	6,000	6,000	10,000
建築物費	1,000	11,000	7,000	7,500	7,500	60,000
(二)桃山淨水場築造費	17,000	38,000	40,000	27,000	27,000	1,110,000
用地費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000



### 第十四章 鴨川改修附帶上水道事業

#### 一、事業概要

昭和十年六月二十九日及同年九月二十一日ノ兩度ニ渉ル豪雨ニ鴨川及高野川氾濫シ、河川底及堤防ノ荒廢甚シキ爲、之ガ復舊ト、京都市百年ノ大計ノ爲、府ニ於テ兩川ノ根本改良計畫ヲ樹立シ、政府ノ深甚ナル援助ヲ得テ目下着々工事ノ進捗ヲ見ツツアリ。

之レニ伴ヒ、本市上水道ニ於テモ、兩河川敷内ニ敷設シタル導水管及配水管ノ移設並敷設替ノ必要ニ迫ラレタルヲ以テ、河川改修工事ト並行シ、昭和十三年度ヨリ昭和十五年度ニ至ル繼續事業トシテ、事業費四拾貳萬貳千圓ノ豫算ヲ昭和十三年二月二十一日市會ニ提出、昭和十三年三月二十九日可決確定セリ。

而シテ之レガ工事施行認可申請並本事業財源ノ一部ヲナス起債申請ヲ直ニ主務省ニ提出シ、同年十二月十二日工事施行認可、同年十一月三十日起債許可ヲ得、昭和十四年三月三十一日日本事業ニ對スル府補助金四萬五千七百拾七圓ノ指令ヲ受ク、昭和十三年十二月六日工事ニ着手目下施行中ナリ。

#### 二、事業費豫算

科目	支出年度			總計	摘要
	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年度		
鴨川改修附帶上水道事業費	三三、八〇〇	一八、五〇〇	二二、九〇〇	七五、二〇〇	
工事費	三三、八〇〇	一八、五〇〇	二二、九〇〇	七五、二〇〇	
設備費	一七、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	三九、〇〇〇	

種別	設計工費	工事費	總計	摘要
配水管費	共、〇〇〇	一四〇、一〇〇	一四〇、一〇〇	
導水管費	共、〇〇〇	—	—	
運搬費	一、四〇〇	二、五〇〇	三、九〇〇	
器具機械費	三、八〇〇	四、〇〇〇	七、八〇〇	
檢査費	〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
補償費	五、五〇〇	四、六〇〇	一〇、一〇〇	
雜工費	二二、八〇〇	一五、三〇〇	三八、一〇〇	
合計	共、四、〇〇〇	一七〇、五〇〇	一七四、五〇〇	

#### 三、工事計畫書

種別	設計工費	工事費	總計	摘要
北山通配水管低下工事	共、〇〇〇	松ヶ崎最高區北部配水管口徑二十吋管ノ敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下ノ工事		
葵橋上流配水管低下工事	六、四〇〇	松ヶ崎最高區南部配水管口徑二十四吋及八吋管敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下ノ工事		
新一條配水管低下工事	一三、〇〇〇	蹴上高區北部配水管口徑二十四吋管敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下工事		
二條通配水管低下工事	一六、〇〇〇	蹴上高區南部配水管口徑二十四吋管敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下工事		
四條通配水管低下工事	一六、〇〇〇	蹴上低區北部配水管口徑二十六吋管敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下工事		
七條通配水管低下工事	一五、〇〇〇	蹴上低區南部配水管口徑二十二吋管敷設位置ヲ、計畫河底ヨリ一・四〇米低下工事		
七條通下流左岸洪水敷掘上ノ工事	二、〇〇〇	蹴上低區南部配水管口徑二十二吋管ヲ河川敷ヨリ掘上ノ工事		
須原通配水管敷設工事	八、五〇〇	七條洪水敷管掘上ノ結果連絡ノタメニスル敷設工事		

科 目	豫算額	起債許可額	執行額	翌年度繰越額
京線管工	六、八〇〇		五、七七八・三	一一、七七八・三
阪工管工	六、八〇〇		五、七七八・三	一一、七七八・三
地下工事	六、八〇〇		五、七七八・三	一一、七七八・三
補給	九、六〇〇		九、六〇〇	九、六〇〇
南大路敷設工事	九、六〇〇		九、六〇〇	九、六〇〇
東山線敷設工事	二五、〇〇〇		二五、〇〇〇	二五、〇〇〇
導水管低下工事	四、五〇〇		四、五〇〇	四、五〇〇
取水補給設備	五、五〇〇		五、五〇〇	五、五〇〇

四、豫算執行狀況

科 目	豫算額	起債許可額	執行額	翌年度繰越額
鴨川改修附帶上水道事業費	三三、八〇〇		三三、八〇〇	三三、八〇〇
工 事 費	三三、八〇〇		三三、八〇〇	三三、八〇〇
設 備 費	一七、〇〇〇		一七、〇〇〇	一七、〇〇〇
配 水 管 費	七、〇〇〇		七、〇〇〇	七、〇〇〇
導 水 管 費	七、〇〇〇		七、〇〇〇	七、〇〇〇
運 搬 費	一、五〇〇		一、五〇〇	一、五〇〇
器 具 費	三、八〇〇		三、八〇〇	三、八〇〇
檢 査 費	七、〇〇〇		七、〇〇〇	七、〇〇〇
補 償 費	二〇〇		二〇〇	二〇〇
維 修 費	五、五〇〇		五、五〇〇	五、五〇〇

第十五章 災害處置

一、概 説

昭和十三年七月五、六兩日京阪神地方ヲ襲ヘル水魔ニ罹災各地ノ創痍未ダ癒エヌトコロヘ、八月一日午前一時五十二分カラ降り初メ夕雨ハ同日正午風ヲ伴ヒ次第ニ風雨激シク、二日午前五時四十分並ニ同六時四十分ニハ遂ニ十米ノ強風トナツテ、沛然タル豪雨ハ驚天動地シ、午後三時ニハ總雨量一八五ミリ(坪當リ約三石四斗)ニ及ビ、濁流滔々ト各河川ニ溢レ、堤防道路ノ崩潰橋梁流失田畑家屋ノ浸水相踵グ中、松ヶ崎浄水場ニモ亦災厄ノ魔手伸ビ、正面前方ヲ貫流スル高野川ノ氾濫ハ遂ニ本市上水道事業未曾有ノ事態ヲ招來セリ。

二、被害狀況

八月二日現場ヨリノ報告記録  
 (1) 第一報(午前八時現在)、今曉二時半ヨリ、正門北方道路及境界生垣、網塀等何レモ漸次流失セリ。  
 同三時半頃ヨリ公私設各電話不通トナル。  
 「右ニ對スル應急措置」、各職夫ヲ非常召集シ、各要所ノ警戒ト道路崩壞防護作業ニ從事セシム。



鴨川改修事務所ヨリ派遣ノ人夫ニ協力シ、構内樹木ヲ伐倒シ以テ護岸作業ニ努力セルモ、漸次崩壊シツ、アリテ尙油斷ヲ許サズ、引續消防夫等ノ援助ノ許ニ防止作業ヲ繼續中ナリ、當場トシテノ最大要務タル配水作業ニ關シテハ前夜來其ノ警戒ヲ怠ラズ、濁水ノ流入防止ト淨水作業ニ關シテハ充分ノ措置ヲ講ジツ、アリ。

(2)、**第二報**(同九時現在)、午前八時半頃、正門向ツテ右側「コンクリート」透堀流失セリ、從ツテ道路ノ流失漸次悪化シ、九時ニ至リ、遂ニ正門前民家ノ前迄崩壊セリ。

現在ニ於テハ濾過池、唧筒室、配水池ニハ異狀ナシ。

(3)、**第三報**、午前九時四十分、松ヶ崎導水管ノ一部ニ故障ヲ生ジタル爲、同淨水場配水不能ニ陥ル。

(4)、**第四報**(同十時二十分現在)、午前九時半、突如導水管ニ異狀ヲ生ジタルモノ、如ク、十時頃ニ到リ、終ニ原水ノ流入全ク杜絶シ、濾過池貯水漸次逆流スルニ至リタルヲ以テ唧筒ノ運轉ヲ停止シ、同時ニ配水池水位(現在四米半)ノ二米ニ低下スル迄計量室ニ於テ適當ニ調節シ、二米ヲ限度トシテ一應配水ヲ停止スルノ措置ヲ講ズルコト、セリ。

午前十時ニ至リ、正門前濁流ハ終ニ正門内側ヲ流失シ、門前民家ハ全ク危険状態ニ陥リタリ。

如上報告ノ通り、淨水場敷地ノ一部ヲ崩壊セル奔流ハ正門ヲ流失セシメ、事務所ノ壁近クマデ押寄せ、爲ニ淨水場構内及道路敷内一、五、二四耗鐵筋「コンクリート」導水管ヲ損壊セシメタル結果、遂ニ松ヶ崎淨水場配水區域ニ對スル給水ハ不能ニ陥リタリ。

之ガ斷水地區左ノ如シ。

三宅八幡、修學院、一乘寺、松ヶ崎方面

應ヶ峯、蓮華谷、金閣寺方面

北白川、吉田、鹿ヶ谷方面

深泥ヶ池、上賀茂方面

宇多野、衣笠、鳴瀧方面

### 三、應 急 處 置

導水管ノ送水不能ト同時ニ北白川取入口及濾過池ノ制水弁ヲ閉ジ、濁水ノ浸入ヲ防ギ、松ヶ崎配水池ノ殘水一米ニ及ブヤ二日午後四時斷水ヲ決行シ、護岸工事係、給水車配給係、炊出係等ヲ設ケ、局長以下全局員夫々部署ニ着ケリ。

(1)、**護岸作業** 二日朝來、晝間四十人夜間百人ノ人夫ヲ動員シ極力護岸作業ヲ爲シタル結果、被害ハ河川横斷ノ導水管ノ破損ノミニテ止マリ、淨水場ノ事務所及濾過池ハ漸ク事ナキヲ得、三日朝、水勢衰へ漸次減水セリ。

(2)、**撤水車ニ依ル給水作業** 第一出張所ニ給水車配給係本部ヲ設置シ、前記斷水區域ニ對シ、本市保健部、土木局ノ撤水自動車及撤水馬車ヲ總動員シ、即日ヨリ蹴上系統淨水ノ給水ニ當ルト共ニ、七月五、六兩日ノ水害ニ伴ヒ神戸市ニ應援中ノ撤水車五輛ニ即日歸還ヲ命ジ、翌三日ニハ大阪市水道部及同衛生組合ヨリ八輛ノ應援車ヲ得テ、同月八日配水作業復舊完了ニ至ル間、連日午前五時ヨリ給水ニ奔走セリ。

(3)、**配水管切換ニ依ル蹴上淨水給水** 蹴上淨水場、松ヶ崎淨水場兩配水系統ノ接續點ニ於テ切換ヲナシ、斷水地域ノ一部ニ蹴上淨水ヲ給水セリ、爲ニ復舊完了ニ至ル迄、蹴上淨水作業ハ最大能力ヲ發揮シ配水ニ努メタルモ、市内各所ニ水壓ノ低下ヲ來セリ、因ツテ全市域ニ亘リ水量節約ヲ要望ス。

(4)、**高野川原水ノ揚水作業** 破損導水管ノ被害豫想外ニ甚大ニシテ復舊ニ時日ヲ要スル見込ナルヲ以テ、五日高野川ノ原水ヲ濾過池ニ揚水スル作業ニ着手、七日中ニ完成セリ、之ガ唧筒揚水量毎分三立方メートルニシテ五十馬力電動機ヲ直結ス。

如上ノ通り、市民生活上一日モ等閑ニスルコト能ハザル飲料水ノ給水ニ全力ヲ傾倒スルト共ニ、新聞、ラヂオヲ通ジ、之ガ給水狀況及復舊工事ノ進捗狀況等、「ニュース」ヲ刻々市民ニ報道シ、不安除去ニ努メタリ。



四、導水管復舊作業

三日高野川ノ流水漸次減少セルヲ以テ人夫八十名ヲ動員シ、導水管埋設箇所締切ノ爲水流ヲ變更セシムル要アルヲ以テ、急勾配ノ爲奔流渦卷タ中作業ヲ繼續シ、翌四日左岸ニ水路ノ付替ヲ了シタルトコロ、導水管ノ被害豫想外ニ甚大ニシテ六箇所ノ切斷箇所ヲ發見セリ、其ノ中淨水場敷地下及道路敷下ノ損壞最モ甚シク、切ロカラ管内ニ土砂ガ充滿セルヲ以テ、人夫百八十人ヲ動員シテ土砂ヲ掘鑿シ管ヲ修復ニ努メ、五日ニハ人夫二百三十名出動、本流ノ締切、破損箇所ノ矢板打込、砂礫ノ掘鑿、排水柳筒ノ据付、管内土砂ノ掻漑、障害物取除等徹宵作業ヲ續ケ、翌六日基礎「コンクリート」ヲ完了シ、七日深更延長一九・五米ニ亘リ一、三五〇耗高級鑄鐵管ノ本管接合工事ヲ完成スルト同時ニ蹴上取入口ノ疏水「ゲート」ヲ開キ、八日早朝濾過池ニ原水ヲ導入シ、直チニ淨水作業ニ着手、同夕刻ヨリ配水スルコトヲ得タリ。

前後七日間ニ亘リ、晝夜兼行直接之ガ復舊作業ニ従事セルモノ、傭人延人員二、二九三人ニシテ、其ノ内譯左ノ如シ。

二	日	三	日	四	日	五	日	六	日	七	日	八	日	計
二六三	人	一七〇	人	一六九	人	三六一	人	四九四	人	四三〇	人	四〇六	人	二、二九三

五、經費

以上ノ事實ニ對處スル爲、昭和十三年九月十五日ノ市會ニ罹災填補基金繰入金ヲ財源トシ、災害上水道處置費四四、五〇〇圓ノ追加豫算案ヲ提出、議決ヲ經タリ、尙之ガ執行ニ當リテハ、一部工事竣功ノ運ビニ至ラザリシヲ以テ、昭和十四年度ニ繰越ヲナシ執行スルモノトス。

之ガ内譯左ノ如シ。

種目	豫算額	支出濟額	翌年度繰越額	不用額
一、導水管處置費	二四、九〇〇・〇〇	一九、八四五・四六	五、〇五五・五四	〇・〇〇
二、高野川取水設備費	二、〇〇〇・〇〇	一、八四七・三三	一五二・六七	〇・〇〇
三、導水管防護費	一三、一〇〇・〇〇	一一、八九・三三	一、二〇・六七	〇・〇〇
四、雜費	〇〇・〇〇〇・〇〇	三、五〇三・九八	四九六・〇一	〇・〇〇
合計	四〇、〇〇〇・〇〇	三七、〇一六・二三	七、九八二・六一	二、九八三・七七

第十六章 六大都市比較

一、六大都市上水道規模概況

都市種別	基本計畫			現況		
	配水量 一日最大量 立方米	本量 一日一人當 立	畫 給水人口	配水量 一日最大量 立方米	水 一日平均 立方米	量 一日一人當 立
東京都市	三六〇,〇〇〇	一九〇	一,〇〇〇,〇〇〇人	一七六,一五七	一五三,三三九	一七七
東京市	八九,四三三	一五	四,九三三,〇〇〇	一,二六四,六三一	一,一五四,四三〇	一八二
大阪市	八二二,〇〇〇	二二	三,〇〇〇,〇〇〇	七三三,一〇〇	五四九,四七六	一六八
名古屋市	三三七,九五	一〇六	一,四〇〇,〇〇〇	三三三,四九〇	一六九,七五六	二五二
神戸市	一七,六九七	一三	八〇六,〇〇〇	一八二,三三四	一三二,七五四	四七
横浜市	一四〇,八〇〇	二八〇	八〇〇,〇〇〇	三三〇,一三一	一七六,六一〇	二五六

(昭和十三年度)

二、六大都市配水量及給水量比較

(昭和十三年度)

都市種別	一ヶ年總水量		一ヶ月平均水量		一日平均水量		一日一人當り水量	
	配水量 立方米	給水量 立方米	配水量 立方米	給水量 立方米	配水量 立方米	給水量 立方米	配水量 立	給水量 立
東京都市	四,三九四,九六八	三,四七九,九七七	四,二六,四九九	二,八八一,四三二	一五,三三九	九四,七三二	一七七	二四二
東京市	三七,六四三,四九九	一八,七九九,一〇	三〇,九四,五九九	一五,七三三,六五	一〇,八三三	五七,二三八	一八二	二二
大阪市	一〇〇,五八六,〇〇〇	一四八,一七二,三三	一六,七三三,二七	二二,三四七,六四	五四九,四七六	四〇五,九四九	一六八	二三四
名古屋市	六二,六二,〇九〇	三四,三四,六三	五,一六三,四四	二,八五二,〇五	一六九,七五六	九三,七五六	一六三	八九
神戸市	四八,〇〇〇,一〇	三九,八八一,五六	四,〇〇七,五二七	三,三三三,四四七	一三二,七五四	一〇九,二六四	一四七	二二〇
横浜市	六四,四三三,四七一	三六,六四〇,三九	五,三七二,八七三	三,〇三三,三六五	一六六,六一〇	一〇〇,三九五	二五六	一四六

三、六大都市給水栓數戶數及人口比較

(昭和十三年度)

種別	都市別	栓數			戶數			人口						
		專用	共用	特別栓	公設	私設	計	專用	共用	計				
東京都	市	二七、五二	一三、四七	五四二	五、三三七	二、九四〇	一五、九七七	二二、四七七	三六、八四七	二九、三三四	五五、八三八	一七、四五	七〇、五八	
東京市	市	八五、八二	二九、六六	一六、六三八	三、七三三	二、一〇〇	九六、一五六	七六、八九七	一五、九六二	九四、一八九	五、〇四〇	五〇、三二八	五、三三〇	二、〇七
大阪市	市	四九、九四	三、四六	一、三三九	三、三四一	三、一二三	五三三、一八二	四四、〇一一	一四〇、〇七〇	五、四〇、〇八一	二、四九一、八一	七六、〇二	三、二七七、八九	
名古屋市	市	一五、三九	一六、〇六	—	五、六四四	七九四	一七、六四六	一三、八五九	三、六一	一八三、八〇〇	七四、一四七	三三、一九三	九、七四、一四〇	
神戸市	市	一三、九三	一八、四三	—	三、五六一	—	一三、九七五	一四、九三三	六、八五一	一八、七三三	五七、六六〇	三三、三三五	九、八、九二五	
横濱市	市	二九、八五	二、七三	三〇三	三、九七七	九〇	一四、七七七	二八、一五七	一六、六三三	一四、五三〇	六二、〇〇七	七、八八八	六、八七、二五	

備考 閉栓ヲモ含ム

四、六大都市給水使用料調定額収入額及收入率

(昭和十三年度)

種別	都市別	調定額			収入額			收入率		
		專用	共用	防火栓其他	專用	共用	防火栓其他	專用	共用	防火栓其他
京都市	市	一、六〇〇、七〇〇	二、四〇〇、〇〇〇	八、三三五、五〇〇	一、五九八、七〇〇	二、三九八、八〇〇	八、三二八、〇〇〇	九九、八七	九九、八七	九九、八七
東京市	市	一、五七六、八五〇	〇、六八三、九一六	一、五、四九、七〇〇	一、五七三、四〇六	二、五七五、六九八	一、八八二、一六八	九九、八三	九九、八〇	九九、八〇
大阪市	市	八、二七、三三	九、七九二、五〇三	三、四、〇〇九、〇七〇	八、一七、七、二五〇	五、〇九二、三三〇	三、四、〇〇九、〇七〇	九九、八〇	九九、八〇	九九、八〇
名古屋市	市	二、四〇四、〇九八	一、四八、二五、八〇〇	三、四、四六、八〇〇	二、三、四〇〇、五三二	一、八、一八、八、六三六	三、四、四六、八〇〇	九九、八九	九九、八九	九九、八九
神戸市	市	二、四四六、八〇〇	三、三三五、九八七	—	二、三、七二、八三三	四、四、四三、三三三	九、九、九、九	九九、九〇	九九、九〇	九九、九〇
横濱市	市	三、五三三、六三〇	五、〇三七	—	三、五九二、五三三	四、三、三、五三三	三、五九二、五三三	九九、九六	九九、九六	九九、九六

五、六大都市一栓當及一人當給水使用料比較

(昭和十三年度)

都 市 種 別	一栓當使用料		一人當使用料	
	專用栓	共用栓	專用栓	共用栓
京都市	二・四三	一〇・〇〇	二・七〇	二・九
東京市	一・八四八	二・七〇	三・二三	一・四〇
大阪市	一・七元	三・三五	三・三	一・〇二
名古屋市	一・六五	九・三	三・二五	一・六
神戸市	三・二八	一七・五	四・六	一・九
横浜市	二・五・八	二六・四	五・七	一・八

六、六大都市給水普及率比較

(昭和十三年度)

都 市 種 別	總戶口		給水戶口		普及率	
	戶數	人口	戶數	人口	數	率
京都市	二四、一〇〇	一、一五九、八〇〇	一五八、〇三五	七四、三五	六五・五%	六五・九%
東京市	一、二八、三八一	六、三二〇、一一一	九四二、八九九	五、六〇〇、〇二七	七三・六	八九・〇
大阪市	六〇、五九九	三、三三二、一〇〇	五八四、〇八一	三、二七七、八九二	九五・七	九六・七
名古屋市	二六八、四六六	一、二六九、四七七	一八三、八〇〇	九七四、一四〇	六八・四	七五・五
神戸市	二四、〇七七	九八九、一〇〇	一八、七六三	九〇八、九一五	八九・一	九一・九
横浜市	一五、三〇〇	七七七、五〇〇	一四、三三〇	六八七、九一五	八八・四	八八・四

七、六大都市料率比較

種別	家事用		營業用		官公署用		湯屋營業用	
	基本水量	基本料金	基本水量	基本料金	基本水量	基本料金	基本水量	基本料金
京都市	十二立方 六十六錢	五錢五厘	同	同	同	同	同	同
東京市	口徑十三 九十三錢	乙甲 七九錢	同	同	同	同	同	同
大阪市	八・五立方 五十五錢	六錢五厘	同	同	同	同	同	同
名古屋市	十一立方 六十錢	七錢八厘	同	同	同	同	同	同
神戸市	十二・五立方 八十錢	六錢五厘	同	同	同	同	同	同
横濱市	十立方 一圓	八錢五厘	同	同	同	同	同	同

種別	原動力、機械又ハ工事用		噴水泉池其他娛樂用		共用		防火栓演習使用料
	基本水量	基本料金	基本水量	基本料金	基本水量	基本料金	
京都市	同	一圓九十八錢	同	五圓四十錢	七立方	二十八錢	一回二十分以内 一圓五十錢
東京市	二立方	三十錢	同	四十錢	十戸以下 六立方	每二戸以上 二十錢	量水器ナキモ ハ一月付基 本料金ノ半額 量水器アルモ ニハ一立方米 毎 ニ十一錢
大阪市	八・五立方	六錢五厘	同	三十錢	五・七立方	二十五錢	一回五分以内 二圓
名古屋市	二〇立方	五圓	同	四十錢	六立方	二十二錢	準備料一ヶ月 使用料一回二十 分以内 二圓五十錢
神戸市	五圓二十錢	十八錢七厘	同	同	八・三立方	三十八錢	二十七立方迄 五圓二十錢
横濱市	五十錢	二十錢	同	同	丙乙甲 五十五一 十八十	丙乙甲 三六立 立方方 米米米	手數料トシテ十 圓以内ニ於テ定

備考

一、東京市家事用乃至噴水泉池其他娛樂用基本料金ハ、量水器又ハ給水管口徑別ニテ金額ヲ異ニスルニ依リ、本表ニハ最低額ヲ記載ス、又家事及營業用中、甲ハ延三〇〇坪以上ノ住宅及延五〇〇坪以上ノ家屋、乙ハ其他ノ使用者ヲ云フ  
二、横濱市共用使用者中甲ハ家賃拾五圓以上、乙ハ同拾圓以上、丙ハ同拾圓未満ノ使用者ヲ意味ス

# 下水道編

種別	都 市 別	京 都 市	東 京 市	大 阪 市	名 古 屋 市	神 戶 市	横 濱 市
納付義務者	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶	所 使 有 者 者 連 帶
前納金	二 ヶ 月	二 ヶ 月	一 ヶ 月	一 ヶ 月	三 ヶ 月	三 ヶ 月	一 ヶ 月
徴收期	六 ヶ 月	六 ヶ 月	毎 月	毎 月	四 ヶ 月	四 ヶ 月	毎 月
徴收方法	集 金 制	集 金 制	集 金 制	集 金 制	納 付 制	納 付 制	集 金 制

八、六大都市給水使用料徴收制度比較

# 下水道編目次

口繪寫眞

鳥羽下水處理場沈澱池

鳥羽下水處理場曝氣槽

附圖 下水道布設區域圖

第一章 總 說.....一

第二章 京都市下水道計畫ノ大要.....二

第三章 事業ノ概要.....五

一、失業應急下水道事業.....五

(イ) 施 工 概 況.....五

(ロ) 事業費收支並ニ財源.....七

(ハ) 本事業ニ依ル失業救濟數.....八

二、第六期都市計畫下水道事業.....九

(イ) 施 工 區 域.....九

### 第四章 設備及作業

(イ)	幹線並ニ處理場ノ大要	10
(ハ)	事業費、管渠延長及施工面積	11
(ニ)	財政計畫ノ大要	13
(ホ)	事業進捗状況	15
一、管渠		
(イ)	布設状況及延長	16
(ロ)	維持作業	17
二、下水處理場		
(イ)	吉祥院下水處理場	19
(ロ)	鳥羽下水處理場	24
(ハ)	水質試験	26
(ニ)	經費	27
第五章 利用ノ狀況		
一、私設下水道		
二、水洗便所		

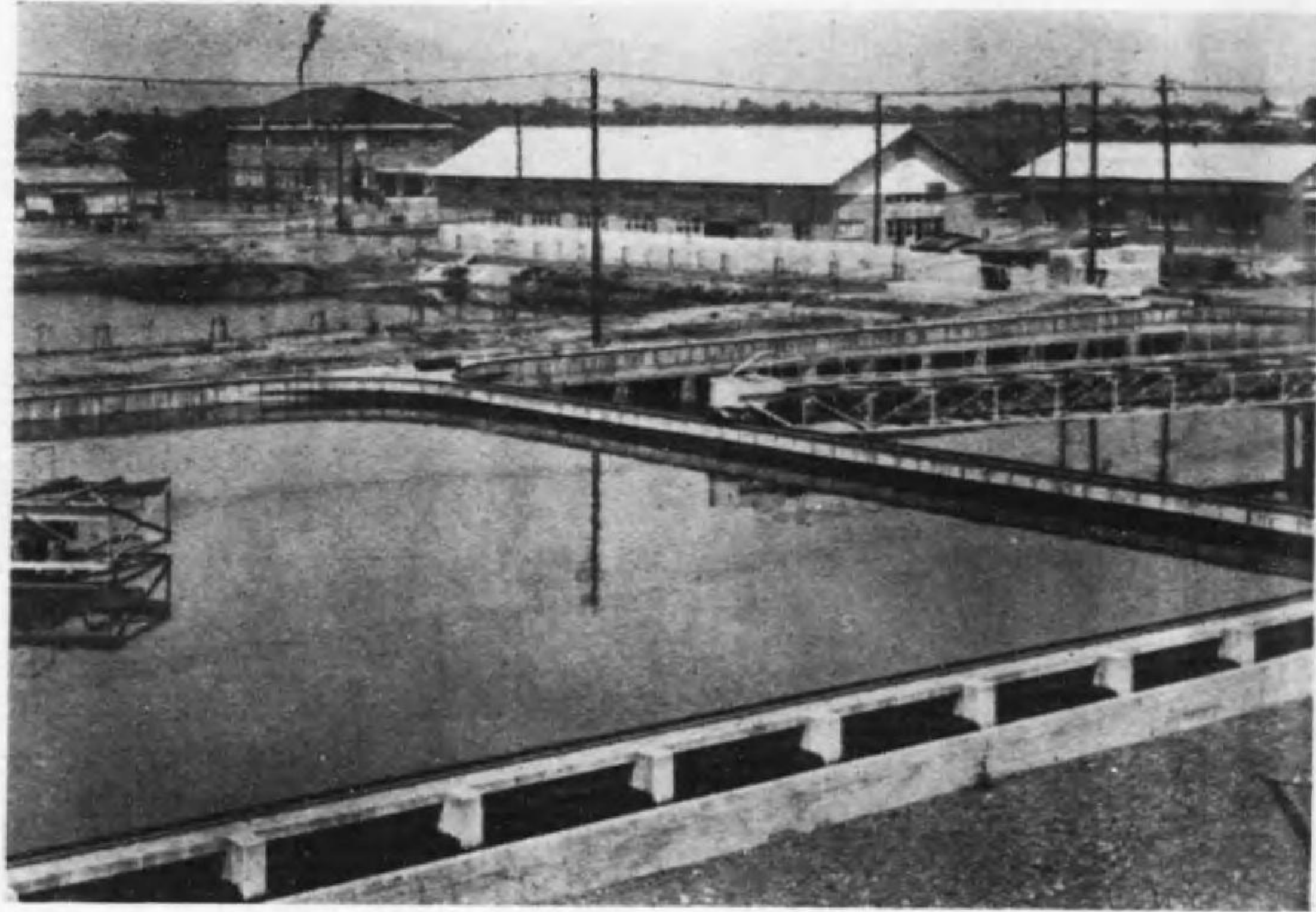
### 第六章 財務

(イ)	普及狀況	28
(ロ)	普及對策	28
一、歲入		
(イ)	使用料	29
(ロ)	國庫補助金	29
(ハ)	受益者負擔金	29
(ニ)	繰入金	29
二、歲出		

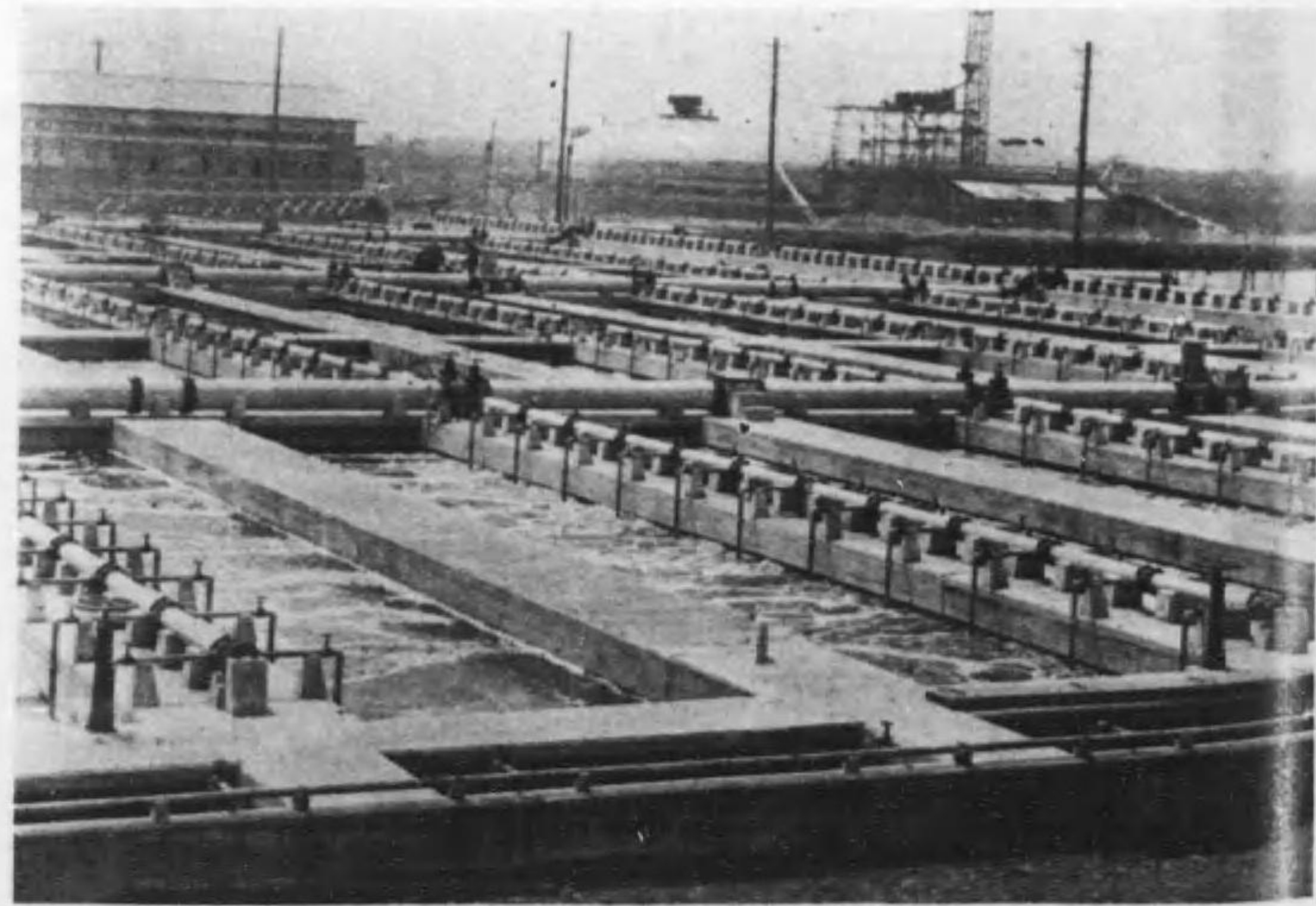
### 第七章 職制ノ沿革

30

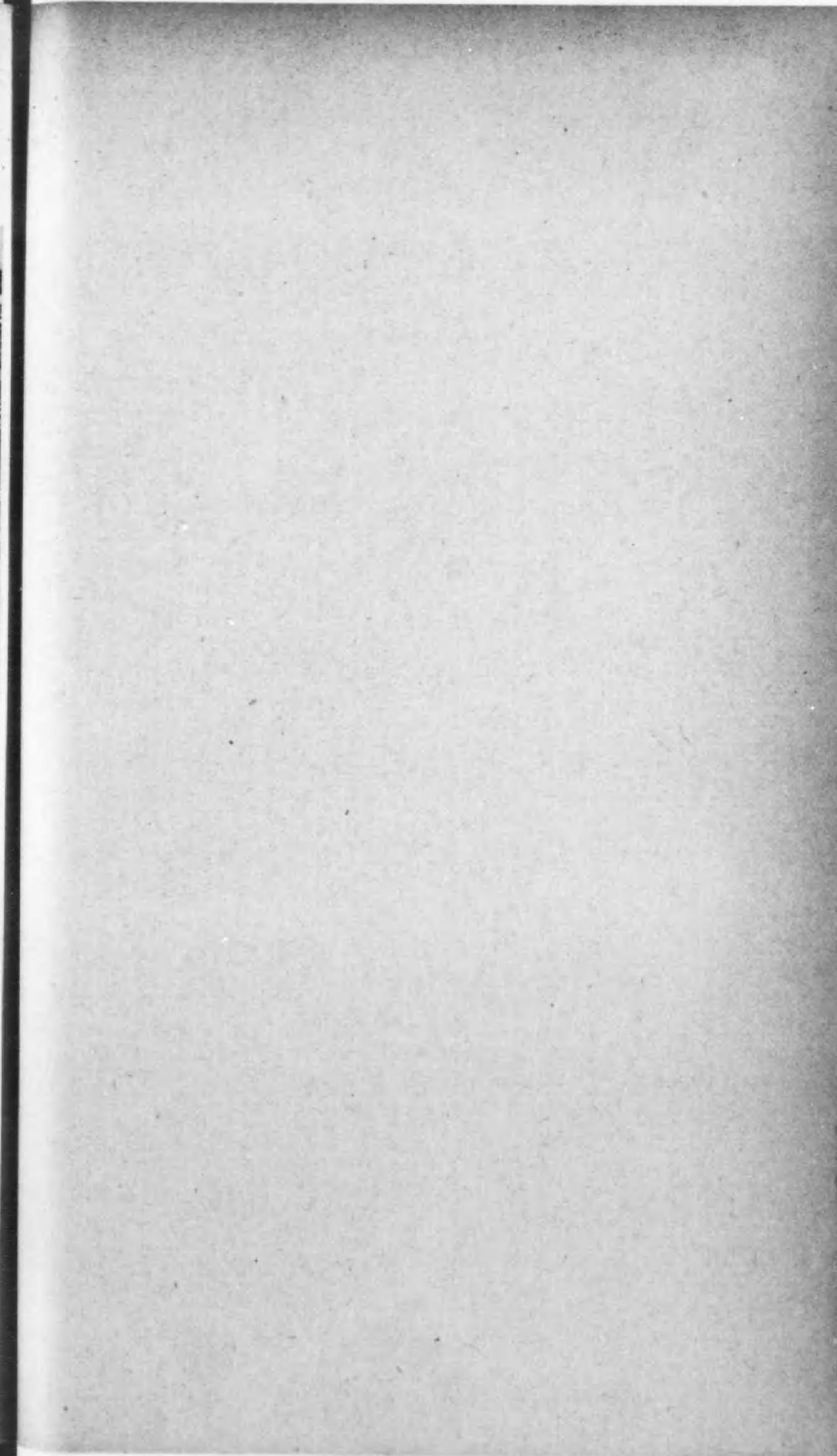




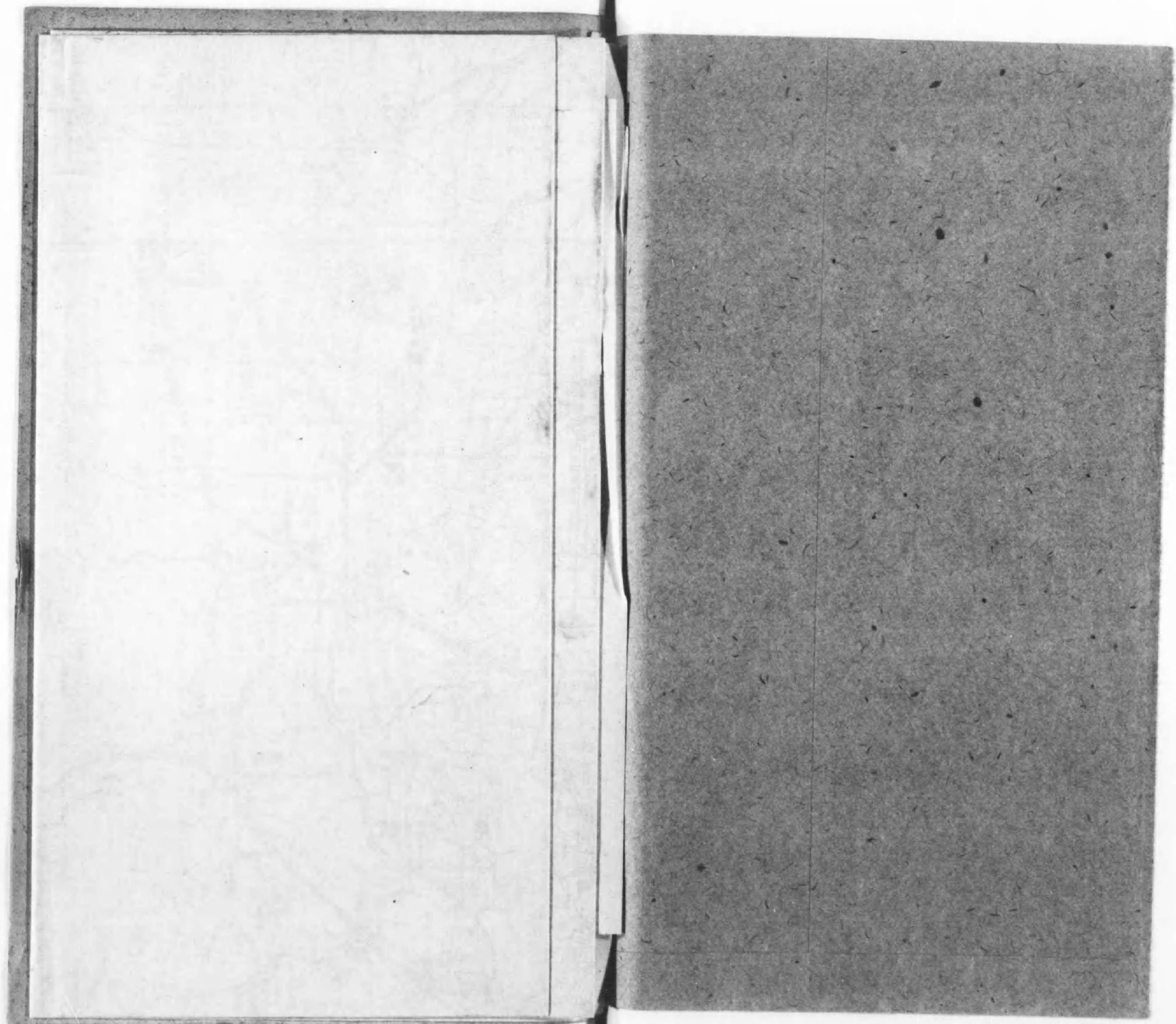
池澱沈場理處水下羽鳥



槽氣曝場理處水下羽鳥



下水道・布設區域圖



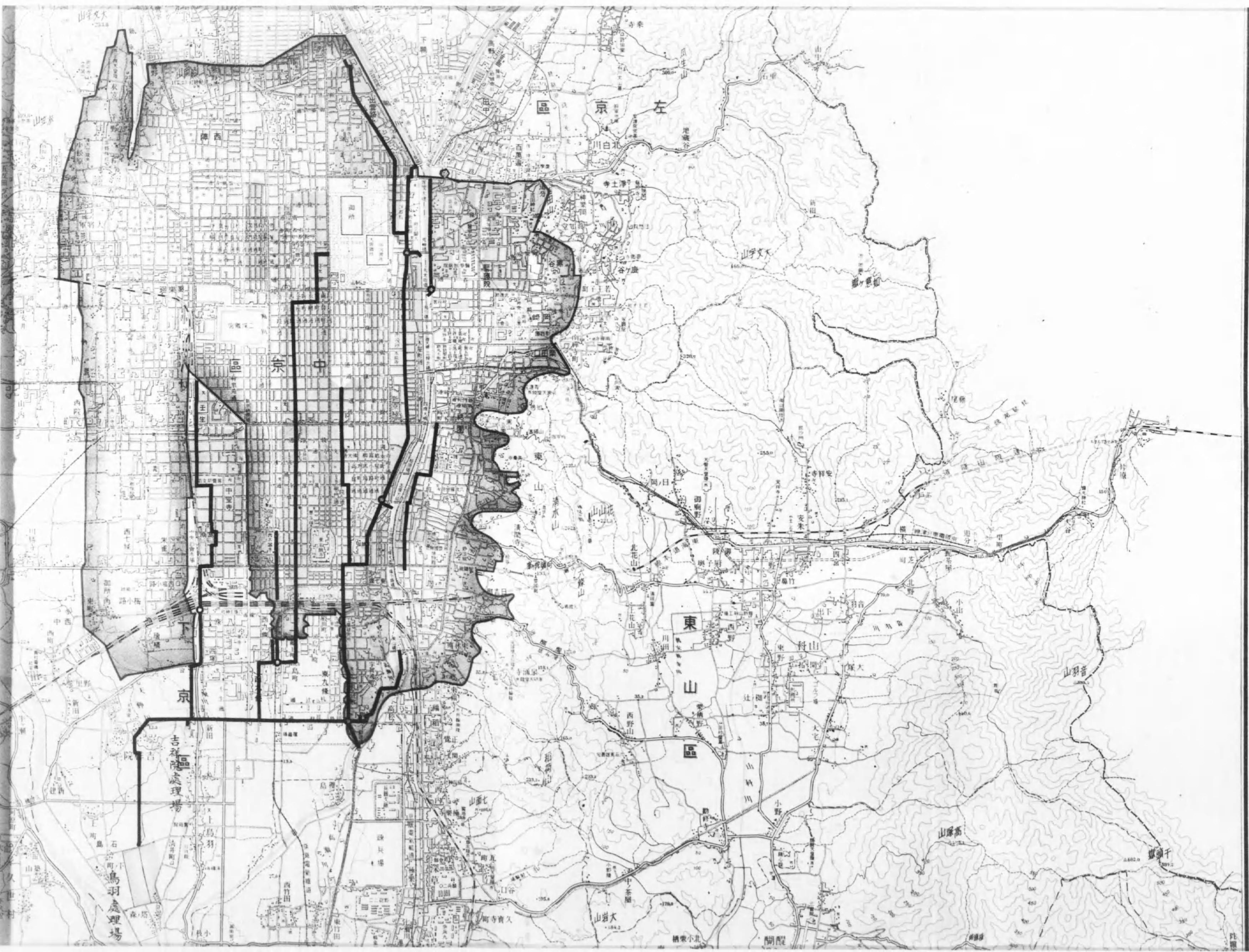
# 下水道敷設區域圖



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

# 區設敷水道下水





西

東京区

左京区

中山区

東山区

京

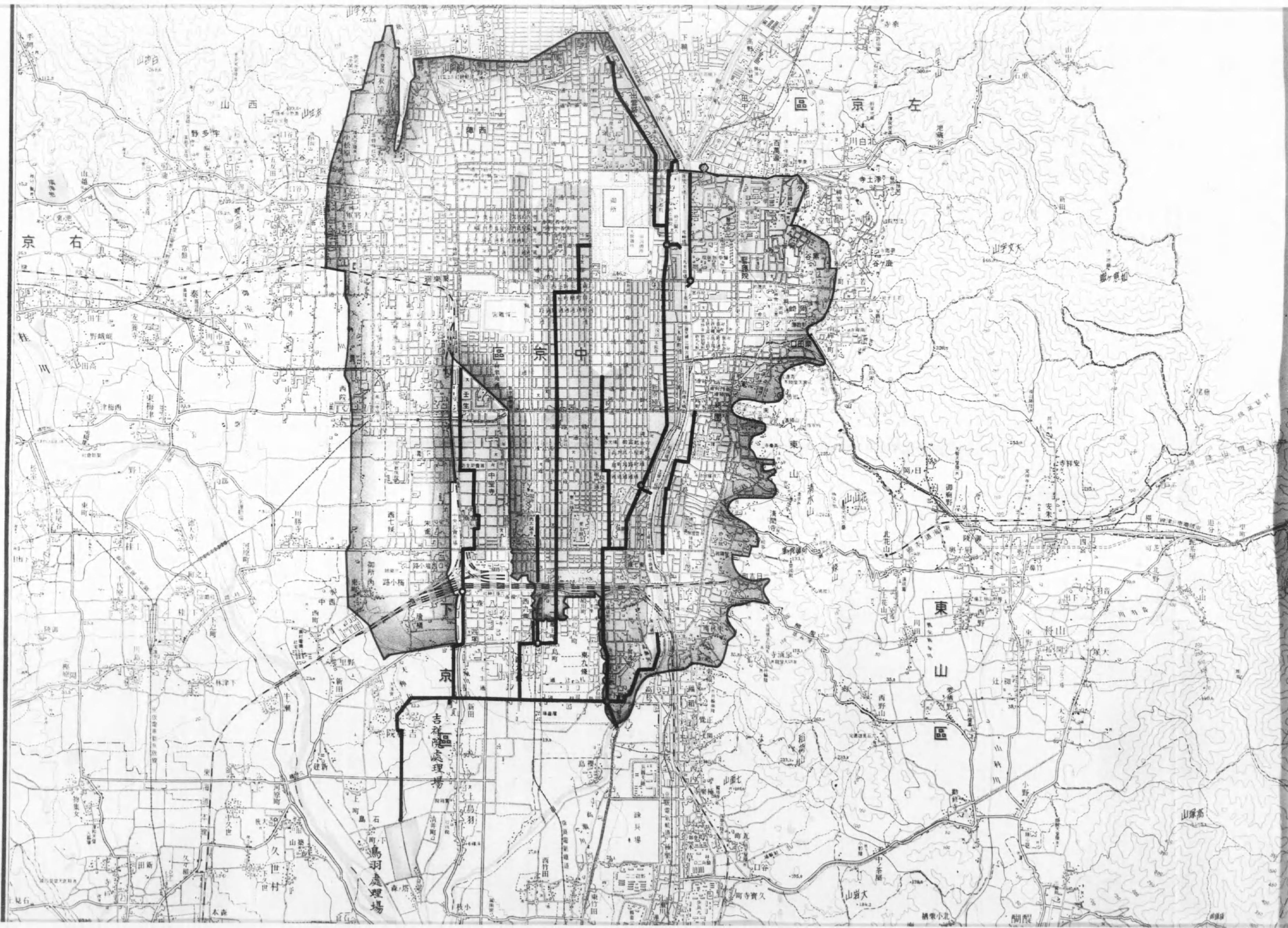
吉祥院處理場

鳥羽處理場

山嶺大

山嶺高

山嶺千



京右

京左

京中

東山

京

吉祥院處理場

鳥羽處理場

久世村

山嶺大

橋本小北




醍醐

山嶺高

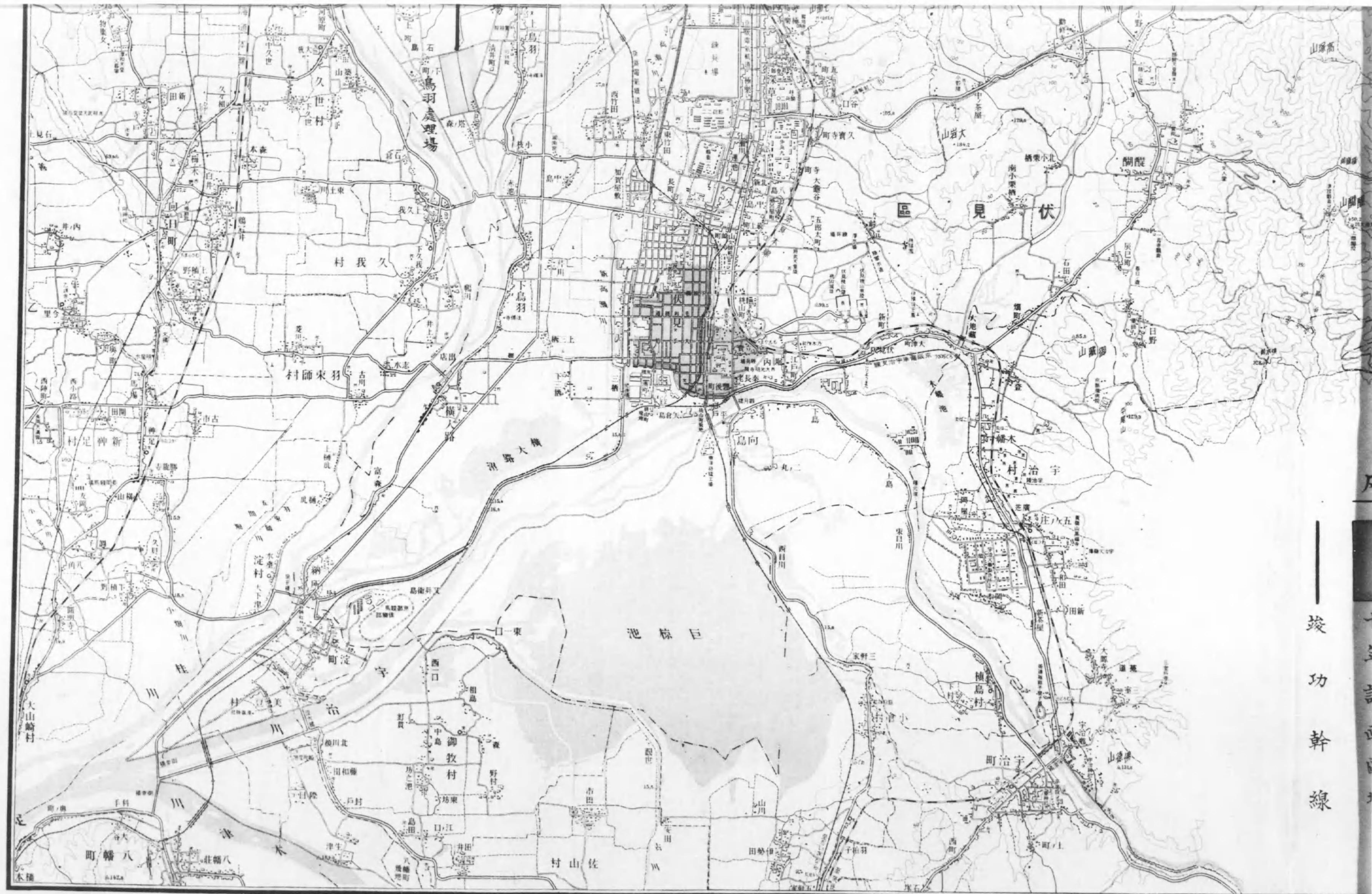
西園寺



凡例

- 
 竣功幹線
- 
 十年計画區域
- 
 繼續事業竣功區域
- 
 失業應急事業竣功區域





— 竣功幹線

# 下水道編

## 第一章 總說

本市下水道事業ハ明治二十七年府會通常市部會ニ於テ市内高低測量ノ建議アリタルヲ契機トシ、爾來二ケ年ニ亘ル測量ヲ基礎トシ下水改良ノ諸準備ガ進メラル、ニ至レリ。明治三十年京都府ニ於テ臨時土木調査委員會ヲ設置シ、上、下水道、街路其他土木衛生ニ關スル百般ノ調査ヲ爲スコト、シ、京都帝大教授比企忠氏ニ委囑シ明治三十一年ヨリ三十二年ニ亘リ本市ノ地質及水質ノ調査ヲ爲シ、同三十二年同委員會囑託京都帝大教授二見教三郎、大藤孝彦兩博士ハ本市下水道改良計畫ニ關スル詳細ナル報告書ヲ作製、斯クテ漸ク事業實施ノ機運熟シ明治三十三年下水道改良費トシテ三百萬圓ノ市豫算ヲ計上、百萬圓ノ國庫補助申請ヲ爲シタルモ財政ノ都合上實施スルニ至ラザリキ。明治三十四年大藤博士歐米留學ヲ終ヘテ歸朝スルヤ第二回下水道改良調査報告ヲ發表、其ノ後明治三十八、九年ノ市會ニ於テ上、下水道何レヲ先ニスベキヤノ論アリシモ結局上水道ヲ先ニスルコト、シ、市ハ茲ニ水利、電氣、水道ノ所謂三大事業完成ノ爲莫大ノ經費ヲ負擔スル關係上下水道事業ハ延期ノ止ムナキニ至レリ。乍併一方市勢ノ進展ニ伴ヒ下水道改良計畫モ更ニ調査檢討ヲ加フル必要ヲ認メ、大正三年以來下水道設計ノ基礎トナルベキ各般ノ調査ヲ爲シ、大正六年ヨリ實施設計ニ着手大正十二年大體ノ草案ヲ得タルモ、更ニ大正十二年新ニ下水道調査會ヲ設ケ學識經驗者、府官吏、市參事會員、市會議員、衛生委員、都市計畫委員、醫師會長、藥劑師會長等調査委員四十五名ニ囑託シ、爾來五ケ年間ニ亘リ基本的調査ヲ爲シタリ。斯クテ道路鋪裝計畫ノ進行ニ伴ヒ愈々實施スルノ必要ヲ認メ、昭和四年度ヨリ全市ニ亘ル下水網ノ實施設計ニ着手シタルガ、恰モ昭和五年當時經濟界ノ不況沈淪ハ失業者群ノ殺到ヲ見、本市モ亦失業救濟事業ノ計畫及實施ノ必要ヲ痛感シ、茲ニ比較的勞力費多ク又不熟練工ヲ多數使役シ得ル下水道事業實施ノ計畫ヲ樹テ、調査設計中ノ下

水道計畫ニ基キ急施ヲ要スル部分ヨリ都市計畫事業トシテ昭和五年八月内閣ノ認可ヲ得之ニ着手スルニ至レリ。之ヲ第一期トシ、爾來毎年度内閣ノ認可ヲ得、急施ヲ要スル部分ヨリ逐次施行シ來リ昭和九年度ノ第五期事業ニ及ビ、更ニ昭和十年度ニ於テ今宮通下水道改良工事ヲ施行シタリ。以上失業應急下水道事業ノ施行範圍ハ排水區總數十九、施行區域總面積約七四九ヘクタール、管渠延長約一五八軒ノ外、吉祥院下水處理場ノ築造ヲ含ミ、事業費總額六、七三三、五九九圓餘ニ達ス。而シテ失業應急下水道事業ハ第五期ヲ以テ打切り、第六期ニ於テハ後述本市下水道計畫決定ヲ見ルニ及ビ、其ノ一部トシテ昭和九年度以降十ヶ年間ノ繼續事業トシテ舊市域ノ殆下全部ニ亘ル下水幹支線ノ布設ト鳥羽下水處理場ノ新設ヲ實施スルコト、シ、昭和十年一月十六日内閣ノ事業認可ヲ得、同年二月十四日築造認可ヲ受ケ、昭和十年五月一日着工、目下施行中ナリ。本事業ニ要スル總工費二〇、四六〇、〇〇〇圓、施行區域總面積一、六五五ヘクタール、管渠延長三二七軒ニ及ブ。

## 第二章 京都市下水道計畫ノ大要

全市ニ亘ル系統の下水道網ノ布設計畫ハ前述ノ如ク、昭和四年度ヨリ設計ニ着手シ昭和八年度ニ於テ完了シタルヲ以テ、昭和九年三月三日京都市計畫下水道決定方申請シ、同年十二月二十六日都市計畫京都地方委員會ノ議ヲ經テ昭和十年一月十六日内閣ノ認可ヲ得タリ。其ノ大要左ノ如シ。

### 京都市計畫下水道

- 第一 下水排除區域ハ京都市ノ市街地ヲ構成スル大部分ニシテ、既ニ決定セル都市計畫下水道事業區域ヲ控除セル總面積約八、九五一「ヘクタール」ノ區域トス
- 第二 地勢ニ依リ下水排除區域ヲ四排水區ニ分ツ、各排水區ノ區域面積及幹線ノ配置左ノ如シ

#### 一、東山排水區

區域 左京區及東山區ノ各一部

面積 約三、三三九「ヘクタール」

#### 二、中部排水區

區域 左京區、上京區、中京區、下京區ノ各一部

面積 約二、七三六「ヘクタール」

#### 三、西ノ京排水區

區域 上京區、中京區、右京區、下京區ノ各一部

面積 約一、五四三「ヘクタール」

#### 四、伏見排水區

區域 東山區及伏見區ノ各一部

面積 約一、三三三「ヘクタール」

第三 下水排除方法ハ、中部、西ノ京、伏見各排水區ノ全部及東山排水區ノ一部ハ總テ合流式ニ依リ雨水及汚水ヲ同一管渠ニ收容シテ下水處理場ニ導ク、但シ平常時ノ四倍量迄ヲ下水處理場ニ導キ他ハ之ヲ附近ノ河川ニ適當ニ溢流セシムルモノトシ、又東山排水區ノ一部ハ分流式ニ依リ雨水及汚水ヲ各別ノ暗渠ニ依リ、雨水ハ附近ノ河川ニ放流シ汚水ノミ下水處理場ニ導クモノトス

第四 下水排除量ニ付テハ人口密度ヲ一「ヘクタール」三百人ト推定シ、一人一日〇・一八八立方米トシテ算出シ、雨水量ニ付テハ一時間ノ最大降雨量ヲ五十二耗トシテ算出ス

第五 水管渠ノ構造ハ總テ暗渠式トシ、排水量ノ多少ニ應ジ、鐵筋「コンクリート」短形暗渠、鐵筋「コンクリート」管及陶管ノ三種ヲ併用ス

第六 下水處理場ノ名稱、位置、面積、導水渠ノ配置、處理區域及處理方法左ノ如シ

一、名稱 烏羽下水處理場

位置 下京區上烏羽金佛、上烏羽塔ノ森梅ノ木、上烏羽塔ノ森上開ノ内、上烏羽塔ノ森下開ノ内、(圖面略)

面積 約三〇「ヘクタール」

導水渠ノ配置 圖面略(下京區吉祥院落合町五十二番地ノ二ヨリ下水處理場ニ至ル導水渠ヲ含ム、幅員一一米ノ區域ハ之ヲ附屬道路トス)

處理區域 東山排水區、中部排水區及西ノ京排水區ノ地域

處理方法 促進汚泥法ニ依リ處理シ、雨天時ニ際シテハ旱天時汚水ノ四倍量ノ處理ヲ爲スモノトス

二、名稱 伏見下水處理場

位置 伏見區下三柄城ノ前町、下三柄里ノ内(圖面略)

面積 約六「ヘクタール」

導水渠ノ配置 圖面略(伏見區下三柄東ノ口一番地ノ一ヨリ下水處理場ニ至ル導水渠ヲ含ム、幅員一一米ノ區域ハ之ヲ附屬道路トス)

處理區域 伏見排水區ノ地域

處理方法 烏羽下水處理場ニ於ケルト同様ノ方法ニ依リ處理ヲ爲スモノトス

第七 本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫京都地方委員會ノ議ヲ經テ内務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

### 第三章 事業ノ概要

#### 一、失業應急下水道事業

第一期ヨリ第五期ニ至ル失業應急下水道事業ノ概況次ノ如シ。

##### (イ) 施工概況

期別	第一期	第二期	第三期
施工區域	第一 排水區(左京區ノ部) 第二 排水區(上京區ノ部) 第三 排水區(中京區、下京區ノ部)	第四 排水區(左京區ノ部) 第五 排水區(下京區ノ部) 第六 排水區(上京區ノ部) 第七 排水區(上京區ノ部) 吉祥院下水處理場(上京區ノ部)	第九 排水區(下京區ノ部) 第十 排水區(東山區ノ部)
認可年月日	昭和五・八・二 (業) 五・〇・三	昭和六・〇・七 (都) 六・九・七	昭和七・二・四 (都) 七・二・七
着手年月日	昭和五・八・四	昭和六・〇・九	昭和七・二・八
竣功年月日	昭和六・二・三〇	昭和九・三・三	昭和八・二・五
施工面積 (ヘクタール)	一六・四・〇七	一〇・四・〇〇	三五・九七
管渠延長 米	三〇、九六・八	三三、二九・六	一六、五二・四
事業費 円	豫算、三九〇、三六・〇〇 決算、二五三、八四・二	豫算、一、四五〇、〇〇・〇〇 決算、一、四四一、八七・〇〇	豫算、六七〇、〇〇・〇〇 決算、七四〇、五〇・七

計	第五期				第四期				
	第十九排水區 (今宮通下水道改良工事)	第十八排水區 (伏見區)	第十七排水區 (下京區)	第十六排水區 (七區)	第十五排水區 (左京區)	第十四排水區 (中京區)	第十三排水區 (上京區)	第十二排水區 (東山區)	第十一排水區 (東山區)
	昭(都) 和(榮) 10.11.11	昭(都) 和(榮) 9.7.20	昭(都) 和(榮) 9.7.6	昭(都) 和(榮) 9.7.6	昭(都) 和(榮) 8.6.24	昭(都) 和(榮) 8.7.25	昭(都) 和(榮) 8.6.24	昭(都) 和(榮) 8.6.24	昭(都) 和(榮) 8.7.31
	昭和10.8.1	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31	昭和11.3.31
	78,935	5,604	233,334	233,334	208,731	208,731	208,731	208,731	208,731
	1,555,000	4,802,000	4,802,000	4,802,000	3,699,000	3,699,000	3,699,000	3,699,000	3,699,000
豫算	2,588,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000
決算	2,000,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000
豫算	2,588,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000
決算	2,000,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000	1,555,000

備考

- 認可年月日欄中(部)ハ都市計畫事業認可、(榮)ハ下水道法ノ築造認可。
- 第五期中第十九排水區工事ハ第四期事業ノ殘額ト國庫補助金ヲ財源トシテ、別個ニ認可ヲ得テ工事施行シタリ。
- 吉祥院下水處理場ハ都市衛生ニ於ケル汚水終末處分ノ重要性、特ニ本市ノ地理的、産業的特殊狀況ニ鑑ミ研究ノ要アリタルヲ以テ、試験的處理場トシテ第二期事業ノ一部トシテ施行セルモノニシテ、昭和六年十一月着工、昭和九年三月末竣功シ、北ハ後院通、西ハ山陰線、東ハ大宮通、南ハ七條通ヲ境トスル第三排水區ノ區域ヲ處理區域トシ、處理面積一九〇・九六〇ヘクタール、人口

五七、〇〇〇人分ノ處理能力ヲ有シ、之ニ要シタル總工費四九九、二三五圓ナリ。

(ロ) 自第一期事業費收支並ニ財源

(1) 收入

科 目	昭和第一期事業 昭和五年度	昭和第二期事業 昭和六、七年度	昭和第三期事業 昭和七年度	昭和第四期事業 昭和八年度	昭和第五期事業 昭和九、十年	計
國庫補助金	255,787.75	230,086.97	131,805.51	334,388.88	243,776.92	1,195,845.03
受益者負擔金	5,000.61	20,749.28	10,915.10	36,594.38	50,914.00	194,173.37
繰越金	5,755.00	51,256.00	592.00	461.00	179,638.00	338,002.00
市債	1,021,500.00	1,050,000.00	611,000.00	1,338,000.00	1,312,000.00	5,340,500.00
計	1,308,093.36	1,352,092.23	754,392.61	1,670,344.26	1,806,324.92	7,031,247.32

備考

- 國庫補助金ハ失業應急事業トシテノ分ニシテ、勞力費及勞働手帳製作費ノ半額ヲ受ク。
- 第五期事業中(一)内ハ第十九排水區今宮通下水道改良工事費財源ニシテ當該欄金額中ニ含ム。

(2) 支出

科 目	昭和第一期事業 昭和五年度	昭和第二期事業 昭和六、七年度	昭和第三期事業 昭和七年度	昭和第四期事業 昭和八年度	昭和第五期事業 昭和九、十年	計
失業應急下水道事業費	1,503,853.21	1,447,879.01	740,507.71	1,508,841.43	1,774,082.66	6,775,164.02

事	工	豫
務	事	備
費	費	費
1,335,000	1,100,000	1,100,000
100,000	1,300,000	1,300,000
58,300	682,600	1,390,000
109,800	1,390,000	1,390,000
39,000	1,650,000	1,650,000
56,700	6,000	6,000
56,700	6,000	6,000

備考  
第五期事業中(一)内ハ第十九排水區今宮通下水道改良工事費ニシテ、當該欄金額中ニ含ム。

(3) 公債償還財源(計畫)

公債總額 (利子ヲ含ム)	償還			内	其	他	期別
	國庫補助金	都市計畫特別税	受益者負擔金				
1,569,275	5,950	1,181,630	1,600	1,600	5,600	5,600	第一期
1,504,771		1,008,740	9,838	9,838			第二期
850,091		801,580	8,511	8,511			第三期
1,181,548		1,695,926	1,853	1,853			第四期
1,840,308		1,677,780	26,528	26,528			第五期

(ハ) 本事業ニ依ル失業者救済數

事業種別	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期
勞力費	511,418				
労働者使用人員(延)	403,110				

二、第六期都市計畫下水道事業

第一期	第二期	第三期	第四期	第五期
480,932	294,082	657,007	667,594	376,123
215,668	533,035	534,527		

第六期事業タル繼續費都市計畫下水道事業ハ、前述ノ京都市計畫下水道中左記區域ヲ豫算二〇、四六〇、〇〇〇圓ヲ以テ昭和九年度ヨリ昭和十八年度ニ至ル十ヶ年繼續事業トシテ施行スルモノニシテ、昭和九年六月二十五日都市計畫事業並ニ下水道築造認可ヲ申請シ、昭和十年一月十六日事業認可ヲ、同年二月十四日築造認可並起債認可(昭和九年及十年度分起債)繼續費設定ノ許可ヲ受ケ、昭和十年五月一日着工シタリ。  
更ニ昭和十一、十二年度ノ起債ニ付テハ昭和十一年十月八日、昭和十三年度分起債ニ付テハ昭和十四年三月十七日許可ヲ受ケ、目下工事施行中ナリ。

(イ) 施工區域

全市計畫ニ基キ、概ネ北大路以南、千本通以東、東海道線以北、東山以西ノ市街地ヲ含ム東山及中部排水區ニ下水道幹支線ヲ布設スルト共ニ、其ノ區域ノ下水ヲ處理スベク東海道線以南上鳥羽ニ至ル導水渠並ニ鳥羽下水處理場ヲ築造シ、更ニ西ノ京排水區ニ於ケル幹線工事ノ一部ヲ施行セントスルモノニシテ排水區域次ノ如シ。

排水區名	區	域	配置幹線	面積
東山排水區	左京、東山區ノ各一部		東山幹線	五、〇一六、〇九五 <small>平方尺</small>
中部排水區	左京、上京、中京、下京區ノ各一部		河原町、東洞院、西洞院、廻川各幹線	一一、五三四、一〇三
西ノ京排水區			西ノ京幹線	

(ロ) 幹線並ニ處理場ノ大要

- (1) 東山幹線  
今出川通ヨリ川端通ヲ南下、大和大路ヲ松原へ、宮川町箱町通ヲ經テ福稻柿本町ニ至リ、賀茂川ヲ横斷シ十條通導水渠ニ合ス。
- (2) 河原町幹線  
小山堀池町疏水分線附近ヨリ寺町通ヲ南下、廣小路ニテ東シ、河原町通ヲ經テ七條東洞院ニ至リ東洞院幹線ニ合スルモノニシテ、加茂川以西、富小路以東ヲ其ノ排水區域トス。
- (3) 東洞院幹線  
丸太町富小路ヨリ西へ柳馬場ニ出デ、竹屋町ヲ西シテ東洞院通ヲ南下シ、東海道線ヲ横斷シ竹田街道ヲ十條ニ至リ、降雨時ニハ一部ヲ賀茂川ニ溢流セシメ導水渠ニ合ス、其ノ排水區域ハ富小路、烏丸間ナリ。
- (4) 西洞院幹線  
烏丸下長者町附近ヨリ護王神社南側ヲ西シテ室町竹屋町ヲ再ビ西行、西洞院ニ至リ、南下シテ東寺道ヲ經テ堀川ニテ導水

- (5) 堀川幹線  
渠ニ合ス、其ノ排水區域ハ烏丸以西、小川通以東、丸太町以南ナリ。
- (6) 西ノ京幹線  
千本通以西ノ排水幹線ニシテ、西部區劃整理地域ノ西端ヲ南下シ天神川、十條附近ニ至ル。
- (7) 烏羽下水處理場  
本處理場ハ下京區上烏羽塔ノ森ニ新設スルモノニシテ、總工費二百九十萬五千三百圓、使用勞力延人員約三十五萬人ヲ要シ、全工程ヲ二期ニ分チ、第一期工事ハ昭和十二年度末、第二期工事ハ昭和十五年度末ニ竣工スル豫定ニシテ、昭和十年五月十八日起工式ヲ舉ゲ、昭和十四年二月二十七日其ノ第一期工事ヲ完了、同年四月ヨリ操作開始シタリ。  
尙第二期工事完成後ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ。

數地面積	處理區域	處理面積	處理人口	處理下水量	處理方法	放流河川
一七 ヘクタール	東山、中部各排水區	二、一五五 ヘクタール	六五、〇〇〇 人	但シ雨天時ニハ 四倍量迄ヲ處理ス 一八、三三四 立方尺毎日	促進汚泥法	天神川

(ハ) 事業費、管渠延長及施工面積

工事別 其他	事業費	管渠延長	施工區域面積	費												
				合	豫	事	設	器	補	用	維	下	導	西	同	中
計	費	米	平方	計	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費	費
東山排水區 幹線工事費	3,917,000	4,677.00	5,016.95	1,100,000	1,717,000											
同 支線工事費	2,728,800	4,677.00	5,016.95	1,100,000	1,628,800											
中部排水區 幹線工事費	2,719,900	2,570.50		1,100,000	1,619,900											
同 支線工事費	5,759,300	2,766.00		1,100,000	4,659,300											
西ノ京 幹線工事費	1,558,000	8,258.00		1,100,000	458,000											
導水渠 工事費	850,000	4,677.00		1,100,000	1,100,000											
下水處理場 築造費	2,900,000			1,100,000	1,800,000											
維工事費	300,000			1,100,000	800,000											
用地買收費	300,000			1,100,000	300,000											
補償費	1,000,000			1,100,000	1,000,000											
器具費	500,000			1,100,000	500,000											
設備費	1,717,000			1,100,000	617,000											
豫備費	3,717,000			1,100,000	2,617,000											
合 計	30,000,000	37,633.00	16,550.29	110,000,000	26,283,000											

(二) 財政計畫ノ大要

(1) 事業費年度別内譯

年 度	科 目	事 務 費	工 事 費	豫 備 費	計				
						昭 和 十 八 年 度	昭 和 十 七 年 度	昭 和 十 六 年 度	昭 和 十 五 年 度
昭 和 十 八 年 度	計	1,730,000	18,300,658	3,717,000	10,000,000				
昭 和 十 七 年 度		1,940,000	1,120,200	2,270,000	1,000,000				
昭 和 十 六 年 度		1,940,000	1,350,600	3,000,000	1,000,000				
昭 和 十 五 年 度		1,940,000	1,700,670	4,330,000	1,000,000				
昭 和 十 四 年 度		1,940,000	2,330,300	5,000,000	1,000,000				
昭 和 十 三 年 度		1,940,000	1,630,870	3,900,000	1,000,000				
昭 和 十 二 年 度		1,940,000	2,070,870	4,100,000	1,000,000				
昭 和 十 一 年 度		1,940,000	2,330,830	4,500,000	1,000,000				
昭 和 十 年 度		1,940,000	1,900,600	4,000,000	1,000,000				
昭 和 九 年 度		1,940,000	2,210,600	4,000,000	1,000,000				
昭 和 十 年 度	計	3,717,000	19,770,300	19,770,300	1,000,000				

(2) 財源並ニ年度別内譯



年 度	科 目	進 捗 状 況					計
		國庫補助金	受益者負擔金	土地賣拂代	雜 收 入	公 債	
昭和九年度		1,000	15,696	1,000	3,000	1,180,000	1,180,000
昭和十年度		1,000	26,939	1,000	6,911	2,781,000	2,781,000
昭和十一年度		1,000	3,473	1,000	3,711	2,180,000	2,180,000
昭和十二年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十三年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十四年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十五年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十六年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十七年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
昭和十八年度		1,000	3,711	1,000	3,711	2,580,000	2,580,000
計		9,000	219,680	9,000	21,100	1,775,100	11,080,000

備考  
 一、國庫補助金ハ申請セルモ交付ナシ  
 二、受益者負擔金ハ事業費總額ノ四分ノ一ヲ賦課徴收ス  
 三、土地賣拂代ハ下水道施行ニ伴フ廢公用地ノ無償拂下ヲ受ケ之ヲ賣拂フモノトス  
 四、公債ハ昭和九、十年度分(第七回下水道公債)、昭和十一、十二年度分(第八回下水道公債)、昭和十三年度分(第九回下水道公債)、但シ起債抑制方針ノ爲九一九、六〇〇圓ニ更正許可)ノ許可ヲ受ケ

五、公債償還財源ハ受益者負擔金、土地賣拂代、下水道使用料、上水道収益金ヲ以テ之ニ充ツ

(ホ) 事業進捗状況

本事業ハ本市直營トシ、昭和十年五月一日着工、爾來工事ヲ進メ、起工以來ノ支出總額昭和十三年度末ニ於テ七、九八〇、五二七圓ニ達シ、管渠竣工延長七四、八二八米ト鳥羽下水處理場第一期工事ヲ完成シタリ。而シテ今時事變ノ勃發ニ伴フ物資統制強化、起債抑制方針ニ順應シ一部幹線工事ノ繰延ヲ爲シタル處アルモ、其他ノ部分ニ付テハ極力節約ヲ旨トシ、概ネ所期ノ工程ヲ施行中ナリ。

進捗状況年度別内譯次ノ如シ。

年 度	種 別	計		進 捗 状 況	
		豫算額	面 積	支出濟額	管渠延長
昭和九年度		1,180,000	ハタタール	三、六二一・八九	一、四七三・五〇
昭和十年度		2,870,000	一六九・七七	一、九四八・二六・五七	三、三三二・四三
昭和十一年度		2,180,000	二〇五・五三	二、〇八、〇六四・九〇	二、四、一〇五・五三
昭和十二年度		2,580,000	二二八・三三	一、八七〇、七六〇・三三	五、七、〇〇〇・二五
昭和十三年度		1,177,105	一九・四三	三、二二一、四三三・六八	三、二、四九一・一九
計		9,987,105	七五・七二	七、九八〇、五二七・二五	一、四六、四八・九〇

第四章 設備及作業

一、管 渠

(1) 布設狀況及延長

排水種別	管 渠	人 孔	雨水拵取付拵	取 付 管	街 渠
第一排水區	四、六一五・八三	燈孔	二二七	二、三九一・二六	六、〇七五・四三
第二排水區	四、一〇一・五七	燈孔	一七三	二、一〇一・六〇	六、〇三九・四九
第三排水區	三、三〇〇・〇一	燈孔	一四五	二、五九七・二五	四、〇〇六・八四
第四排水區	三、七三三・八五	燈孔	二〇九	一、四三三・八八	六、四三〇・四三
第五排水區	六、一八五・八四	燈孔	四七三	三、一四九・一四	一、八三三・四四
第六排水區	五、四三三・〇九	燈孔	三九四	四、一〇三・二〇	九、九七五・二八
第七排水區	六、〇九八・六六	燈孔	三三九	四、七六六・〇〇	一〇、四三三・七七
第八排水區	一、八六八・二四	燈孔	六七	一、四四四・四三	一、八六五・〇〇
第九排水區	五、〇〇〇・〇五	燈孔	二六	七三三・六六	二、六六六・四三
第十排水區	三、一八一・四九	燈孔	七九七	三、九六二・二五	八、〇八二・四二
第十一排水區	一、五八四・〇八	燈孔	二〇七	一、二八八・四九	一、三三九・三九
第十二排水區	二、五九三・七三	燈孔	一〇四	八、九三九・二九	三〇、〇三三・〇〇

(ロ) 維持作業

排水種別	管 渠	人 孔	雨水拵取付拵	取 付 管	街 渠
第十三排水區	一五、三六七・三〇	燈孔	九五五	一四、七二四・四〇	二八、五〇〇・四六
第十四排水區	七、三八八・三三	燈孔	五五八	四、七三三・八三	二三、一七六・七六
第十五排水區	一〇、三一一・一〇	燈孔	七五四	五、四〇〇・五〇	二〇、三八七・二九
第十六排水區	三、四七六・〇〇	燈孔	七九〇	一〇、九八九・五〇	五、九七〇・八八
第十七排水區	八、〇九九・四〇	燈孔	七四一	六、八五五・一〇	一七、三三三・二六
第十八排水區	一、五三三・四一	燈孔	七六六	六、〇九九・五〇	二〇、九四一・二二
第十九排水區	一、五三三・〇八	燈孔	八五	一、五三四・一〇	二、五〇七・〇〇
賀茂川放流口改造	三、三八〇・〇〇	燈孔	一	一	一
東山排水區	一、三〇一・八五	燈孔	一〇	一一〇・八〇	二六二・三〇
中部排水區	七、五三六・四四	燈孔	四、三七六	五、一五五・三三	一〇、四六三・八〇
計	三三、四六六・三三	燈孔	六、三五六	一四、五三〇	三五〇、六四三・五四

地域別ニ詰所ヲ設ケ、最新ノ下水管掃除機ヲ用ヒ間斷ナク下水管渠ノ清掃維持ヲ行ヒ、汚水雨水ノ疎通ニ支障ナキ様努力セリ。其ノ狀況次ノ如シ。

(1) 詰 所

川端詰所 左京區川端荒神口上ル  
 新町詰所 上京區新町榎木町角

- (2) 作業
- 正面詰所 下京區上珠數屋町河原町西入
  - 六條詰所 下京區室町花屋町上ル
  - 千本詰所 下京區中堂寺坊城町一六
  - 三條詰所 中京區三條大橋西詰下ル
  - 伏見詰所 伏見區毛利橋筋京町東入

(昭和十三年度)

種別	詰所	川端	正面	新町	三條	千本	六條	伏見	計
種別	詰所	川端	正面	新町	三條	千本	六條	伏見	計
清掃延長	延	延 三三、三三米	延 五三、三九米	延 六八、八三米	延 六八、二五七米	延 五九〇、九九米	延 七九、〇一五米	延 二九六、六六米	延 五三三、六三三米
泥土量	延	延 二八五、六〇立米	延 三三三、三六立米	延 一七、〇〇立米	延 六〇、六六立米	延 七〇、〇〇立米	延 三三、八三立米	延 五三、二五立米	延 二、四六、〇〇立米
従事人員	延	延 七九人	延 八五九人	延 七九人	延 一、〇九人	延 七九人	延 七九人	延 一、四二二人	延 六、四七人

(昭和十三年度)

雨水管

(昭和十三年度)

種別	詰所	川端	正面	新町	三條	千本	六條	伏見	計
種別	詰所	川端	正面	新町	三條	千本	六條	伏見	計
清掃箇所数	延	延 一四、八三箇所	延 三三、三八箇所	延 一九、三三箇所	延 八、九二箇所	延 三、五九八箇所	延 一九、七四七箇所	延 一四、五九七箇所	延 一四、三三二箇所
泥土量	延	延 三九、〇六立米	延 三三、三六立米	延 三九、〇六立米	延 三三、〇六立米	延 三三、〇六立米	延 四二、七五立米	延 二六、二八立米	延 二、四八、〇〇立米
従事人員	延	延 九三人	延 七七人	延 八六人	延 七九人	延 七九人	延 七九人	延 五九八人	延 五、三七人

(3) 経費

昭和十三年度中維持ニ要セシ費用左ノ如シ。

下水道維持費

六一、五五九・六六

雑給

一一、一〇九・九一

需用費

五五三・六二

雑費

六六・六〇

維持費

四八、八二九・五三

一、下水処理場

(イ) 吉祥院下水処理場

(1) 位置

下京區吉祥院東浦。

(2) 敷地面積

一一、五三〇平方米。

(3) 處理區域

大體北ハ後院通、南ハ七條通、東ハ大宮通、西ハ山陰線ヲ境トスル第三排水區ノ地域。

(4) 處理面積及人口

種別	處理面積	處理人口
計	一九〇・九六〇	五七、〇〇〇人
現在	一一二・八三三	三三、〇〇〇

(5) 處理下水量

旱天時下水量一二立毎秒、雨天時ニ於テハ旱天時下水量ノ四倍量迄ヲ處理シ、他ハ鍋取川ニ溢流セシム。  
處理方法、要旨

(6) 促進汚泥法ニ依ルモノニシテ、處理場ニ流下シ來レル下水ハ先ヅ除塵、除砂裝置ニ依リ紙片、布切等ノ固形物ヲ分離シ、沈澱池ニ至ツテ浮遊有機物質ヲ沈澱除去シ、次ニ曝氣槽ニ導ク。曝氣槽ニ於テハ所謂活性汚泥法ニ依ル酸化作用即チ適量ノ壓搾空氣ヲ槽ノ底ヨリ噴出セシメ、空氣ト下水トノ接觸ニ依リ、微粒或ハ膠質性ノ容易ニ沈澱セシメ得ザル物質ヲ羽毛狀ノ沈澱性ノ物質ニ變化セシメ、斯ル變化ヲ完全ニナシタルトキ、次ニ最終沈澱池ニ導キ茲ニ於テ上澄水ト沈澱物ニ分離シ、上澄水ハ鹽素滅菌ヲ施シタル後天神川ニ放流ス。而シテ沈澱物タル汚泥ハ一部ハ之ヲ促進汚泥トシテ殘餘ハ汚泥消化槽ニ送り、六十日間停滯セシメ、有機物質ノ腐敗分解作用ヲ起サシメ、水分ヲ分離シタル後之ヲ汚泥乾燥場ニ送りテ乾燥セシム。乾燥汚泥ノ利用方法ニ付テハ目下研究中ナリ。

(7) 設備ノ大要

(1) 除塵室

鐵筋混凝土平家建面積四四・七五平方米。

(2) 沈砂池

ドル型自淨式「バースクリーン」ヲ備ヘ、流通下水中ノ木片、布切、紙類等ノ浮遊固形物質ヲ自動的ニ掻揚グ。  
四・二七米平方、深一・〇六米、ドル型沈砂掻集機（周壁走行速度六・一米毎分）及ビ掻揚機（電動機出力三馬力—  
衝程一二毎分）ヲ設置シ、下水中ノ土砂ヲ機械的ニ掻集掻揚ス。

(3) 機械室

建築面積 一九六・八〇平方米。

機械名	用途	臺數	出力	摘要
ターボ・プロペラ	曝氣槽空氣壓送用	一	電動機 五馬力	送風量 二・八立米毎分
ターボ・プロペラ	曝氣槽空氣壓送用	一	四馬力	送風量 二・五立米毎分
渦巻唧筒	下水揚水用	三	一五馬力	送風量 一・〇立米毎分
渦巻唧筒	促進汚泥返送用	二	五馬力	送風量 〇・五立米毎分
渦巻唧筒	各槽排水用	一	〇馬力	送風量 〇・三立米毎分
スラツダ・ポンプ	沈澱池内沈澱汚泥排除用	一	三馬力	送風量 〇・二立米毎分
ガス・ボイラー	汚泥消化槽循環水加温用	一	ボイラー 一馬力	送風量 〇・一立米毎分
温水唧筒	汚泥循環用	一	電動機 四分	送風量 〇・一立米毎分
眞空唧筒	各渦巻唧筒起動用	一	三馬力	送風量 〇・一立米毎分
鑿井唧筒		一	一馬力	送風量 〇・一立米毎分